

大 和 市

下 水 道 設 計 標 準 図

平成12年10月（全面改訂）

和

大 和 市 環 境 施 設 農 政 部

令和6年4月1日改訂版

目 次

※ 33～38 は欠番

【管 材 料】

下水道用鉄筋コンクリート管B形規格図	-----	1
下水道用鉄筋コンクリート管NC形規格図	-----	2
下水道用硬質塩化ビニル管規格図	-----	3
下水道用推進工法用硬質塩化ビニル管規格図	-----	10-2
下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管規格図	-----	11
下水道推進工法用鉄筋コンクリート管規格図	-----	14

【管 基 礎】

下水道用鉄筋コンクリート管砂基礎布設図	-----	17
下水道用硬質塩化ビニル管砂基礎布設図	-----	18
推進工法用鉄筋コンクリート管空伏基礎布設図	-----	19

【マンホール】

1号マンホール標準構造図	-----	20
2号マンホール標準構造図	-----	21
3号マンホール標準構造図	-----	22
4号マンホール標準構造図	-----	23
組立0号マンホール標準構造図	-----	24
組立1号マンホール標準構造図	-----	25
組立2号マンホール標準構造図	-----	26
組立3号マンホール標準構造図	-----	28
組立4号マンホール標準構造図	-----	28-1

組立特1号マンホール標準構造図	-----	29
塩ビ製小型マンホール標準構造図	-----	30
下水道用鋳鉄製マンホール鉄ふた・防護ふた構造図	-----	39
後付用中間スラブ構造図	-----	42
現場打中間スラブ用保安蓋構造図	-----	44
現場打マンホール用足掛金物詳細図	-----	45
外副管構造図（参考図）	-----	46
内副管構造図	-----	49
マンホールインバート図	-----	51

【柵および取付管】

汚水柵標準構造図	-----	52
雨水柵標準構造図	-----	57
集水柵標準構造図	-----	58

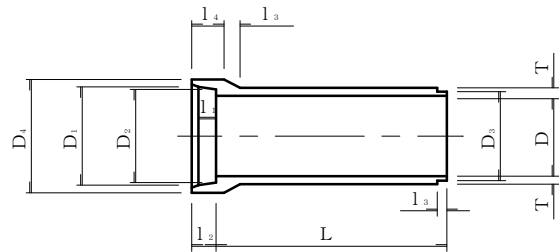
【施 工】

山留工標準仮設図（参考図）	-----	62
マンホール部接合詳細図（塩ビ管）	-----	63-1
ガス管吊防護図（参考図）	-----	64
電話ケーブル吊防護図（参考図）	-----	65
電力ケーブル吊防護図（参考図）	-----	66
水道管吊防護図（参考図）	-----	67

下水道用鉄筋コンクリート管B形規格図

(J S W A S A - 1 - 2011)

管の形状、寸法及び寸法の許容差



シーリング材



(単位: mm)

呼び径	B	H	h	j	長さ
150~250	20	10.5	2	5	ゴム輪装着部 周長の85%
300~350	22	12.0	2	5	
400~600	24	12.0	4	5	
700~1000	28	15.5	4	6	
1100~1350	31	18.5	6	5	

外圧強さ

(単位: mm)

呼び径	内径 D	D ₁	D ₂	D ₃	D ₄	厚さ T	l ₁	l ₂	l ₃	l ₄	l ₅	有効長 L
150	150±3	210±2	206	194±2	262	26 ⁺³ ₋₂					50	2000 ⁺¹⁰ ₋₅
200	200±3	262±2	258	246±2	316	27 ⁺³ ₋₂			32±4	115	55	
250	250±3	314±2	310	298±2	370	28 ⁺³ ₋₂	65	90±5			60	
300	300±4	368±2	364	350±2	424	30 ⁺⁴ ₋₂				120	65	
350	350±4	422±2	418	404±2	482	32 ⁺⁴ ₋₂						
400	400±4	478±2	474	460±2	544	35 ⁺⁴ ₋₂					70	2430 ⁺¹⁰ ₋₅
450	450±4	534±2	530	516±2	606	38 ⁺⁴ ₋₂	70	95±5	36±4	125	75	
500	500±4	592±2	588	574±2	672	42 ⁺⁴ ₋₂				130	85	
600	600±4	708±2	704	690±2	804	50 ⁺⁴ ₋₂		100±5		135	100	
700	700±4	824 ⁺³ ₋₂	820	802 ⁺³ ₋₂	936	58 ⁺⁴ ₋₂	75	105±5		140	115	
800	800±4	940 ⁺³ ₋₂	936	918 ⁺³ ₋₂	1068	66 ⁺⁴ ₋₂	80	110±5		150	130	
900	900±4	1058 ⁺³ ₋₂	1054	1036 ⁺³ ₋₂	1204	75 ⁺⁴ ₋₂	85	115±5	40±5	160	150	
1000	1000±6	1172 ⁺³ ₋₂	1168	1150 ⁺³ ₋₂	1332	82 ⁺⁶ ₋₃	96	120±5		165	165	
1100	1100±6	1286 ⁺³ ₋₂	1282	1260 ⁺³ ₋₂	1458	88 ⁺⁶ ₋₃	100	125±5		175	175	
1200	1200±6	1400 ⁺³ ₋₂	1396	1374 ⁺³ ₋₂	1586	95 ⁺⁶ ₋₃	104	130±5	42±5	185	190	
1350	1350±6	1566 ⁺³ ₋₂	1562	1540 ⁺³ ₋₂	1768	103 ⁺⁶ ₋₃	108	135±5		195	205	

(単位: kN/m)

呼び径	ひび割れ荷重		破壊荷重	
	1種	2種	1種	2種
150				
200	16.7	23.6	25.6	47.1
250				
300	17.7	25.6	26.6	51.1
350	19.7	27.5	29.5	55.0
400	21.6	32.4	32.4	62.8
450	23.6	36.3	35.4	66.8
500	25.6	41.3	38.3	70.7
600	29.5	49.1	44.2	77.5
700	32.4	54.0	49.1	85.4
800	35.4	58.9	53.0	93.2
900	38.3	63.8	57.9	101.0
1000	41.3	68.7	61.9	108.0
1100	43.2	72.6	65.8	113.0
1200	45.2	75.6	71.7	118.0
1350	47.1	79.5	81.5	126.0

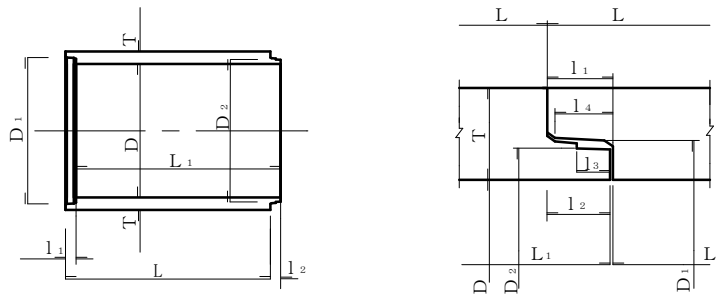
注 1. 呼び径 150 及び 200 の管の有効長 (L) は 500mm 又は 1000mm, 呼び径 250 ~ 350 の管の有効長 (L) は 1000mm, 呼び径 400 ~ 1350 の管の有効長 (L) は 1200mm とすることができる。
 2. 土で付記してある数値は、許容差を示す。

注 ひび割れ荷重とは、管に幅 0.05mm のひび割れを生じたときの、試験機が示す荷重を有効長 (L) で除した値をいい、破壊荷重とは、試験機が示す最大荷重を有効長 (L) で除した値をいう。

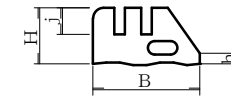
下水道用鉄筋コンクリート管NC形規格図

(J S W A S A - 1 - 2011)

管の形状、寸法及び寸法の許容差



シール材



(単位：mm)

呼び径	B	H	h	j	長さ
1500～2200	43	28	9	8	ゴム輪装着部
2400～3000	60	35	10	10	周長の85%

外圧強さ

(単位：mm)

呼び径	内径 D	D1	D2	厚さ T	11	12	13	14	有効長 L	L1
1500	1500	1632	1598	140						
1650	1650	1792	1758	150						
1800	1800	1950	1916	160	120	115	55	105		
2000	2000	2164	2130	175						
2200	2200	2378	2344	190					2300	2295
2400	2400	2594	2550	205						
2600	2600	2808	2764	220	135	130	65	120		
2800	2800	3022	2978	235						
3000	3000	3236	3192	250						

注 呼び径1500～1800の管の有効長は、1080mmとすることができる。

(単位：kN/m)

呼び径	ひび割れ荷重			破壊荷重		
	1種	2種	3種	1種	2種	3種
1500	50.1	83.4	110.0	91.3	134.0	165.0
1650	53.0	88.3	117.0	102.0	143.0	176.0
1800	56.0	93.2	123.0	111.0	151.0	185.0
2000	58.9	98.1	130.0	118.0	161.0	195.0
2200	61.9	104.0	137.0	124.0	172.0	206.0
2400	64.8	108.0	143.0	130.0	183.0	214.0
2600	67.7	113.0	150.0	136.0	193.0	224.0
2800	70.7	118.0	155.0	142.0	204.0	233.0
3000	73.6	123.0	162.0	148.0	213.0	244.0

注 ひび割れ荷重とは、管に幅0.05mmのひび割れを生じたときの、試験機が示す荷重を有効長(L)で除した値をいい、破壊荷重とは、試験機が示す最大荷重を有効長(L)で除した値をいう。

下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (1)

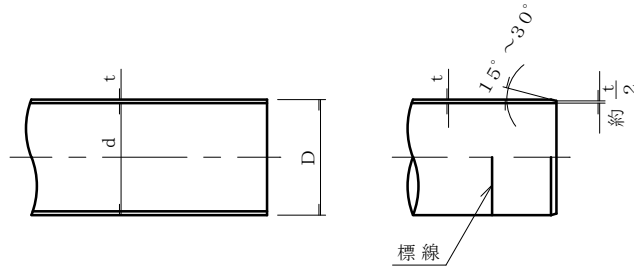
共 通 (J S W A S K - 1 - 2010)

直 管 部

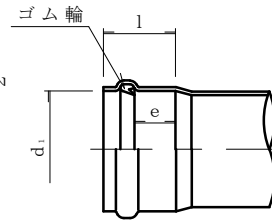
ゴ ム 輪 受 口

接 着 受 口

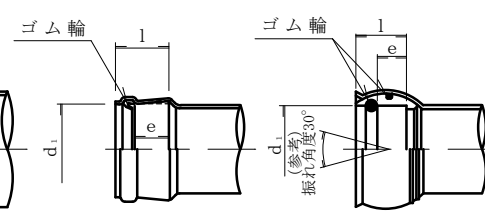
差口詳細



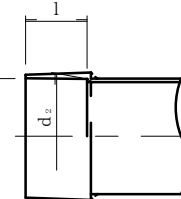
本管形



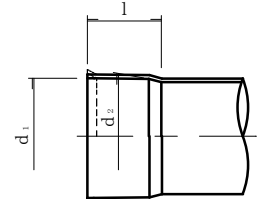
取付管形



A 形



B 形



直管部共通寸法

(単位: mm)

呼び径	外 径		厚 さ		近似内径 d (参考)	1 m 当たりの 質量 (kg) (参考)
	D	許容差	t (最小)	許容差		
75	89	±0.3	2.7	+0.6	83	1.159
100	114	±0.4	3.1	+0.8	107	1.737
125	140	±0.5	4.1	+0.8	131	2.739
150	165	±0.5	5.1	+0.8	154	3.941
200	216	±0.7	6.5	+1.0	202	6.572
250	267	±0.9	7.8	+1.2	250	9.758
300	318	±1.0	9.2	+1.4	298	13.701
350	370	±1.2	10.5	+1.4	348	18.051
400	420	±1.3	11.8	+1.6	395	23.059
450	470	±1.5	13.2	+1.8	442	28.875
500	520	±1.6	14.6	+2.0	489	35.346
600	630	±3.2	17.8	+2.8	592	52.679

備考 本表は、JIS K 6741のVU(呼び径75~600)と同一である。

- 注1. 平均外径の許容差とは、任意箇所における直角2方向以上の外径測定値の平均値(平均外径)と基準寸法との差をいう。
2. 表中1m当たりの質量は、密度1.43g/cm³で算出したものである。
3. 内径は、管の厚さをt(最小)+許容差/2として算出したものである。

本管ゴム輪受口共通寸法

(単位: mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
100	114.5	42	145
125	140.6	44	155
150	165.7	47	165
200	216.9	52	185
250	268.1	57	205
300	319.3	62	225
350	371.5	67	240
400	421.7	72	260
450	471.9	77	285
500	522.1	82	305
600	633.8	93	355

注1. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は規定しない。

2. 受口内径d1は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

取付け管ゴム輪受口共通寸法

(単位: mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
100	115.0	48	90
125	141.0	53	99
150	166.0	58	108
200	218.0	69	126

注1. 破線に示す形状にすることもできる。

2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は規定しない。

3. 受口内径d1は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

(自在)

取付け管ゴム輪受口共通寸法

(単位: mm)

呼び径	受口内径 d1 (最小)	接合長さ e (最小)	受口長さ l (最大)
100	114.5	48	100
125	140.6	53	115
150	165.7	58	120
200	216.9	69	145

注1. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺部の形状は規定しない。

2. 受口内径d1は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

接着受口共通寸法

(単位: mm)

呼び径	受 口 内 径				受 口 長 さ	
	d1	許容差	d2	許容差	l	許容差
75	89.6	±0.3	88.3	±0.3	40	±5
100	114.8	±0.4	113.2	±0.4	50	±5
125	140.9	±0.4	139.1	±0.4	65	±5
150	166.1	±0.5	163.9	±0.5	80	±5
200	217.4	±0.6	214.6	±0.6	115	±10
250	268.6	±0.6	265.4	±0.6	140	±10
300	319.8	±0.7	316.2	±0.7	165	±10
350	372.0	±0.7	368.7	±0.7	200	±10
400	422.3	±0.8	418.4	±0.8	220	±10
450	472.6	±0.9	468.1	±0.9	250	±10
500	522.8	±0.9	518.2	±0.9	280	±10
600	634.3	±1.1	626.7	±1.1	330	±10

注1. 破線に示す形状にすることもできる。

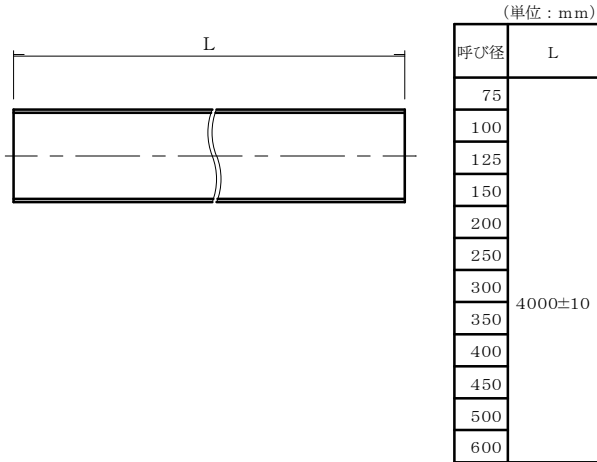
2. 受口内径d1及びd2は、直角2方向以上の内径測定値の平均値とする。

3. 接着受け口A形の受け口長さを、呼び径250はl=125±10、呼び径300はl=140±10とすることができる。

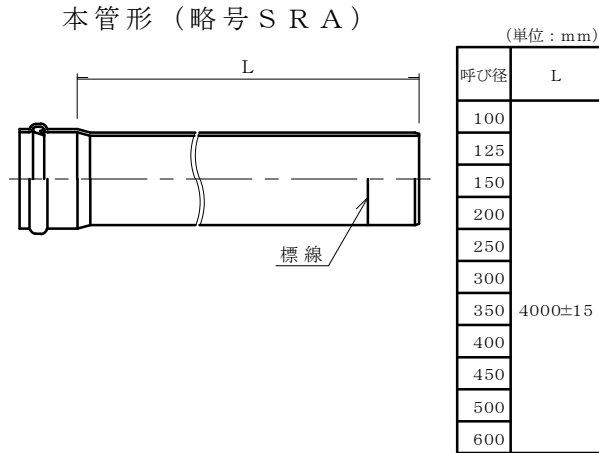
下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (2)

直 管 (J S W A S K - 1 - 2010)

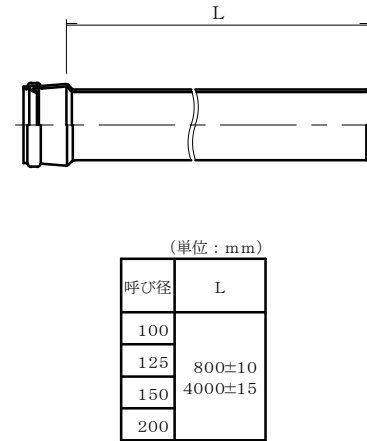
プレーンエンド直管



ゴム輪受口片受直管

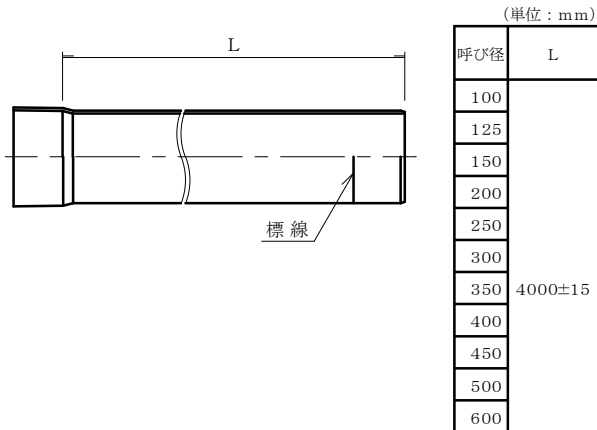


取付管形 (略号 S R B)



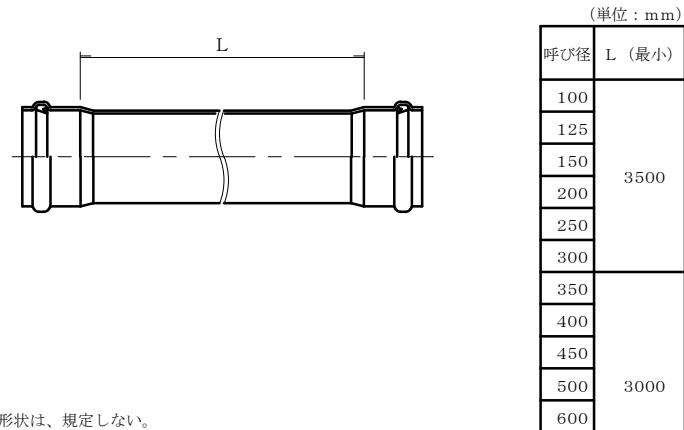
注1. 面取りの形状は、規定しない。

接着受口片受直管 (略号 S T)



注1. 面取りの形状は、規定しない。

ゴム輪受口両受直管 (略号 W S R A)



注1. 全長4000mmを加工したものを標準とする。
2. ゴム輪受口は、本管形とする。

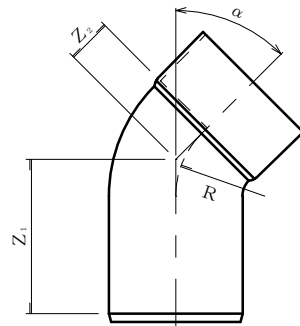
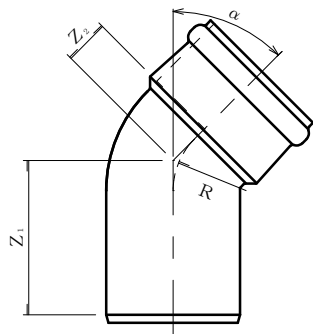
下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (3)

曲管 (J S W A S K - 1 - 2010)

15度～60度

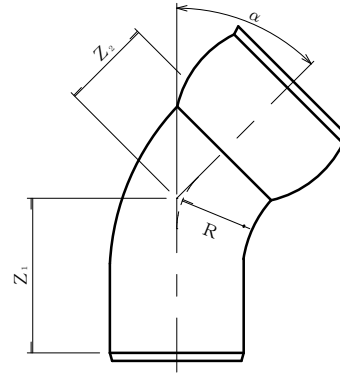
ゴム輪受口 (略号SR)

接着受口 (略号ST)



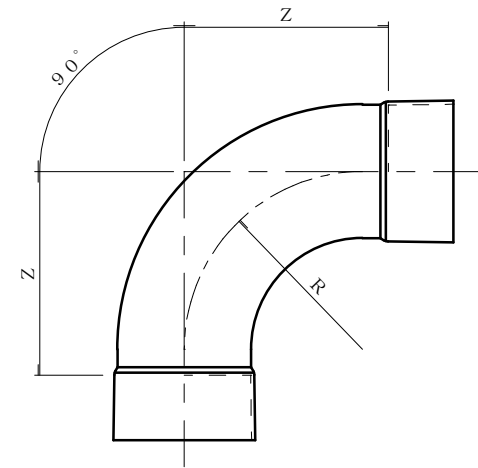
0度～75度

自在曲管 (略号SRF)



90度

接着受口 (略号90ST)



(単位: mm)

角 度 α	呼び径	Z1	R (参考)		
			Z2 最小	射出成形品	2次成形品
15°	150	129	15	90	220
	200	149	25	110	280
30°	150	159	15	90	220
	200	187	25	110	280
45°	150	191	40	90	220
	200	228	55	110	280
60°	150	227	60	90	220
	200	274	75	110	280

- 注1. Z1の許容差は、±15mmとする。
 2. ゴム輪受口は、取付け管形とする。
 3. 面取りの形状は、規定しない。

(単位: mm)

角 度 α	呼び径	R (参考)			
		Z1 最小	Z2 最小	射出成形品	2次成形品
0°	150	110	—	—	—
	200	125	—	—	—
15°	150	101	40	77	77
	200	121	54	101	170
30°	150	117	50	77	77
	200	140	75	101	170
45°	150	130	68	77	77
	200	155	93	101	170
60°	150	134	75	77	77
	200	175	121	101	170
75°	150	155	95	77	90
	200	195	135	110	215

- 注1. ゴム輪受口は、取付け管形 (自在) とする。
 2. 面取りの形状は、規定しない。

(単位: mm)

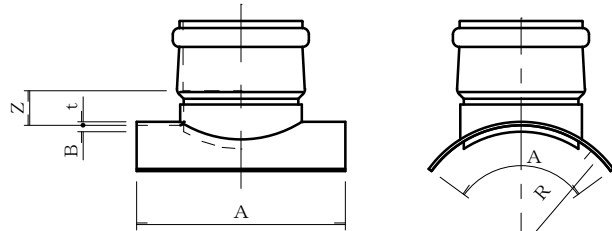
呼び径	Z	R (参考)
150	170	170
200	196	196
250	225	225
300	250	250

注 Zの許容差は、±15mmとする。

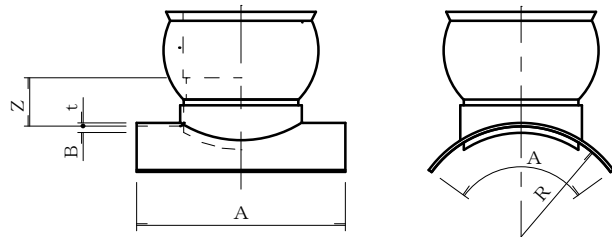
下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (4-1)

硬質塩化ビニル管用支管 (J S W A S K - 1 - 2010)

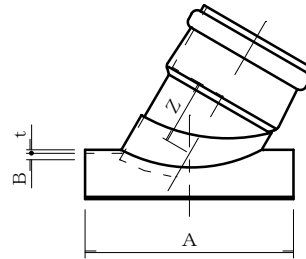
90度支管
(略号90SVR)



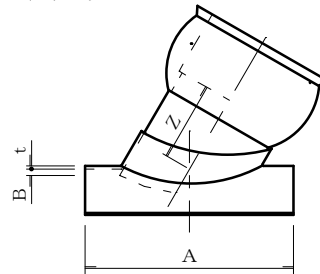
(略号90SVRF)



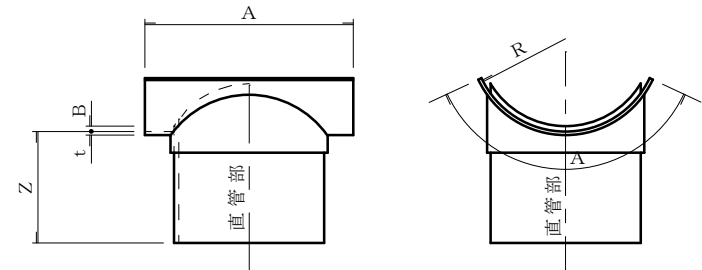
60度支管
(略号K60SVR)



(略号K60SVRF)



副管用90度支管
(略号VS)



(単位: mm)

呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R (標準)
200-150	140	4	300	6.5	108.0
250-150	140	4	300	7.8	133.5
250-200	160				
300-150	140	4	300	9.2	159.0
300-200	160				
350-150	140	4	300	10.5	185.0
350-200	160				
400-200	160	4	300	11.8	210.0
400-250	200				
450-200	160	4	300	13.2	235.0
450-250	200				
500-250	200	4	350	14.6	260.0
500-300	220				
600-300	220	4	350	17.8	315.0

(単位: mm)

呼び径	Z (SVR)		Z (SVRF・最小)		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R (標準)	呼び径	Z (SVR)		Z (SVRF・最小)		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R (標準)
	90度	60度	90度	60度						90度	60度	90度	60度				
150-100	45	80	—	—	4	230	5.1	82.5	400-150	50	95	35	95	4	300	11.8	210.0
200-150	50	95	35	95	4	300	6.5	108.0	400-200	50	110	49	110	4	300	13.2	235.0
250-150	50	95	35	95					450-150	50	95	35	95				
250-200	50	110	49	110	4	300	7.8	133.5	450-200	50	110	49	110	4	300	14.6	260.0
300-150	50	95	35	95					500-150	50	95	35	95				
300-200	50	110	49	110	4	300	9.2	159.0	500-200	50	110	49	110	4	300	17.8	315.0
350-150	50	95	35	95					600-150	50	95	35	95				
350-200	50	110	49	110	4	300	10.5	185.0	600-200	50	110	49	110				

注1. 呼び径は、「本管呼び径—取付け管呼び径」である。
 2. t、A、B、Rは、90度及び管軸60度支管に共通の寸法とする。
 3. Zの許容値は、±15mmとする。

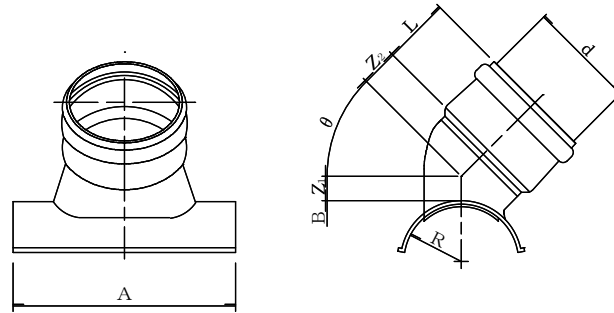
4. Rは標準値を示す。
 5. ゴム輪受け口は、取付け管形とする。

注1. 呼び径は、「本管呼び径—取付け管呼び径」である。
 2. Zの許容値は、±10mmとする。
 3. Rは標準値を示す。

下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (4-2)

硬質塩化ビニル管用支管

4 5 度 支 管 (略号 4 5 S V R D)



(単位: mm)

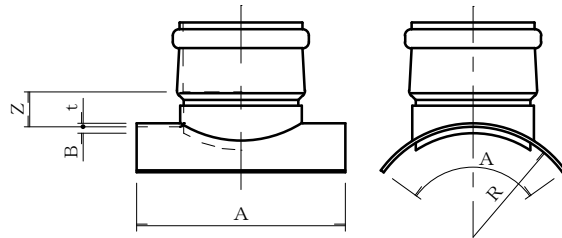
呼び径	d (最小)	L	R (標準)	Z ₁	Z ₂	t (最小)	A	B (最大)	θ
150-150	166	100	82.5	35	50	5	320	5.1	45°

注 Z₁ 及び Z₂ の許容差は、±10mmとする。

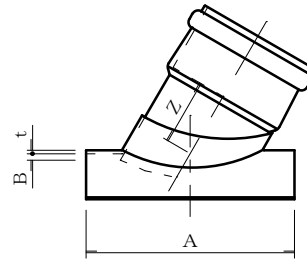
下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (5-1)

鉄筋コンクリート管用支管 (J S W A S K - 1 - 2010)

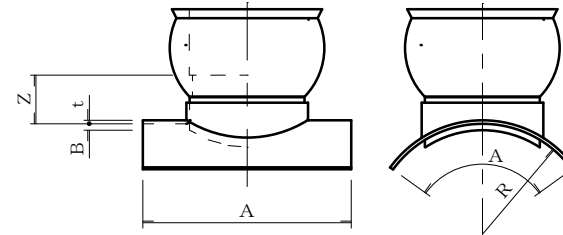
90度支管
(略号90SHR)



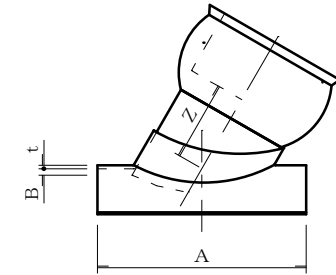
60度支管
(略号K60SHR)



90度支管
(略号90SHRF)



60度支管
(略号K60SHRF)



(単位: mm)

呼び径	Z (SHR)		Z (SHRF・最小)		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R (標準)	呼び径	Z (SHR)		Z (SHRF・最小)		t (最小)	A (最小)	B (最大)	R (標準)
	90度	60度	90度	60度						90度	60度	90度	60度				
200-150	50	95	35	95	4	255	25	127	900-150	50	95	35	95	4	255	73	525
250-150	50	95	35	95	4	255	26	153	900-200	50	110	49	110	4	300	79	582
250-200	50	110	49	110		300											
300-150	50	95	35	95	4	255	28	180	1000-150	50	95	35	95	4	255	79	582
300-200	50	110	49	110		300											
350-150	50	95	35	95	4	255	30	207	1000-200	50	110	49	110	4	300	85	638
350-200	50	110	49	110		300											
400-150	50	95	35	95	4	255	33	235	1100-150	50	95	35	95	4	255	92	695
400-200	50	110	49	110		300											
450-150	50	95	35	95	4	255	36	263	1100-200	50	110	49	110	4	300	100	778
450-200	50	110	49	110		300											
500-150	50	95	35	95	4	255	40	292	1200-150	50	95	35	95	4	255	108	862
500-200	50	110	49	110		300											
600-150	50	95	35	95	4	255	48	350	1200-200	50	110	49	110	4	300	116	945
600-200	50	110	49	110		300											
700-150	50	95	35	95	4	255	56	408	1350-150	50	95	35	95	4	255	123	1027
700-200	50	110	49	110		300											
800-150	50	95	35	95	4	255	64	466	1350-200	50	110	49	110	4	300	140	1145
800-200	50	110	49	110		300											

- 注1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
 2. t、A、B、R、は、90度及び管軸60度支管に共通の寸法とする。
 3. Zの許容値は、±15mmとする。

4. Rは標準値を示す。
 5. ゴム輪受け口は、取付け管形とする。

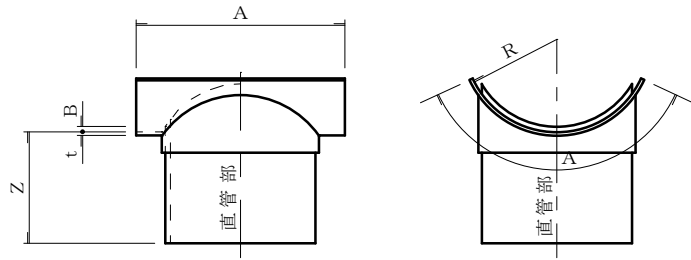
下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (5-2)

鉄筋コンクリート管用支管 (J S W A S K - 1 - 2010)

(単位: mm)

呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R	呼び径	Z	t (最小)	A (最小)	B (最大)	R (標準)
200-150	140	4	255	25	127	700-200	160		300		
250-150	140	4	255	26	153	700-250	200	4	350	56	408
250-200	160		300			700-300	220		400		
300-150	140	4	255	28	180	800-200	160	4	300	64	466
300-200	160		300			800-250	200		350		
300-250	200		350			800-300	220		400		
350-150	140	4	255	30	207	900-200	160	4	300	73	525
350-200	160		300			900-250	200		350		
350-250	200		350			900-300	220		400		
350-300	220		400			1000-200	160		300		
400-150	140	4	255	33	235	1000-250	200	4	350	79	582
400-200	160		300			1000-300	220		400		
400-250	200		350			1100-200	160		300		
400-300	220		400			1100-250	200		350		
450-150	140	4	255	36	263	1100-300	220	4	400	85	638
450-200	160		300			1200-200	160		300		
450-250	200		350			1200-250	200		350		
450-300	220		400			1200-300	220		400		
500-150	140	4	255	40	292	1350-200	160	4	300	100	778
500-200	160		300			1350-250	200		350		
500-250	200		350			1350-300	220		400		
500-300	220		400			1500-200	160		300		
600-150	140	4	255	48	350	1500-250	200	4	350	108	862
600-200	160		300			1500-300	220		400		
600-250	200		350			1650 以上-200	160		300		
600-300	220		400			1650 以上-250	200		350		
						1650 以上-300	220		400	116	945

副管用90度支管
(略号HS)

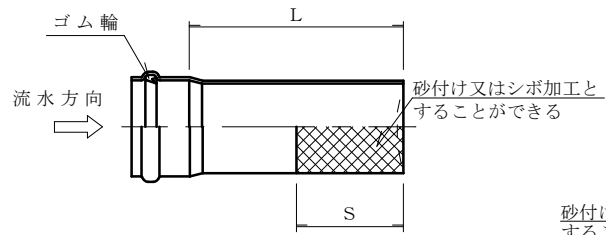


- 注1. 呼び径は、「本管呼び径-取付け管呼び径」である。
- 注2. Zの許容値は、±10mmとする。
- 注3. Rは標準値を示す。

下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (6)

マンホール継手 (J S W A S K - 1 - 2010)

上流用マンホール継手
(略号MR)

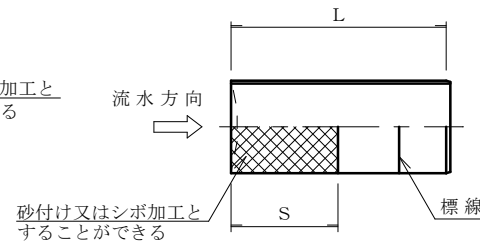


(単位: mm)

呼び径	L	S (参考)
100	500±15	200
125		
150		
200		250
250		
300		
350		300
400		
450		350
500		
600		

- 注1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。
2. ゴム輪受け口は、本管形とする。
3. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの浅い凸凹を付ける加工をいう。

下流用マンホール継手
(略号MSA)

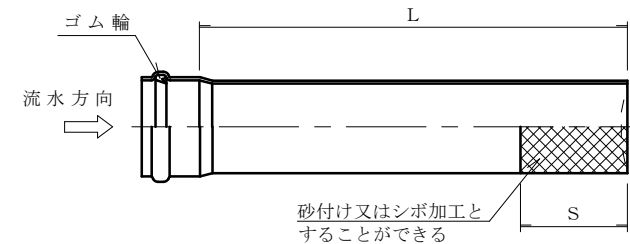


(単位: mm)

呼び径	L	S (参考)
100	500±15	200
125		
150		
200		250
250		
300	750±15	250
350		
400		300
450		
500		
600	350	

- 注1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。
2. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの浅い凸凹を付ける加工をいう。

副管分岐用マンホール継手
(略号MRL)



(単位: mm)

呼び径	L	S (参考)
150	1000±15	200
200		250
250		
300		
350		300
400		
450		350
500		
600		

- 注1. マンホールの内径に合わせて、破線で示す形状にすることもできる。
2. ゴム輪受け口は、本管形とする。
3. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの浅い凸凹を付ける加工をいう。

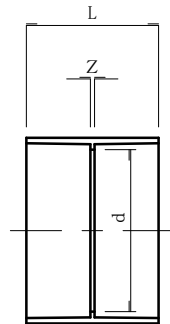
下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (7)

カラー

(J S W A S K - 1 - 2010)

接着受口カラー

(略号 W T B)



(単位: mm)

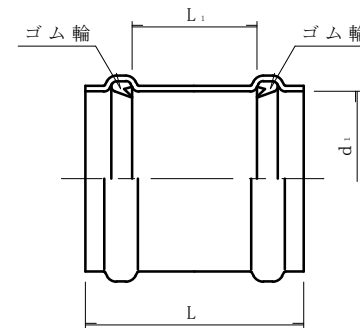
呼び径	L	Z	d (参考)
75	84	4	83
100	105	5	107
125	135	5	131
150	165	5	154
200	235	5	202
250	276	5	250
300	307	5	298

注1. Lの許容差は、呼び径75~150は±10mm、呼び径200~300は±20mmとする。

2. ZLの許容差は、±2mmとする。

ゴム輪受口カラー

(略号 W R)



(単位: mm)

呼び径	L(最大)	L1(最小)	d1(最小)
100	180	66	114.5
125	200	76	140.6
150	220	86	165.7
200	250	107	216.9

注1. d1の寸法は、本管形と同一である。

下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (8-1)

内副管用マンホール継手

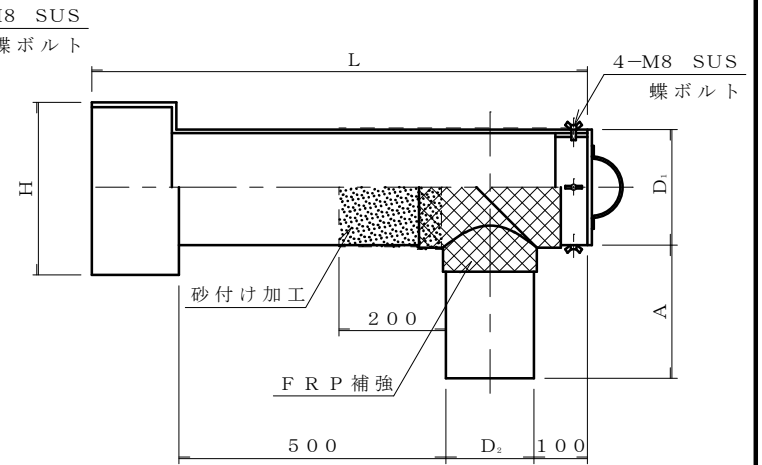
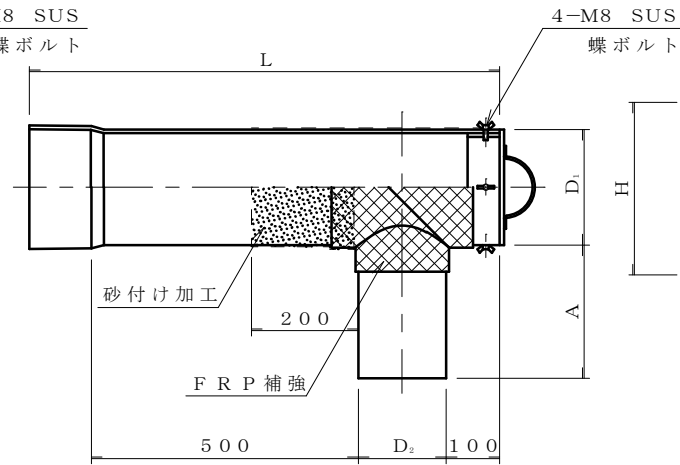
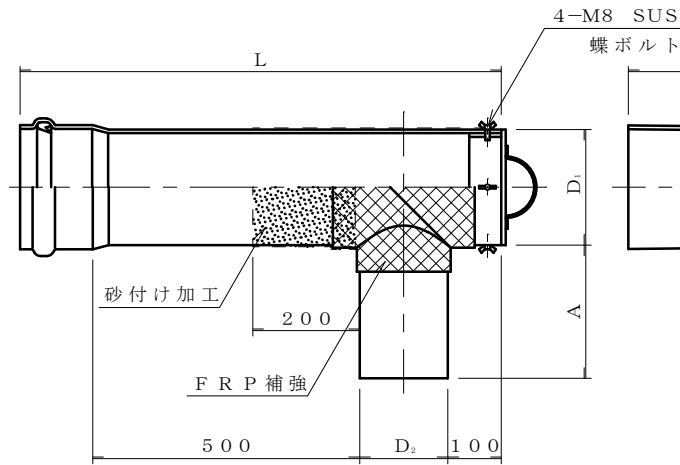
(参考図)

塩ビ管用

ヒューム管用

(ゴムリングタイプ)

(接着タイプ)



(単位: mm)

呼び径	L	D ₁	D ₂	A
200×150	935	216	165	150
250×200	1001	267	216	200
300×250	1067	318	267	250
350×300	1138	370	318	250

寸法許容差±5%

(単位: mm)

呼び径	L	D ₁	D ₂	A
200×150	885	216	165	150
250×200	966	267	216	200
300×250	1047	318	267	250
350×300	1118	370	318	250

寸法許容差±5%

(単位: mm)

呼び径	L	H	D ₁	D ₂	A
200×150	885	276	216	165	150
250×200	966	318	267	216	200
300×250	1047	370	318	267	250
350×300	1138	420	370	318	250

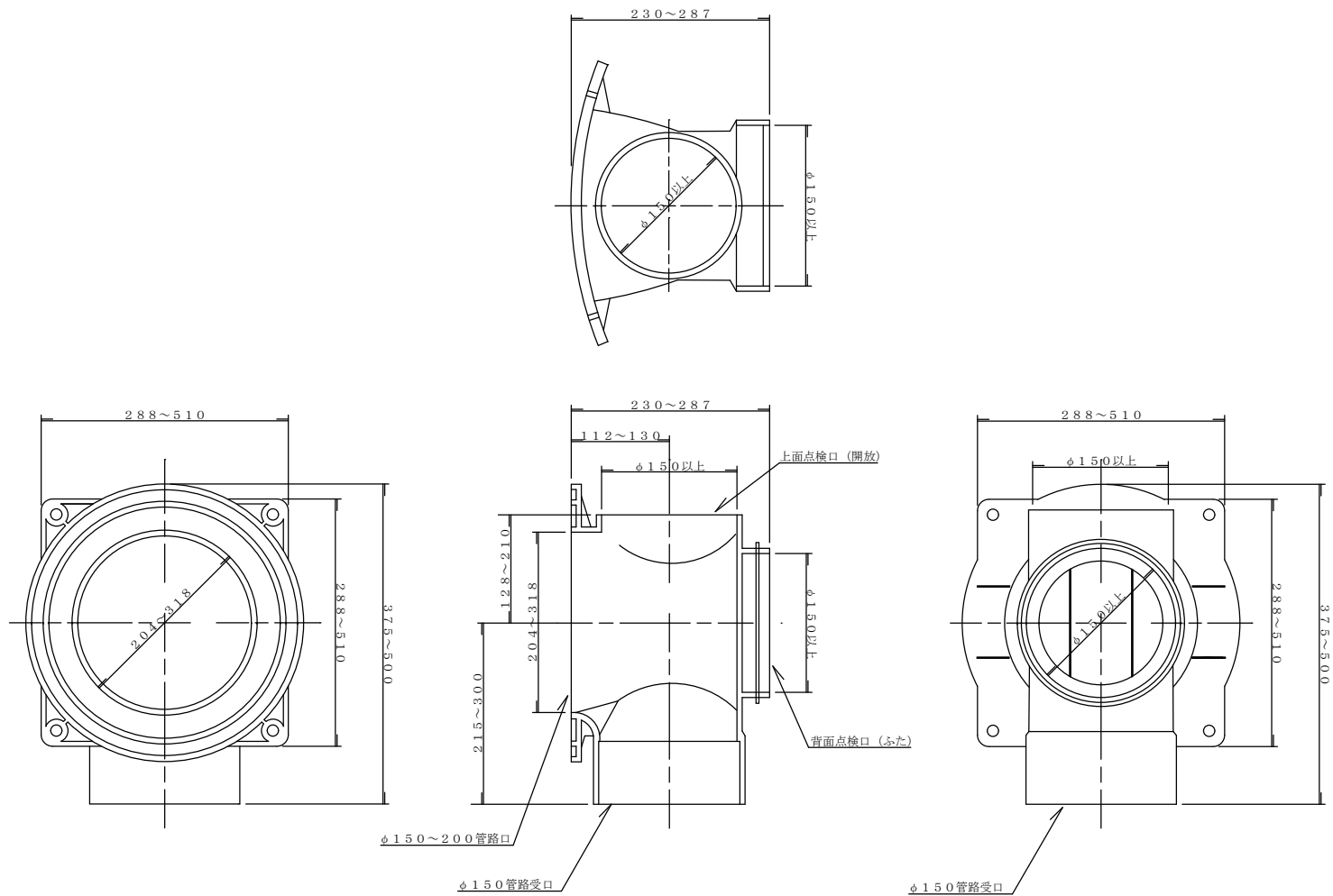
寸法許容差±5%

下水道用硬質塩化ビニル管規格図 (8-2)

内副管用マンホール継手

(参考図)

塩ビ管用
(壁面貼付タイプ)

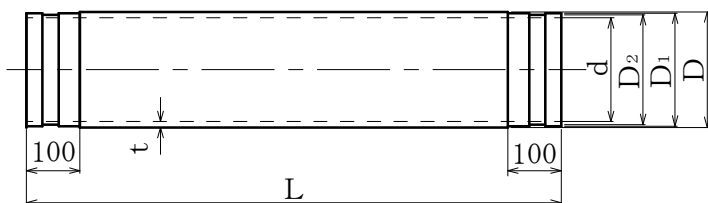


下水道推進工法用硬質塩化ビニル管規格図 (1)

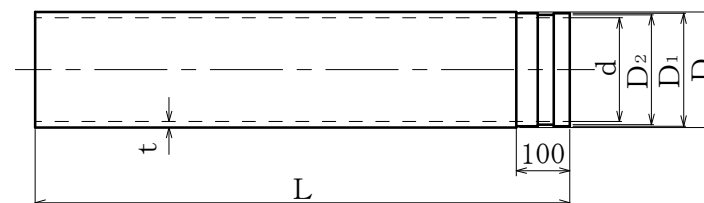
(J S W A S K - 6 - 2009)

SUSカラー付き直管(SUSR)

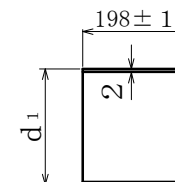
標準管



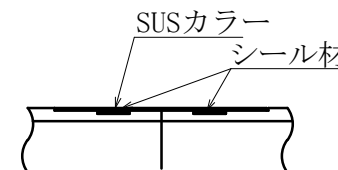
先頭管及び最終管



SUSカラー詳細図



接続部参考図



(単位 : mm)

呼び径	D	D ₁	D ₂	d (参考)	d ₁	t	L
150	165.0 ± 0.5	160.0 ^{+0.6} / _{-0.3}	154.0 ^{+0.6} / _{-0.3}	146	161.3 ± 0.5	8.9 ^{+1.4} / ₀	1000 ± 3
200	216.0 ± 0.7	211.0 ^{+0.6} / _{-0.3}	205.0 ^{+0.6} / _{-0.3}	194	212.3 ± 0.5	10.3 ^{+1.4} / ₀	1000 ± 3
250	267.0 ± 0.9	262.0 ^{+0.6} / _{-0.3}	256.0 ^{+0.6} / _{-0.3}	240	263.3 ± 0.5	12.7 ^{+1.8} / ₀	
300	318.0 ± 1.0	313.0 ^{+0.6} / _{-0.3}	307.0 ^{+0.6} / _{-0.3}	286	314.3 ± 0.5	15.1 ^{+2.2} / ₀	
350	370.0 ± 1.2	365.0 ^{+1.0} / _{-0.5}	359.0 ^{+1.0} / _{-0.5}	339	366.7 ± 0.5	14.3 ^{+2.0} / ₀	2000 ± 5
400	420.0 ± 1.3	415.0 ^{+1.0} / _{-0.5}	409.0 ^{+1.0} / _{-0.5}	385	416.7 ± 0.5	16.2 ^{+2.2} / ₀	
450	470.0 ± 1.5	465.0 ^{+1.0} / _{-0.5}	459.0 ^{+1.0} / _{-0.5}	431	466.7 ± 0.5	18.1 ^{+2.6} / ₀	

- 注1. D、D₁及びD₂は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。
 2. 先頭管とは先導体に接続する管で、最終管とは推進時の最後に使用する管である。また、標準管とはその間の推進時に使用する管をいう。
 3. 差し口先端部は、糸面取りとする。
 4. シール材の形状及びシール材周辺部の形状は、規定しない。

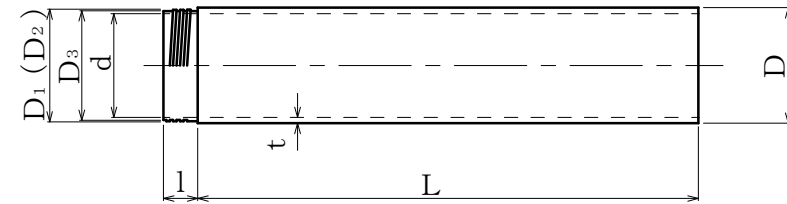
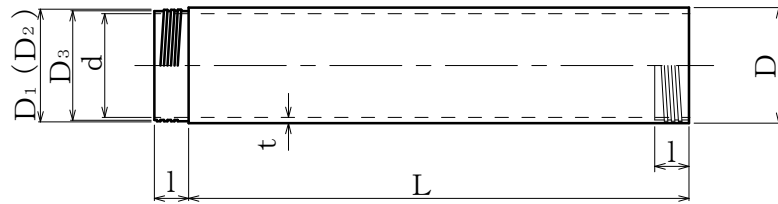
下水道推進工法用硬質塩化ビニル管規格図 (2)

(J S W A S K - 6 - 2009)

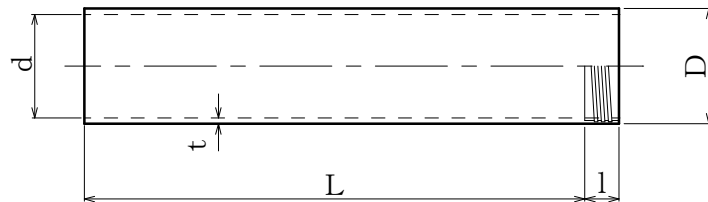
スパイラル継手付き直管(SUSR)

標準管

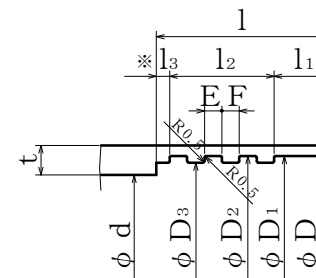
最終管



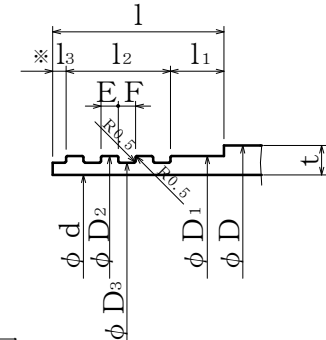
先頭管



継手受口部詳細図



継手差し口部詳細図



(単位: mm)

呼び径	D	D ₁	D ₂	D ₃	d (参考)	l	t	L	
150	受口部	165.0±0.5	158.4±0.3	158.4±0.3	154.2±0.3	146	64±1	8.9 ^{+1.4} ₀	800±3
	差し口部		157.8±0.3	157.4±0.3	153.2±0.3		65 ⁺¹ ₀		1000±3
200	受口部	216.0±0.7	208.2±0.3	208.2±0.3	203.2±0.3	194	64±1	10.3 ^{+1.4} ₀	800±3
	差し口部		207.6±0.3	207.2±0.3	202.2±0.3		65 ⁺¹ ₀		
250	受口部	267.0±0.9	258.6±0.4	258.6±0.4	251.4±0.4	240	64±1	12.7 ^{+1.8} ₀	1000±3
	差し口部		257.8±0.4	257.4±0.4	250.2±0.4		65 ⁺¹ ₀		
300	受口部	318.0±1.0	307.8±0.4	307.8±0.4	299.4±0.4	286	64±1	15.1 ^{+2.2} ₀	2000±5
	差し口部		307.0±0.4	306.6±0.4	298.2±0.4		65 ⁺¹ ₀		
350	受口部	370.0±1.2	362.5±0.5	362.4±0.5	353.8±0.5	339	79±1	14.3 ^{+2.0} ₀	800±3
	差し口部		361.5±0.5	361.0±0.5	352.4±0.5		80 ⁺¹ ₀		
400	受口部	420.0±1.3	411.6±0.5	411.5±0.5	401.9±0.5	385	79±1	16.2 ^{+2.2} ₀	1000±3
	差し口部		410.6±0.5	410.1±0.5	400.5±0.5		80 ⁺¹ ₀		
450	受口部	470.0±1.5	460.5±0.5	460.4±0.5	449.8±0.5	431	79±1	18.1 ^{+2.6} ₀	2000±5
	差し口部		459.5±0.5	459.0±0.5	448.4±0.5		80 ⁺¹ ₀		

接続部参考図



※は差し口先端部が受口部最奥部に当たる寸法にて加工すること。

1. D、D₁、D₂及びD₃は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。
2. 先頭管とは先導体に接続する管で、最終管とは推進時の最後に使用する管である。また、標準管とはその間の推進時に使用する管をいう。
3. 差し口先端部は、糸面取りとする。
4. 管厚区分はV P又はVMとする。

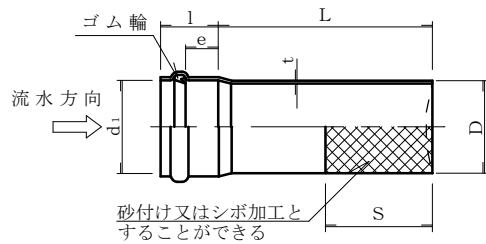
(単位: mm)

呼び径	継手差し口部				継手受口部					
	l ₁ (最小)	l ₂ (標準)	l ₃ (最小)	E (標準)	F (標準)	l ₁ (最小)	l ₂ (標準)	l ₃ (最小)	E (標準)	F (標準)
150~300	20	40	5	6.75	7.00	20	40	5	7.00	6.75
350~450	25		15			25		15		

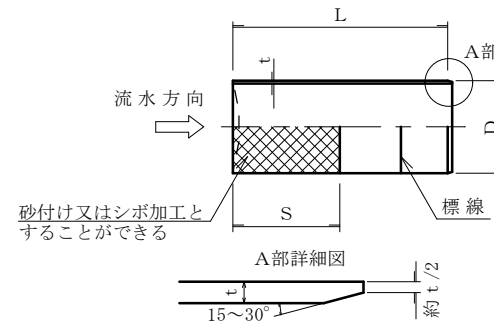
下水道推進工法用硬質塩化ビニル管規格図 (3)

マンホール継手・カラー (J S W A S K-6-2009)

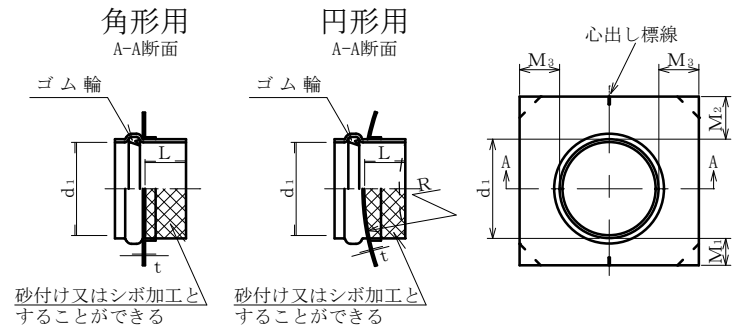
上流用マンホール継手
(略号MR-VP、MR-VM)



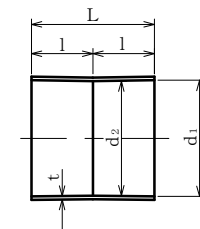
下流用マンホール継手
(略号MSA-VP、MSA-VM)



くら型マンホール継手
(略号MRK)



接着受口カラー
(略号WTA)



(単位: mm)

呼び径	受口部			直管部				略号	
	d (最小)	e (最小)	l (最小)	D	t	L	S (参考)		
150	165.7	53	165	165.0±0.5	8.9 ^{+1.4} ₀	200	200	MR-VP	
200	216.9	54	185	216.0±0.7	10.3 ^{+1.4} ₀				
250	268.1	59	205	267.0±0.9	12.7 ^{+1.8} ₀	250±15	250		
300	319.3	62	225	318.0±1.0	15.1 ^{+2.2} ₀				
350	371.5	67	240	370.0±1.2	14.3 ^{+2.0} ₀	300	300		MR-VM
400	421.7	72	260	420.0±1.3	16.2 ^{+2.2} ₀				
450	471.9	77	285	470.0±1.5	18.1 ^{+2.6} ₀				

- 注1. マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることができる。
 2. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺の形状は、規定しない。
 3. D及びd1は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。
 4. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの浅い凸凹を付ける加工をいう。

(単位: mm)

呼び径	差し口部		直管部		略号	
	D	t	L	S (参考)		
150	165.0±0.5	8.9 ^{+1.4} ₀	500±15	200	MSA-VP	
200	216.0±0.7	10.3 ^{+1.4} ₀				
250	267.0±0.9	12.7 ^{+1.8} ₀	750±15	250		
300	318.0±1.0	15.1 ^{+2.2} ₀				
350	370.0±1.2	14.3 ^{+2.0} ₀	1000±15	300		MSA-VM
400	420.0±1.3	16.2 ^{+2.2} ₀				
450	470.0±1.5	18.1 ^{+2.6} ₀				

- 注1. マンホールの内径に合わせて破線で示す形状にすることができる。
 2. Dは、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。
 3. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの浅い凸凹を付ける加工をいう。

(単位: mm)

人孔種別	呼び径	受口部 d1 (最小)	L (参考)	M1 (参考)	M2 (参考)	M3 (参考)	t (最小)	R (参考)
200-900	216.9							
250-900	268.1							
150-1050	165.7	100	50	80	75	4.0	525	
200-1050	216.9							
250-1050	268.1							
300-1050	319.3							
200-1400	216.9							
250-1400	268.1							
300-1400	319.3							
角形	150	165.7	75	50	80	75	4.0	—
	200	216.9						
	250	268.1						
	300	319.3						

- 注1. 呼び径は、円形は「本管呼び径-マンホール外径」、角形は「本管呼び径」とする。
 2. 形状は破線で示すものとする。ことができる。
 3. ゴム輪の形状及びゴム輪周辺の形状は、規定しない。
 4. d1は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。
 5. シボ加工とは、プラスチックの表面に水玉模様あるいは梨地などの浅い凸凹を付ける加工をいう。

(単位: mm)

呼び径	受口部			L	t (参考)
	d1	d2	l		
150	166.1±0.5	163.9±0.5	80±5	160±10	5.1
200	217.4±0.6	214.6±0.6	115±10	230±20	6.5
250	268.6±0.6	265.4±0.6	140±10	280±20	7.8
300	319.8±0.7	316.2±0.7	165±10	330±20	9.2
350	372.2±0.7	368.7±0.7	200±10	400±20	10.5
400	422.3±0.8	418.4±0.8	220±10	440±20	11.8
450	472.6±0.9	468.1±0.9	250±10	500±20	13.2

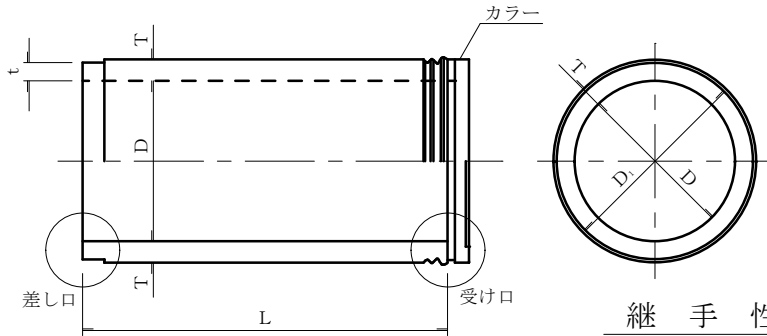
- 注1. d1及びd2は、任意箇所における相互に等間隔な2方向以上の直径測定値の平均値をいう。

下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管規格図 (1)

(J S W A S A - 6-2000)

標準管

形状寸法及び寸法の許容差



管の種類

形状	外圧強さ	圧縮強度	継手性能
標準管	1種	50	SJS
	2種	70	SJA
		50	SJB

注1. 継手とは、受け口及び差し口を組み合わせたものをいう。

継手性能

区分	耐水圧 (MPa)	拔出し長 (mm)
SJS	0.1	10
SJA	0.2	10
SJB	0.2	20

注 拔出し長とは、管と管との開きをいう。

外圧強さ

(単位: kN/m)

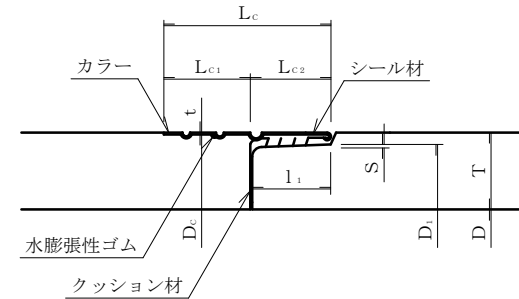
呼び径	ひび割れ荷重		破壊荷重	
	1種	2種	1種	2種
200	31.4	62.8	47.1	94.2
250	32.4	64.8	49.1	97.1
300	34.4	68.7	52.0	103.0
350	37.3	74.6	55.9	112.0
400	39.3	78.5	58.9	118.0
450	42.2	84.4	63.8	127.0
500	44.2	88.3	66.7	133.0
600	46.1	92.2	69.7	138.0
700	48.1	96.2	72.6	143.0

注 ひび割れ荷重とは、管に幅 0.05 mm のひび割れを生じたときの、試験機が示す荷重を有効長 (L) で除した値をいい、破壊荷重とは、試験機が示す最大荷重を有効長 (L) で除した値をいう。

E型管継手部

形状寸法及び寸法の許容差

継手部詳細



E型 (継手性能区分 SJS)

(単位: mm)

呼び径	D ₁	l ₁	S	L _c	L _{c1}	L _{c2}	t	D _c
200	298							313
250	340							355
300	394							409
350	450	51	1.5	120	70	50	1.5	465
400	506							521
450	564							579
500	620							635
600	736							754
700	856	81	2.5	170	90	80	2.0	874

注 継手性能区分 SJA 及び SJB の寸法等は別途確認すること。

(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	有効長 L	継手最小厚さ t
200	200±3	59± $\frac{4}{2}$	2000 $^{+10}_{-5}$	47.5
250	250±3	55± $\frac{4}{2}$		43.5
300	300±4	57± $\frac{4}{2}$		45.5
350	350±4	60± $\frac{4}{2}$	2430 $^{+10}_{-5}$	48.5
400	400±4	63± $\frac{4}{2}$		51.5
450	450±4	67± $\frac{4}{2}$		55.5
500	500±4	70± $\frac{4}{2}$		58.5
600	600±4	80± $\frac{4}{2}$		65.5
700	700±4	90± $\frac{4}{2}$		75.5

- 注1. 有効長 (L) は、呼び径200~300については1 000 $^{+10}_{-5}$ mm、呼び径350~700については1 200 $^{+10}_{-5}$ mmとすることができる。
2. 管の形状は、受け口なしとすることができる。ただし、有効長は、呼び径200~300については2 000 $^{+10}_{-20}$ mm、呼び径350~700管については2 430 $^{+10}_{-20}$ mmとする。
3. 有効長の最大と最小の差は、3mm以内とする。
4. 継手最小厚さとは、継手部の最小厚さの標準をいう。

下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管規格図 (2)

(J S W A S A-6-2000)

(全国ヒューム管協会規格)

短管 A , B

E 型 先頭管 C、短管 D

管の形状寸法及び寸法の許容差

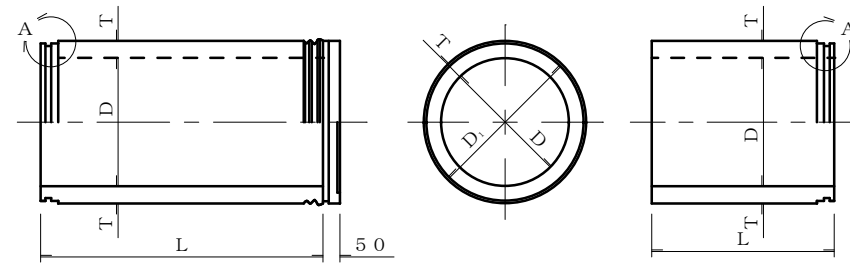
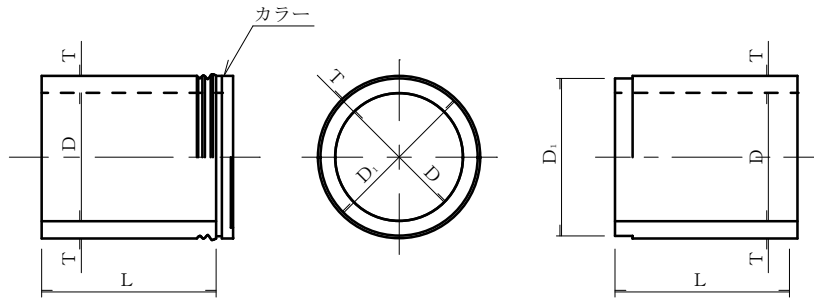
管の形状寸法及び寸法の許容差

短管 A

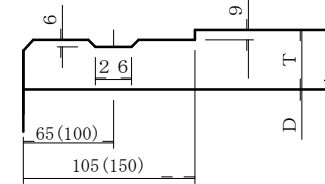
短管 B

先頭管 C

短管 D



A 部詳細



注 ()内は呼び径600及び700の寸法。

管の種類

形状	外圧強さ	圧縮強度	継手性能
短管A	1種	50	SJS SJA
	2種	50	
短管B	1種	50	SJB
	2種	50	

注1. 継手とは、受け口及び差し口を組み合わせたものをいう。

(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	継手最小厚さ t	有効長 L
200 / 300	標準管の規定値と同じ			990 ⁺²⁰ ₋₁₀
350 / 700	標準管の規定値と同じ			1200 ⁺²⁰ ₋₁₀

(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	有効長 L
200	200 ^{±3}	59 ⁺⁴ ₋₂	1940 ⁺¹⁰ ₋₅
250	250 ^{±3}	55 ⁺⁴ ₋₂	
300	300 ^{±4}	57 ⁺⁴ ₋₂	
350	350 ^{±4}	60 ⁺⁴ ₋₂	2370 ⁺¹⁰ ₋₅
400	400 ^{±4}	63 ⁺⁴ ₋₂	
450	450 ^{±4}	67 ⁺⁴ ₋₂	
500	500 ^{±4}	70 ⁺⁴ ₋₂	2340 ⁺¹⁰ ₋₅
600	600 ^{±4}	80 ⁺⁴ ₋₂	
700	700 ^{±4}	90 ⁺⁴ ₋₂	

(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	有効長 L
200	200 ^{±3}	59 ⁺⁴ ₋₂	990 ⁺²⁰ ₋₁₀
250	250 ^{±3}	55 ⁺⁴ ₋₂	
300	300 ^{±4}	57 ⁺⁴ ₋₂	
350	350 ^{±4}	60 ⁺⁴ ₋₂	1200 ⁺²⁰ ₋₁₀
400	400 ^{±4}	63 ⁺⁴ ₋₂	
450	450 ^{±4}	67 ⁺⁴ ₋₂	
500	500 ^{±4}	70 ⁺⁴ ₋₂	
600	600 ^{±4}	80 ⁺⁴ ₋₂	
700	700 ^{±4}	90 ⁺⁴ ₋₂	

注1 有効長 (L) は、呼び径250~300については1 000⁺¹⁰₋₅ mm、呼び径350~700については1 200⁺¹⁰₋₅ mmとすることができる。

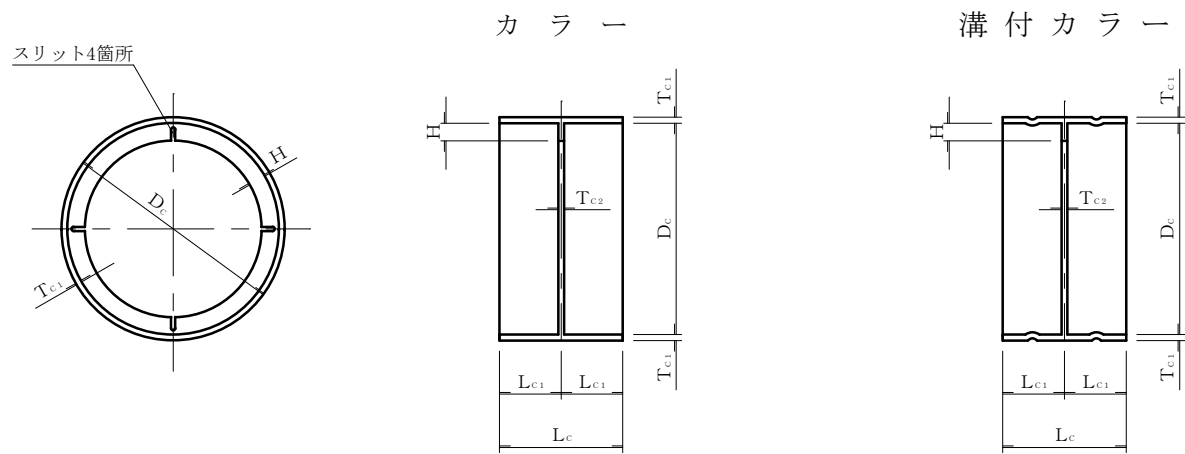
2 その他の寸法については標準管に準ずる

下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管規格図 (3)

(全国ヒューム管協会規格)

E型先頭管C及び短管Dに用いるカラー

形状寸法



(単位: mm)

呼び径	D _c	H	T _{c1}	T _{c2}	L _c	L _{c1}
200	307	50	4.5	4.5	200	100
250	349	46				
300	403	48				
350	459	51				
400	515	54				
450	573	58			300	150
500	629	61				
600	749	71				
700	869	81				

注. スリットは、呼び径600、700のみに設ける。

(単位: mm)

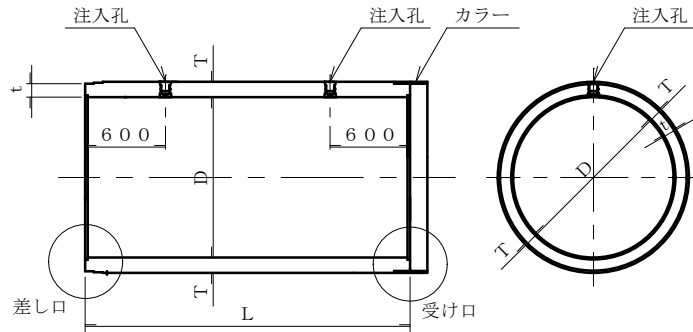
外周長	高さ H	長さ L _c
+6 -3	±2	ウェブ中心より +4, -2

下水道推進工法用鉄筋コンクリート管規格図 (1)

(J S W A S A - 2 - 2018)

標準管

形状寸法及び寸法の許容差



(単位: mm)

呼び径	内径 D	厚さ T	有効長 L	継手最小厚さ t
800	800±4	80 ⁺⁴ ₋₃	2430 ⁺¹⁰ ₋₅	65
900	900±6	90 ⁺⁶ ₋₃		75
1000	1000±6	100 ⁺⁶ ₋₃		85
1100	1100±6	105 ⁺⁶ ₋₃		90
1200	1200±6	115 ⁺⁶ ₋₃		100
1350	1350±8	125 ⁺⁸ ₋₄		105
1500	1500±8	140 ⁺⁸ ₋₄		120
1650	1650±8	150 ⁺⁸ ₋₄		130
1800	1800±10	160 ⁺¹⁰ ₋₅		140
2000	2000±10	175 ⁺¹⁰ ₋₅		155
2200	2200±10	190 ⁺¹⁰ ₋₅		170
2400	2400±12	205 ⁺¹² ₋₆		180
2600	2600±12	220 ⁺¹² ₋₆		195
2800	2800±12	235 ⁺¹² ₋₆		210
3000	3000±12	250 ⁺¹² ₋₆		225

- 標準管の有効長 (L) は 1 200^{±0} mm とすることができる。
- 管の形状は、受け口なしとすることができる。ただし、有効長は 2 430^{±0} mm、1 200^{±0} mm とする。
- 有効長の最大と最小の差は、3 mm 以内とする。
- 呼び径 1 000 以上の標準管には、緊結用埋込みナットをつけることができる。
- 注入孔の数および位置は必要に応じて変えることができる。
- 継手最小厚さとは、継手部の最小厚さの標準をいう。

管の種類

形状	内外圧	外圧強さ	内圧強さ		継手性能	圧縮強度
			区分	水圧		
標準管	外圧管	1 種	—	—	JA, JB, JC, JD	50
		2 種				70
		3 種				70
	内圧管	1 種	AW2	0.2MPa	JA, JB, JC, JD	50
		2 種	AW4	0.4MPa	JC, JD	70
		3 種	AW6	0.6MPa	JB, JC, JD	70

- 外圧管は外圧のみ作用する場合に使用する。また、内圧管は外圧及び内圧が作用する場合に使用する。
- 継手とは、受け口及び差し口を組み合わせたものをいう。

継手性能

区分	耐水圧 (MPa)		拔出し長 (mm)
	外水圧	内水圧	
J A	0.1	0.1	30
J B	0.2	0.2	40
J C	0.2	0.2	60
J D	0.4	0.4	60

- 拔出し長とは、管と管の開きをいう。
- 拔出し長の30mmとは0~30mmを、40mmとは0~40mmを、60mmとは0~60mmを意味する。
- 内水圧は内圧管にのみ適用する。

外圧強さ

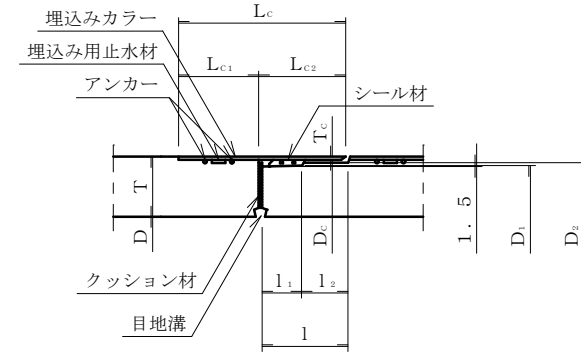
(単位: kN/m)

呼び径	ひび割れ荷重			破壊荷重		
	1 種	2 種	3 種	1 種	2 種	3 種
800	35.4	70.7	90.0	57.9	106.0	159.0
900	38.3	76.5	99.0	64.8	115.0	178.0
1000	41.2	82.4	106.0	71.6	124.0	193.0
1100	42.7	85.4	109.0	78.5	128.0	195.0
1200	44.2	88.3	112.0	86.3	133.0	202.0
1350	47.1	94.2	119.0	98.1	142.0	214.0
1500	50.1	101.0	126.0	110.0	151.0	225.0
1650	53.0	106.0	133.0	122.0	159.0	240.0
1800	55.9	112.0	141.0	134.0	168.0	254.0
2000	58.9	118.0	148.0	142.0	177.0	265.0
2200	61.8	124.0	154.0	149.0	186.0	278.0
2400	64.8	130.0	162.0	155.0	195.0	291.0
2600	67.7	136.0	169.0	163.0	203.0	301.0
2800	70.7	142.0	177.0	170.0	212.0	311.0
3000	73.6	148.0	184.0	177.0	221.0	322.0

- ひび割れ荷重とは、管に幅 0.05 mm のひび割れを生じたときの試験機が示す荷重を有効長 (L) で除した値をいい、破壊荷重とは、試験機が示す最大荷重を有効長 (L) で除した値をいう。
- 中押管については T のみ、ひび割れ荷重を適用する。

E型管 継手部

形状寸法



E型 (継手性能区分 JA)

(単位: mm)

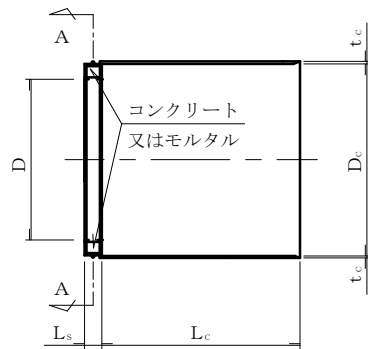
呼び径	D ₁	D ₂	l	l ₁	l ₂	L _{c1}	L _{c2}	L _c	T _c	D _c
800	933	942	132	60	72	120	130	250	4.5	951
900	1053	1062								1071
1000	1173	1182								1191
1100	1283	1292								1301
1200	1403	1412								1421
1350	1563	1577								1588
1500	1743	1757	6	150	150	300	9	1768		
1650	1913	1927						1938		
1800	2083	2097						2108		
2000	2313	2327						2338		
2200	2543	2557						2568		
2400	2763	2779						2792		
2600	2993	3009	152	70	82	150	150	300	3022	
2800	3223	3239							3252	
3000	3453	3469							3482	

下水道推進工法用鉄筋コンクリート管規格図 (2)

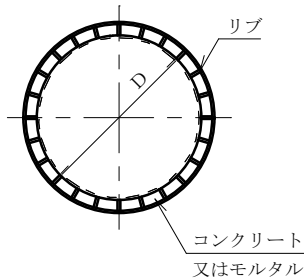
(J S W A S A - 2 - 2018)

中 押 管

S の形状寸法及び寸法の許容差



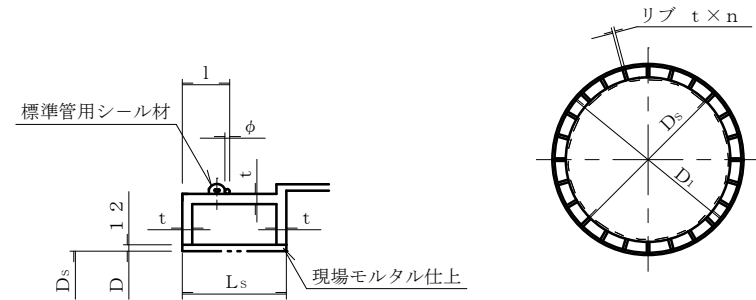
A ~ A 断面図



E 型管用中押管

形状寸法

先頭部詳細図



(単位: mm)

呼び径	内径 D	Dc	Lc	tc
1000	1000	1182	1100 ⁺⁵ ₋₃	9
1100	1100	1292		
1200	1200	1406		
1350	1350	1576	1150 ⁺⁵ ₋₃	12
1500	1500	1756		
1650	1650	1926		
1800	1800	2096		
2000	2000	2326		
2200	2200	2556	1200 ⁺⁵ ₋₃	16
2400	2400	2778		
2600	2600	3008		
2800	2800	3238		
3000	3000	3468		

管 の 種 類

形 状	内外圧	外圧強さ	内圧強さ		継手性能	圧縮強度
			区分	水 圧		
中押管	S	—	—	—	JA, JB, JC, JD	50
	2 種	AW4 0.4MPa	JC, JD			
	3 種	AW6 0.6MPa	JB, JC, JD			

- 注1. 内外圧管は外圧管と内圧管、両方の場合に使用する。
 2. 外圧強さ、内圧強さ、継手性能は標準管を参照すること。
 3. 中押し管は、SとTを1組として使用する。

(単位: mm)

呼び径	Ds	D1	有効長 Ls	l	t	phi	リップn (枚)
1000	1024	1173	150	60	16	6	28
1100	1124	1283					32
1200	1224	1403					36
1350	1374	1563	155		19	9	40
1500	1524	1743					44
1650	1674	1913	160	22	25	48	
1800	1824	2083				52	
2000	2024	2313				58	
2200	2224	2543	180	70	25	64	
2400	2424	2763				72	
2600	2624	2993				78	
2800	2824	3223				84	
3000	3024	3453				90	

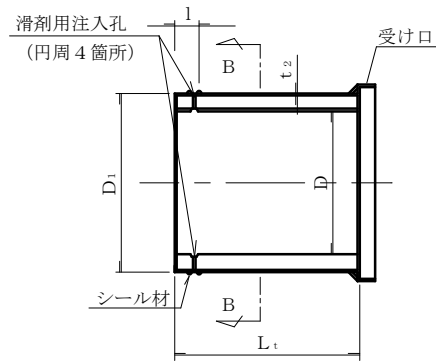
- 注1. 差し口には必要に応じてシール装着のための加工を行うことができる。
 2. 有効長 Ls は登録管によって異なる。

下水道推進工法用鉄筋コンクリート管規格図 (3)

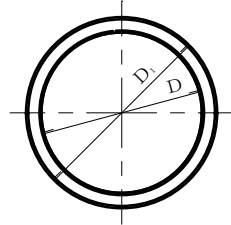
(J S W A S A - 2 - 2018)

中 押 管

T の形状寸法及び寸法の許容差



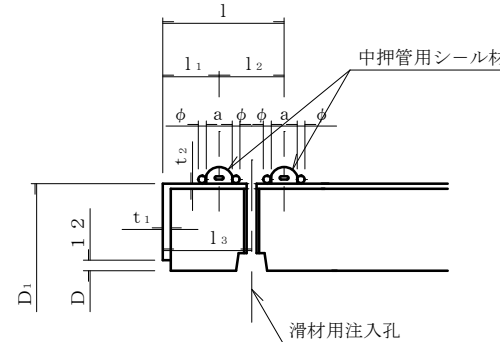
B ~ B 断面図



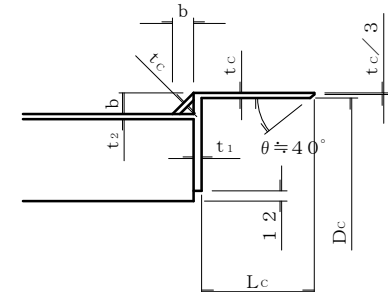
E 型用中押管

形状寸法

先頭部詳細図



受け口部詳細図



(単位: mm)

呼び径	内 径 D	D ₁	t ₂	有効長 L _t
1000	1000 ^{±6}	1164 ⁺³ ₋₂	6	1150 ⁺⁵ ₋₃
1100	1100 ^{±6}	1274 ⁺³ ₋₂		
1200	1200 ^{±6}	1388 ⁺³ ₋₂		
1350	1350 ^{±8}	1551 ⁺⁴ ₋₃		
1500	1500 ^{±8}	1731 ⁺⁴ ₋₃		
1650	1650 ^{±8}	1901 ⁺⁴ ₋₃		
1800	1800 ^{±10}	2071 ⁺⁴ ₋₃	9	1250 ⁺⁵ ₋₃
2000	2000 ^{±10}	2301 ⁺⁴ ₋₃		
2200	2200 ^{±10}	2531 ⁺⁴ ₋₃		
2400	2400 ^{±12}	2749 ⁺⁵ ₋₃		
2600	2600 ^{±12}	2979 ⁺⁵ ₋₃		
2800	2800 ^{±12}	3209 ⁺⁵ ₋₃		
3000	3000 ^{±12}	3439 ⁺⁵ ₋₃		

管 の 種 類

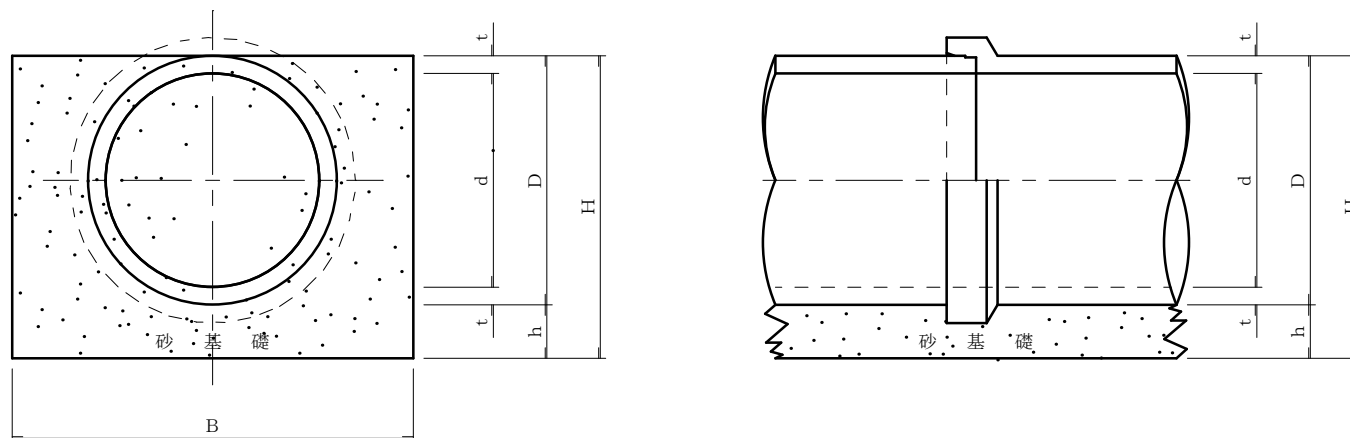
形 状	内外圧	外圧強さ	内圧強さ		継手性能	圧縮強度	
			区分	水 圧			
中押管	S T	内外圧管	—	—	JA, JB, JC, JD	—	
			1 種	AW2	0.2MPa	JA, JB,	50
			2 種	AW4	0.4MPa	JC, JD	50
		3 種	AW6	0.6MPa	JB, JC, JD	50	

- 注1. 内外圧管は外圧管と内圧管、両方の場合に使用する。
 注2. 外圧強さ、内圧強さ、継手性能は標準管を参照すること。
 注3. 中押し管は、SとTを1組として使用する。

(単位: mm)

呼び径	D _c	L _c	l	l ₁	l ₂	l ₃	a	b	t _c	t ₁	φ	
1000	1191	130	125	60	65	92.5	26	18	4.5	9	6	
1100	1301							21				
1200	1421											
1350	1588		140	65	75	102.5	30	24	6			9
1500	1768											
1650	1938											
1800	2108	150	150	70	80	110	34	30	9	12		
2000	2338											
2200	2568											
2400	2792											
2600	3022											
2800	3252											
3000	3482											

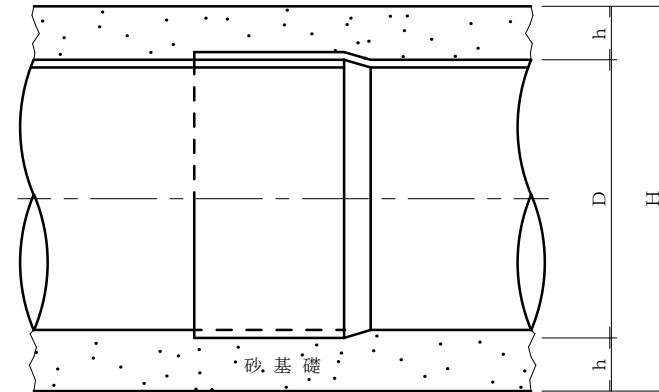
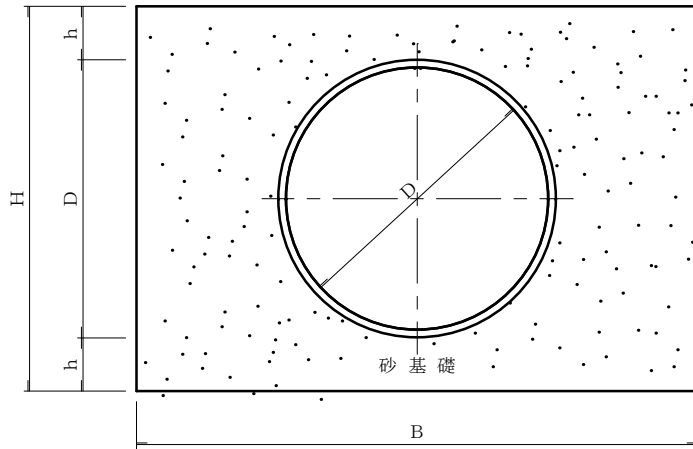
下水道用鉄筋コンクリート管砂基礎布設図



(単位：mm)

呼び径	内径 d	管厚 t	外径 D	基礎厚 h	基礎高 H	最小掘削幅 B	摘要
250	250	28	306	100	406	積 算 指 針 に よ る	下水道用鉄筋コンクリート管B形 (JSWAS A-1)
300	300	30	360	100	460		
350	350	32	414	100	514		
400	400	35	470	100	570		
450	450	38	526	100	626		
500	500	42	584	100	684		
600	600	50	700	100	800		
700	700	58	816	100	916		
800	800	66	932	100	1032		
900	900	75	1050	100	1150		
1000	1000	82	1164	100	1264		
1100	1100	88	1276	200	1476		
1200	1200	95	1390	200	1590		
1350	1350	103	1556	200	1756		

下水道用硬質塩化ビニル管砂基礎布設図



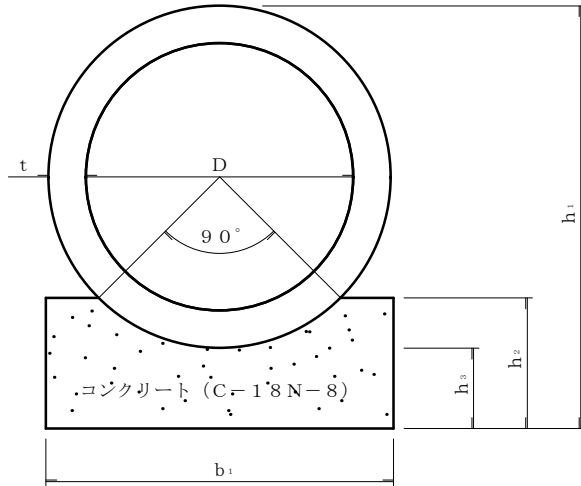
(単位：mm)

呼び径	管厚 t	外径 D	h	H	最小基礎幅 B	摘 要
150	5.1	165	100	365	積算 指針 による	下水道用砂質塩化ビニル管 (J S W A S K - 1)
200	6.5	216	100	416		
250	7.8	267	100	467		
300	9.2	318	100	518		
350	10.5	370	100	570		
400	11.8	420	100	620		
450	13.2	470	100	670		
500	14.6	520	100	720		
600	17.8	630	100	830		

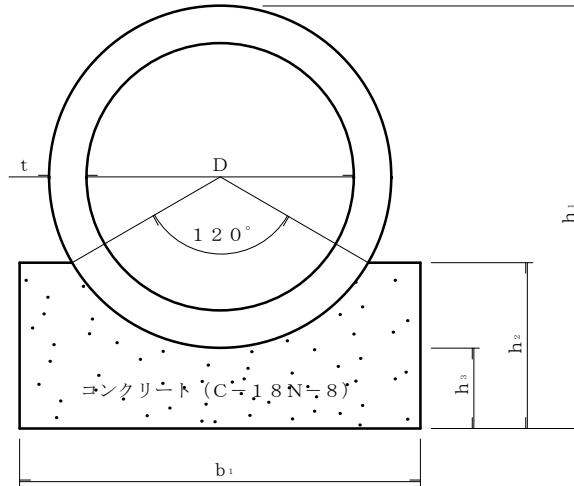
注) 管厚 (t) は最小値を示す。

推進工法用鉄筋コンクリート管空伏基礎布設図

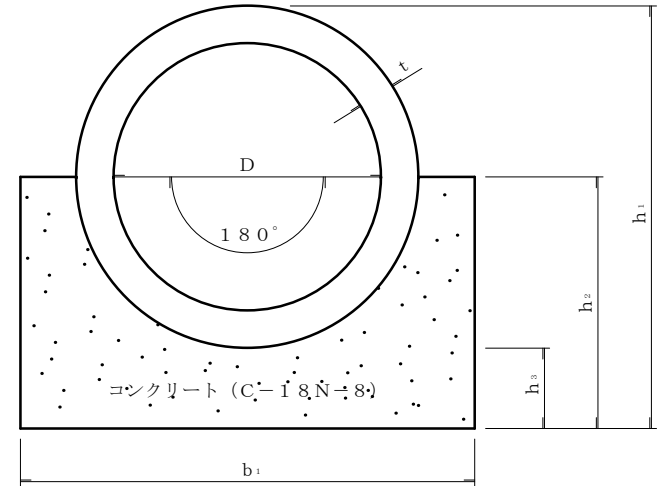
支承角 90 度



支承角 120 度



支承角 180 度



(単位: mm)

呼び径	D	t	b ₁	h ₁	h ₂	h ₃	摘要
250	250	55	450	460	153	100	下水道小口径管推進工法用 鉄筋コンクリート管 (J S W A S A-6)
300	300	57	500	514	161	100	
350	350	60	550	570	169	100	
400	400	63	600	676	227	150	
450	450	67	650	734	236	150	
500	500	70	650	790	244	150	
600	600	80	800	910	261	150	
700	700	90	900	1080	329	200	
800	800	80	1000	1160	341	200	
900	900	90	1100	1280	358	200	
1000	1000	100	1200	1400	376	200	
1100	1100	105	1350	1560	442	250	下水道推進工法用 鉄筋コンクリート管 (J S W A S A-2)
1200	1200	115	1450	1680	459	250	
1350	1350	125	1600	1850	484	250	
1500	1500	140	1800	2030	511	250	
1650	1650	150	1950	2250	586	300	
1800	1800	160	2150	2420	610	300	
2000	2000	175	2350	2650	644	300	
2200	2200	190					
2400	2400	205					
2600	2600	220					
2800	2800	235					
3000	3000	250					

- 注1. h₁, h₂, h₃は、最小寸法を示す。
 2. コンクリート基礎の下端は、立坑基礎上面までとする。

(単位: mm)

呼び径	D	t	b ₁	h ₁	h ₂	h ₃	摘要
250	250	55	550	460	190	100	下水道小口径管推進工法用 鉄筋コンクリート管 (J S W A S A-6)
300	300	57	550	514	204	100	
350	350	60	600	570	218	100	
400	400	63	650	676	282	150	
450	450	67	700	734	296	150	
500	500	70	750	790	310	150	
600	600	80	850	910	340	150	
700	700	90	1000	1080	420	200	
800	800	80	1100	1160	440	200	
900	900	90	1200	1280	470	200	
1000	1000	100	1350	1400	500	200	
1100	1100	105	1450	1560	578	250	下水道推進工法用 鉄筋コンクリート管 (J S W A S A-2)
1200	1200	115	1600	1680	608	250	
1350	1350	125	1750	1850	650	250	
1500	1500	140	1950	2030	695	250	
1650	1650	150	2150	2250	788	300	
1800	1800	160	2300	2420	830	300	
2000	2000	175	2550	2650	888	300	
2200	2200	190					
2400	2400	205					
2600	2600	220					
2800	2800	235					
3000	3000	250					

- 注1. h₁, h₂, h₃は、最小寸法を示す。
 2. コンクリート基礎の下端は、立坑基礎上面までとする。

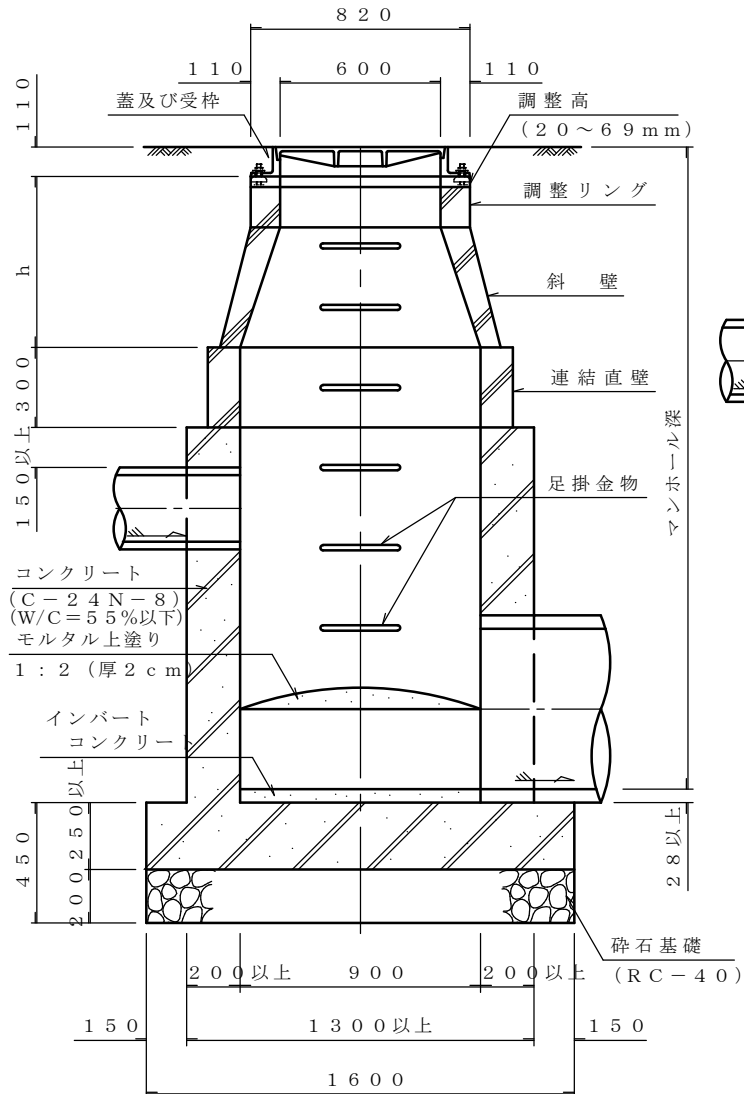
(単位: mm)

呼び径	D	t	b ₁	h ₁	h ₂	h ₃	摘要
250	250	55	600	460	280	100	下水道小口径管推進工法用 鉄筋コンクリート管 (J S W A S A-6)
300	300	57	650	514	307	100	
350	350	60	700	570	335	100	
400	400	63	750	676	413	150	
450	450	67	800	734	442	150	
500	500	70	850	790	470	150	
600	600	80	1000	910	530	150	
700	700	90	1100	1080	640	200	
800	800	80	1200	1160	680	200	
900	900	90	1350	1280	740	200	
1000	1000	100	1450	1400	800	200	
1100	1100	105	1600	1560	905	250	下水道推進工法用 鉄筋コンクリート管 (J S W A S A-2)
1200	1200	115	1750	1680	965	250	
1350	1350	125	1900	1850	1050	250	
1500	1500	140	2100	2030	1140	250	
1650	1650	150	2350	2250	1275	300	
1800	1800	160	2500	2420	1360	300	
2000	2000	175	2800	2650	1475	300	
2200	2200	190					
2400	2400	205					
2600	2600	220					
2800	2800	235					
3000	3000	250					

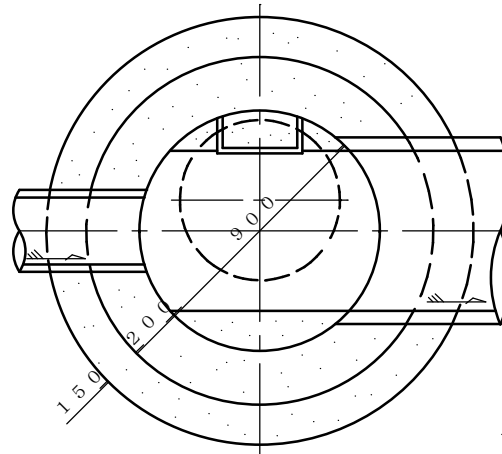
- 注1. h₁, h₂, h₃は、最小寸法を示す。
 2. コンクリート基礎の下端は、立坑基礎上面までとする。

1号マンホール標準構造図

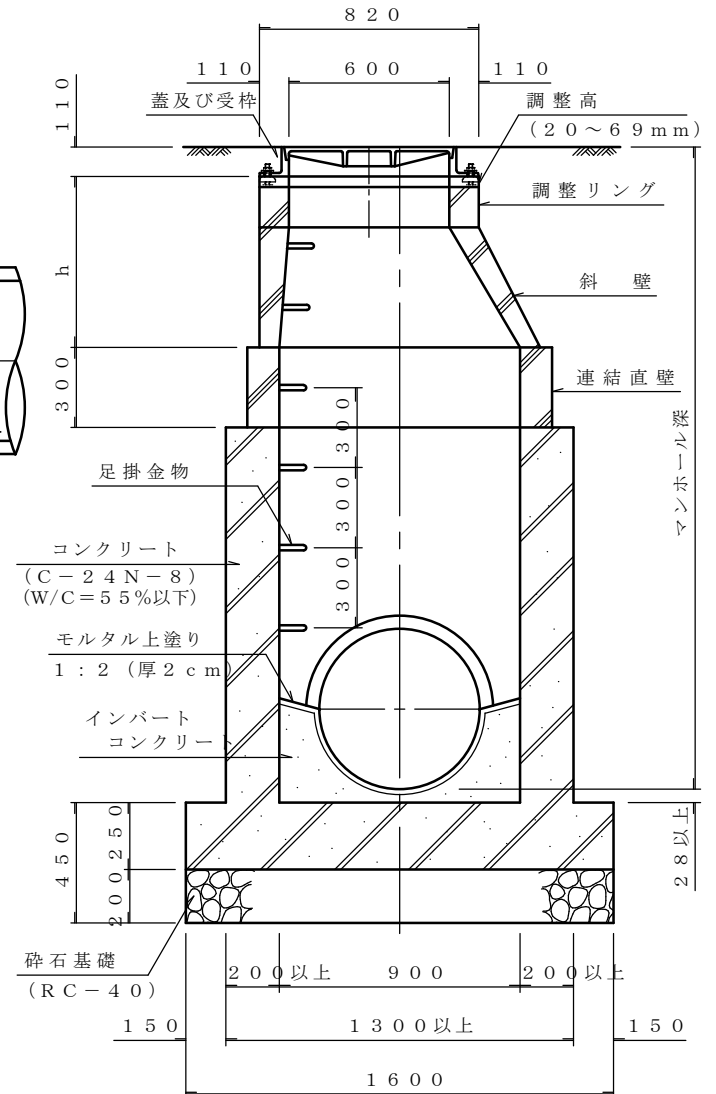
縦断面図



平断面図



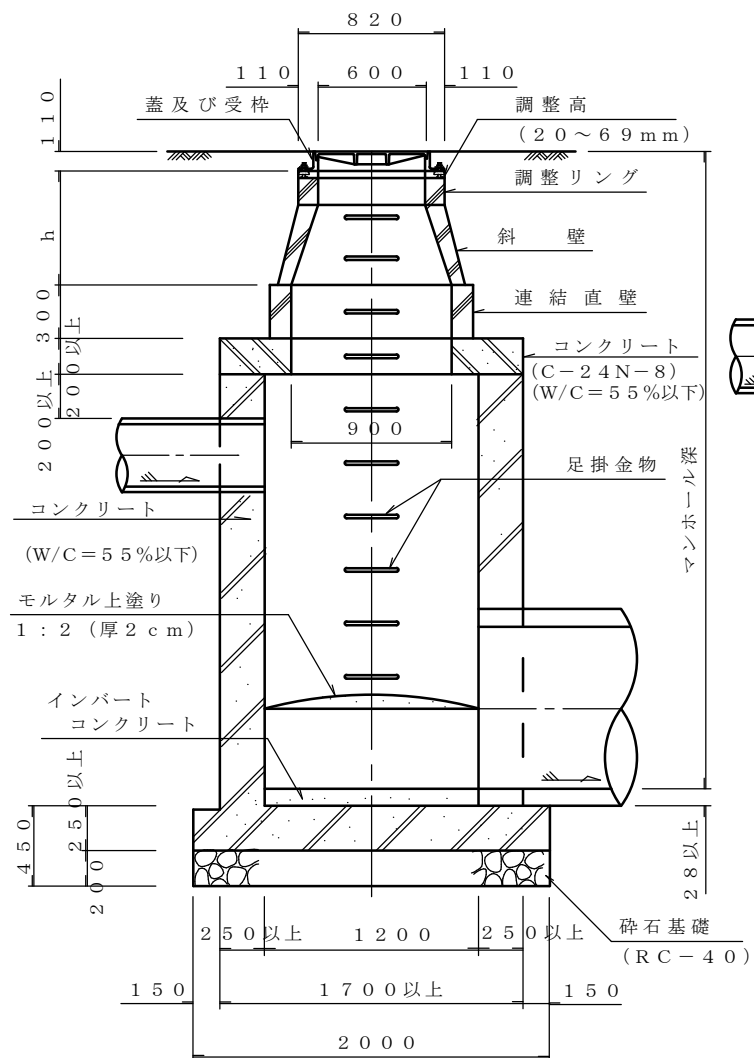
横断面図



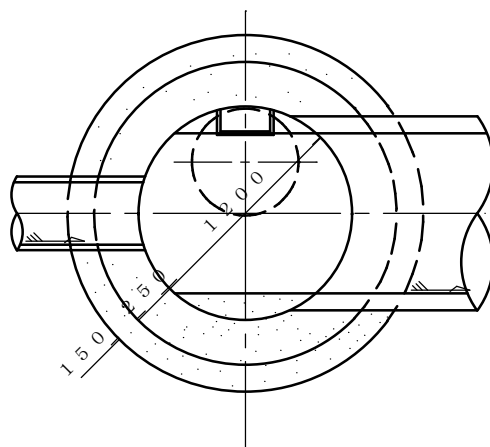
注) 側壁、底版の配筋は、構造計算により決定する。

2号マンホール標準構造図

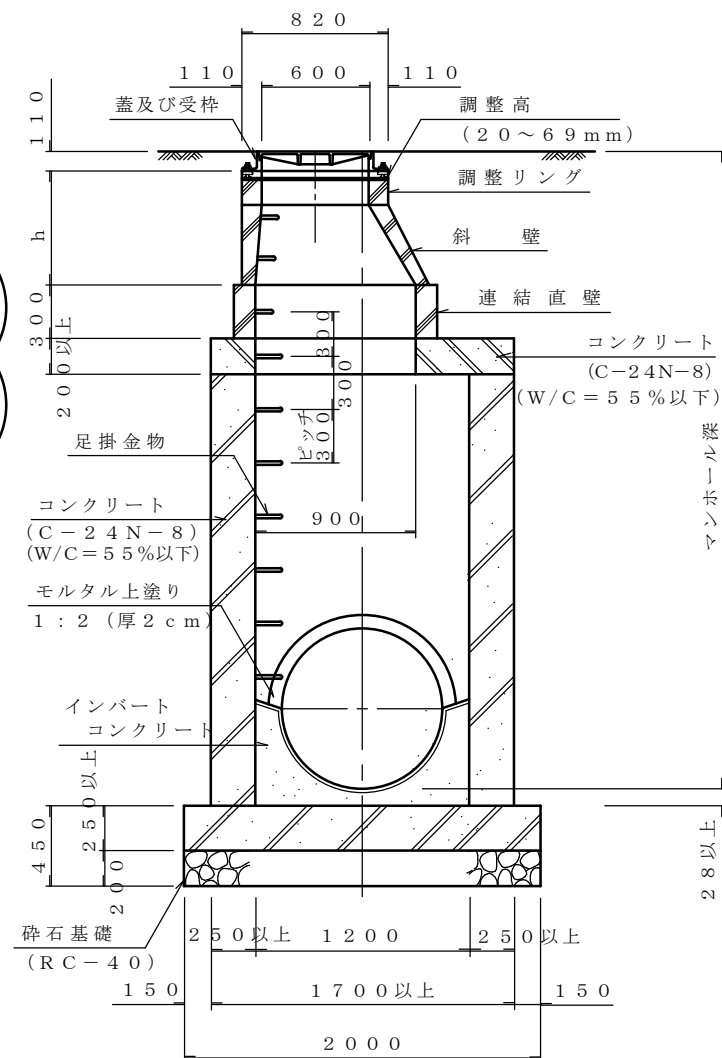
縦断面図



平断面図



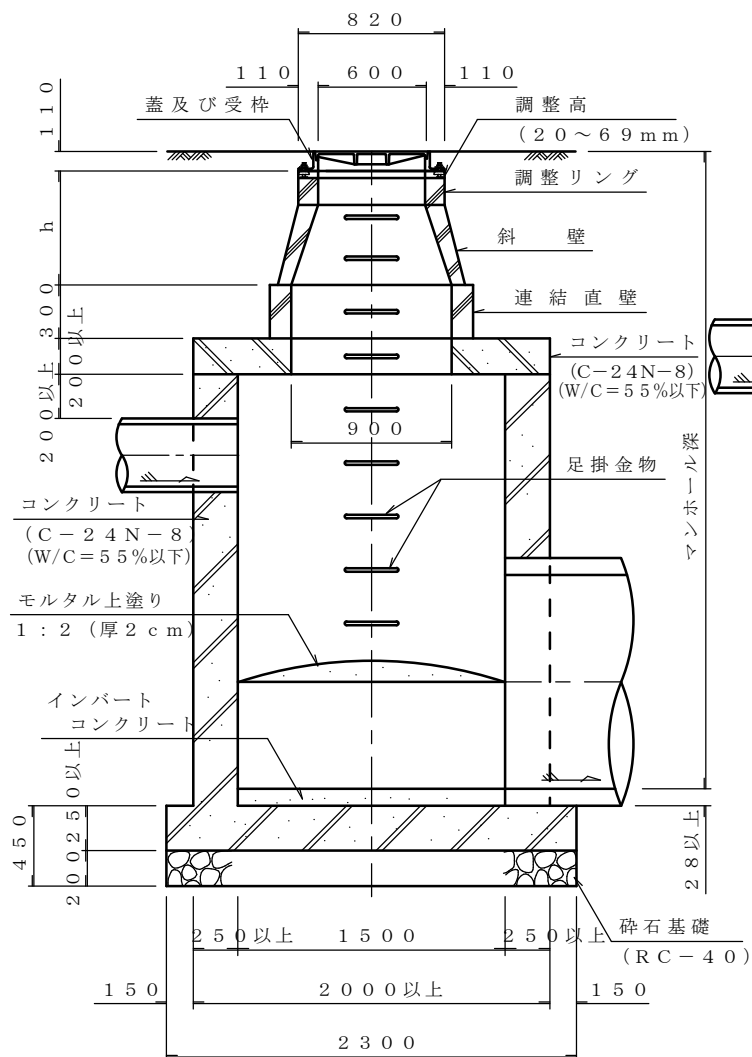
横断面図



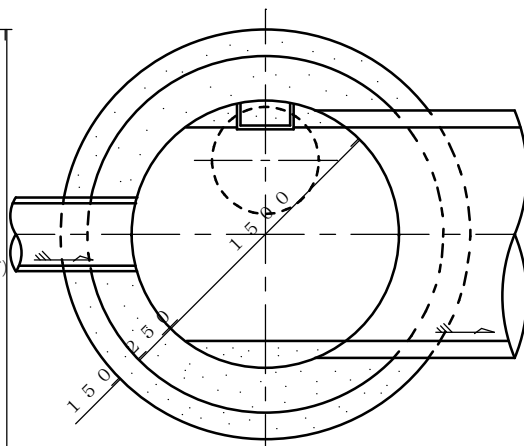
注) 頂版、側壁、底版の配筋は、構造計算により決定する。

3号マンホール標準構造図

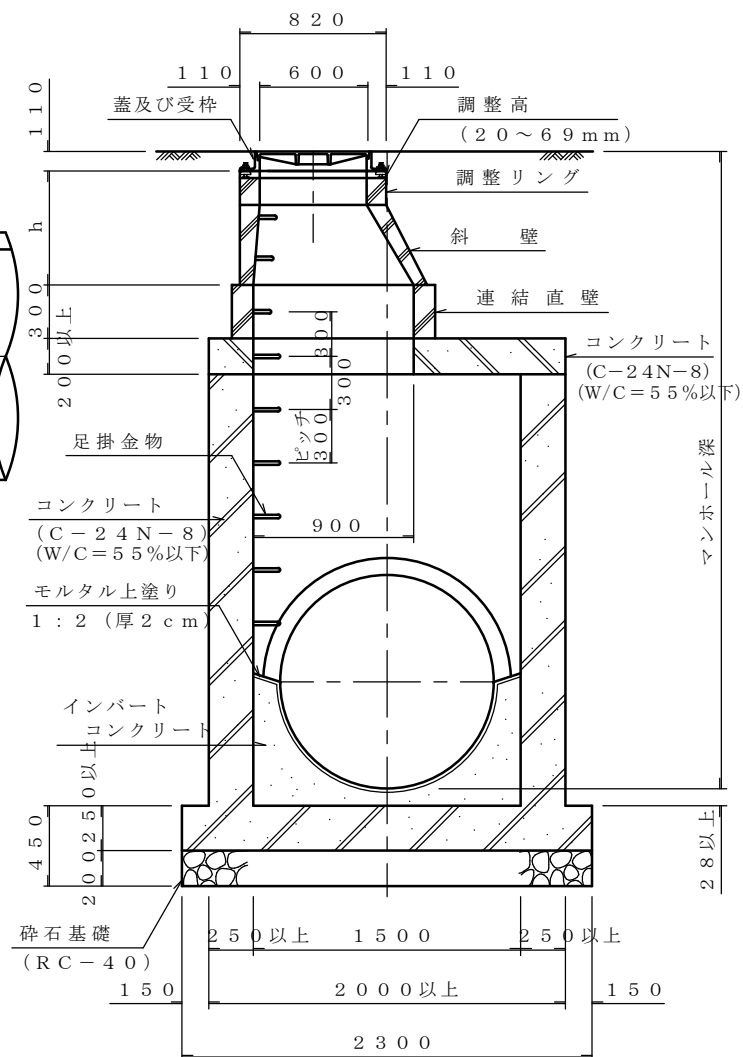
縦断面図



平断面図



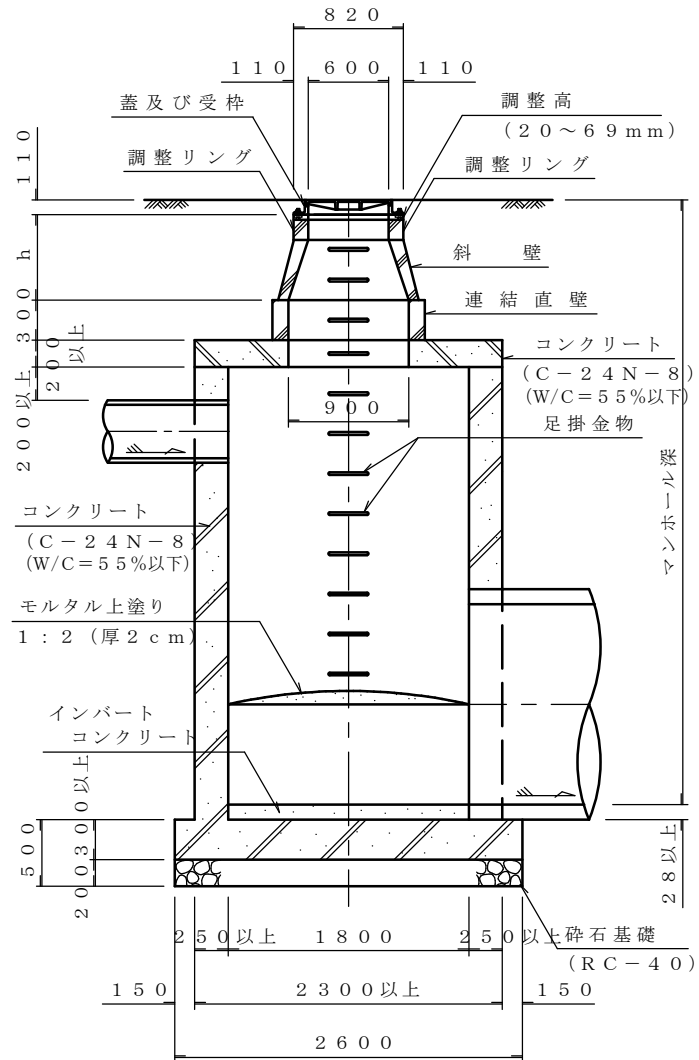
横断面図



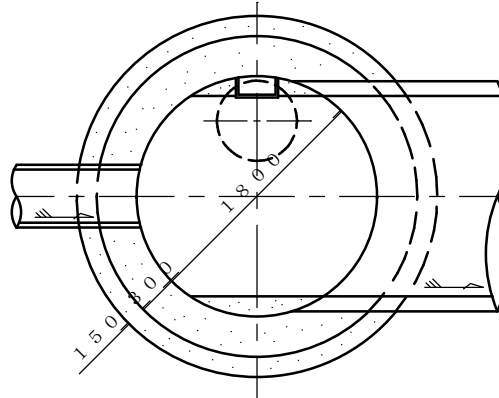
注) 頂版, 側壁, 底版の配筋は、構造計算により決定する。

4号マンホール標準構造図

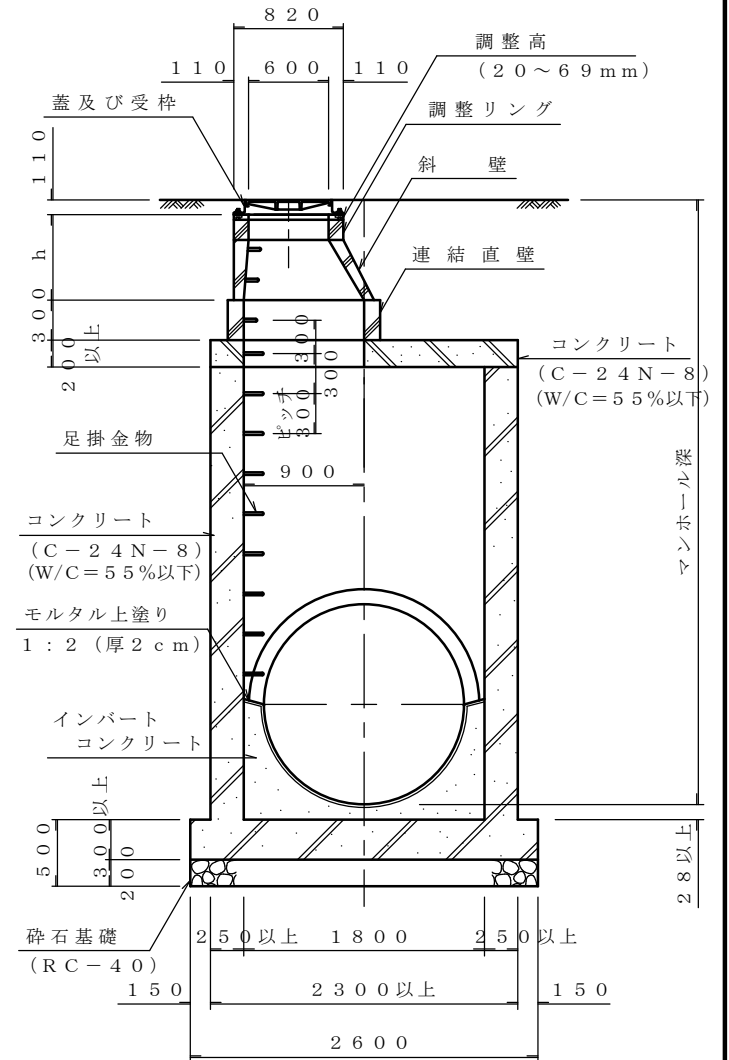
縦断面図



平断面図



横断面図



注) 頂版, 側壁, 底版の配筋は, 構造計算により決定する。

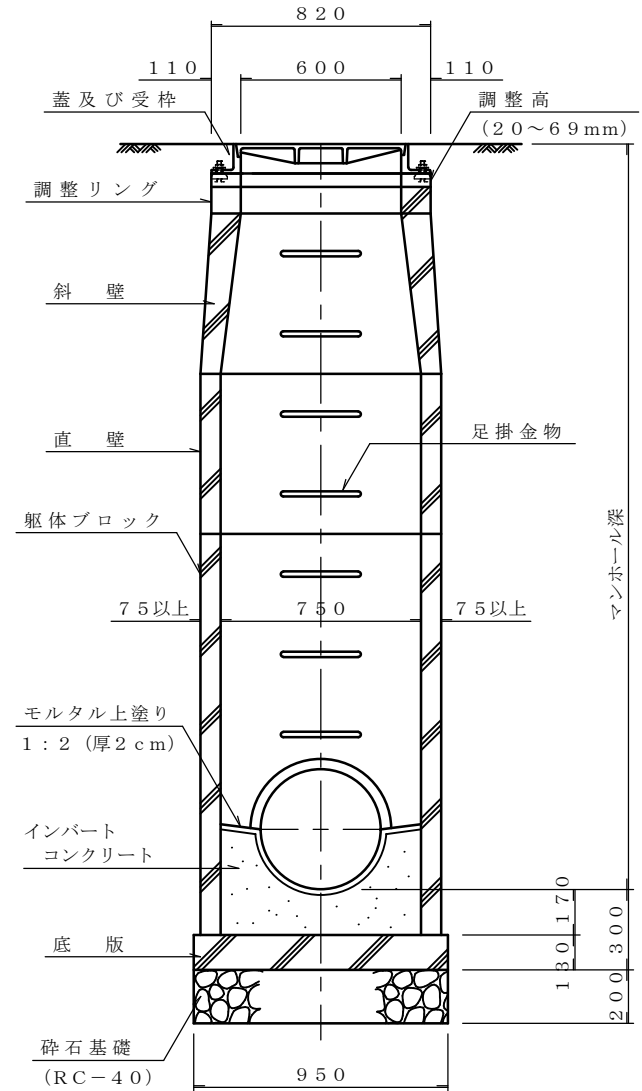
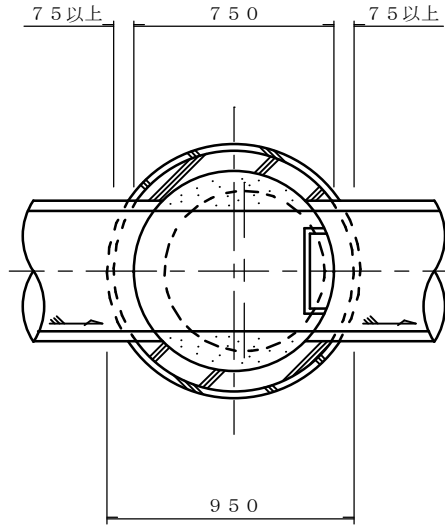
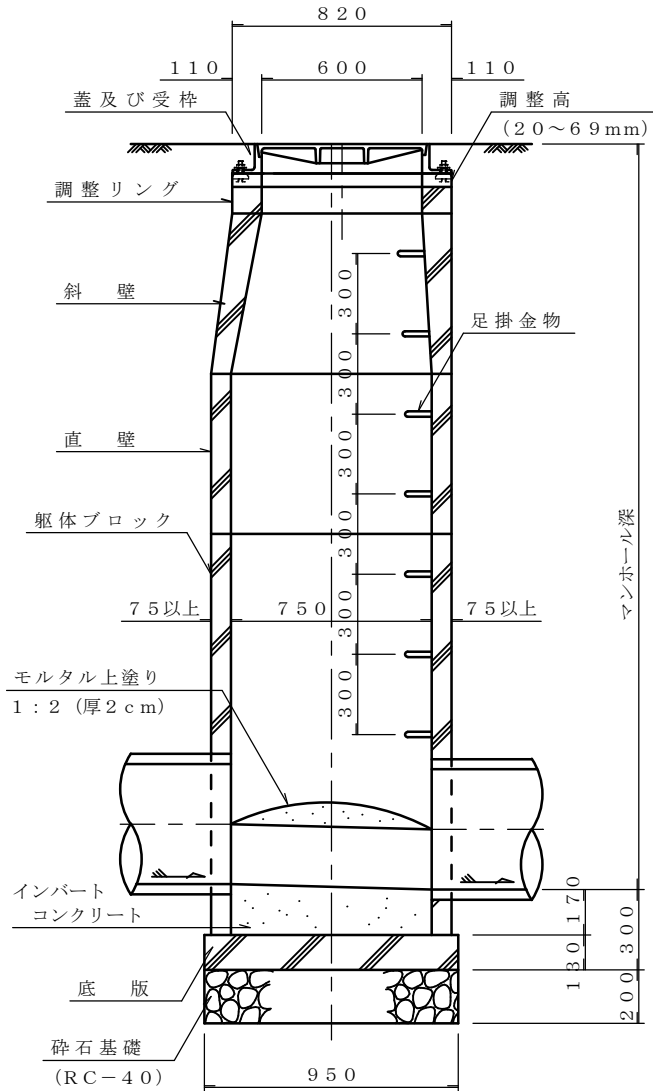
組立0号マンホール標準構造図

(J S W A S A - 11 - 2005)

縦断面図

平断面図

横断面図



接合部の水密性能(単位:MPa)

種別	水圧
I種	0.05
II種	

側方曲げ強さ (単位:kN/m)

種別	ひび割れ荷重	破壊荷重
I種	5.7	8.6
II種		

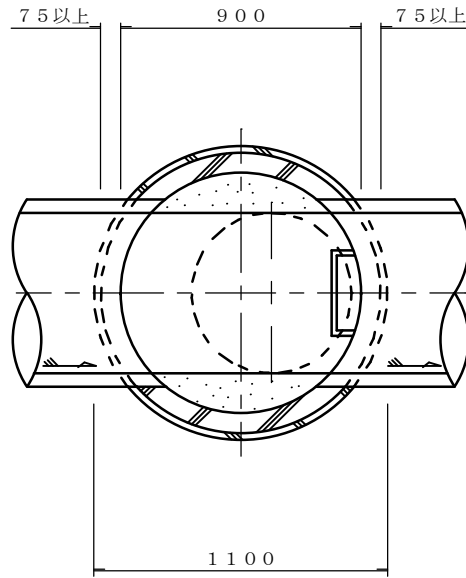
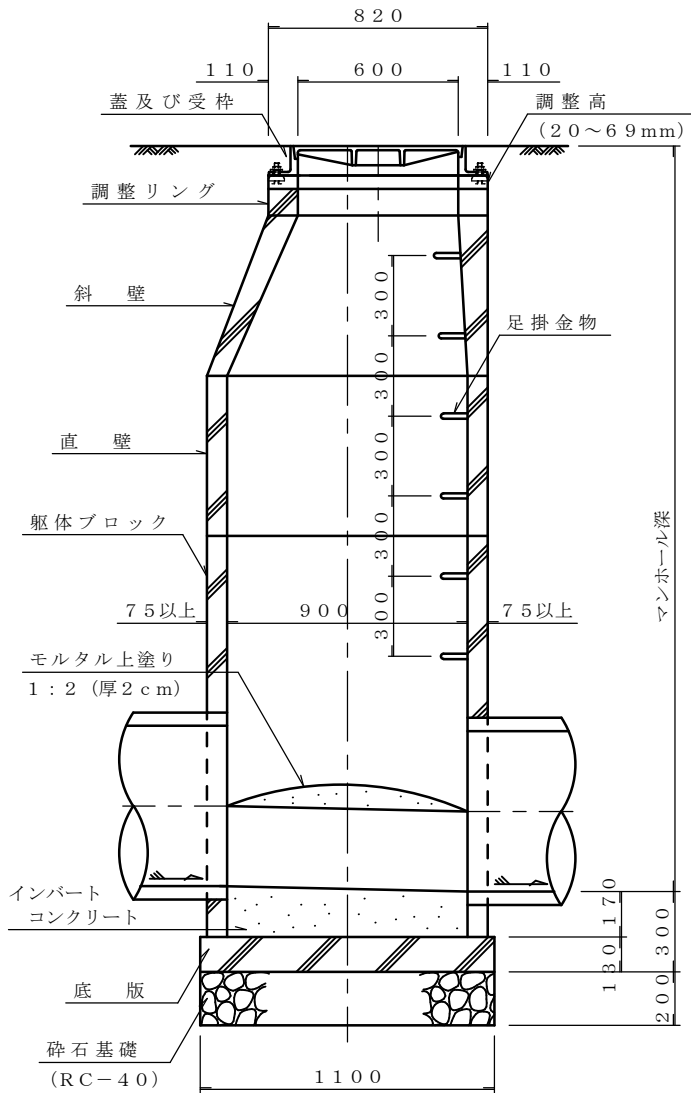
組立1号マンホール標準構造図

(J S W A S A - 11 - 2005)

縦断面図

平断面図

横断面図

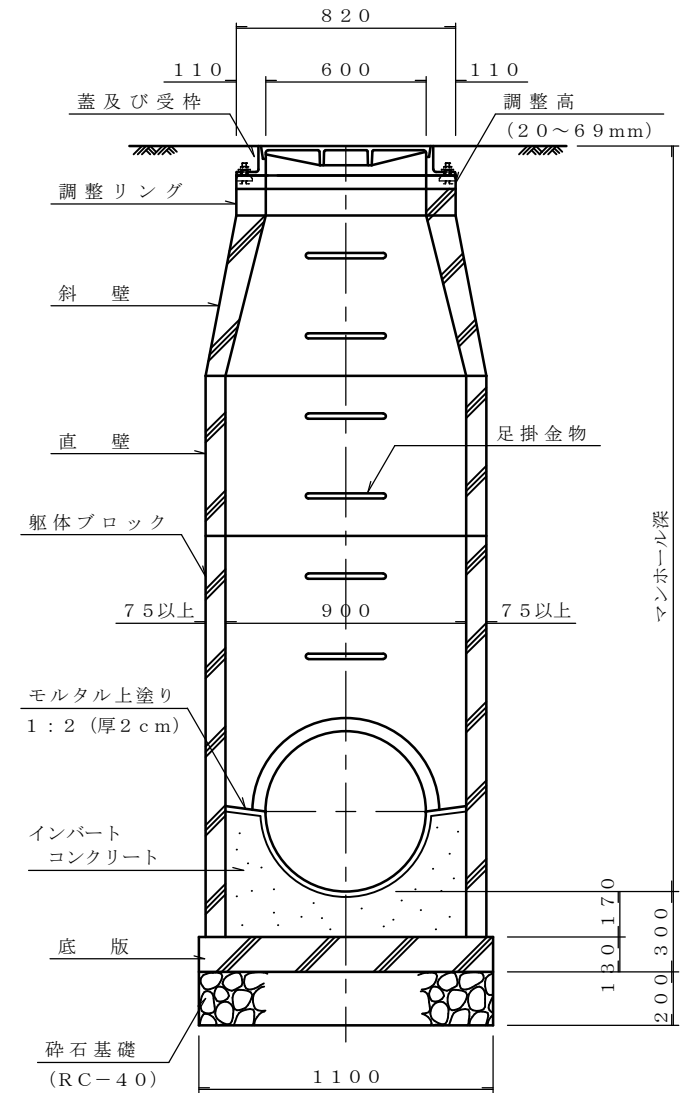


接合部の水密性能(単位:MPa)

種別	水圧
I種	0.05
II種	0.10

側方曲げ強さ (単位:kN/m)

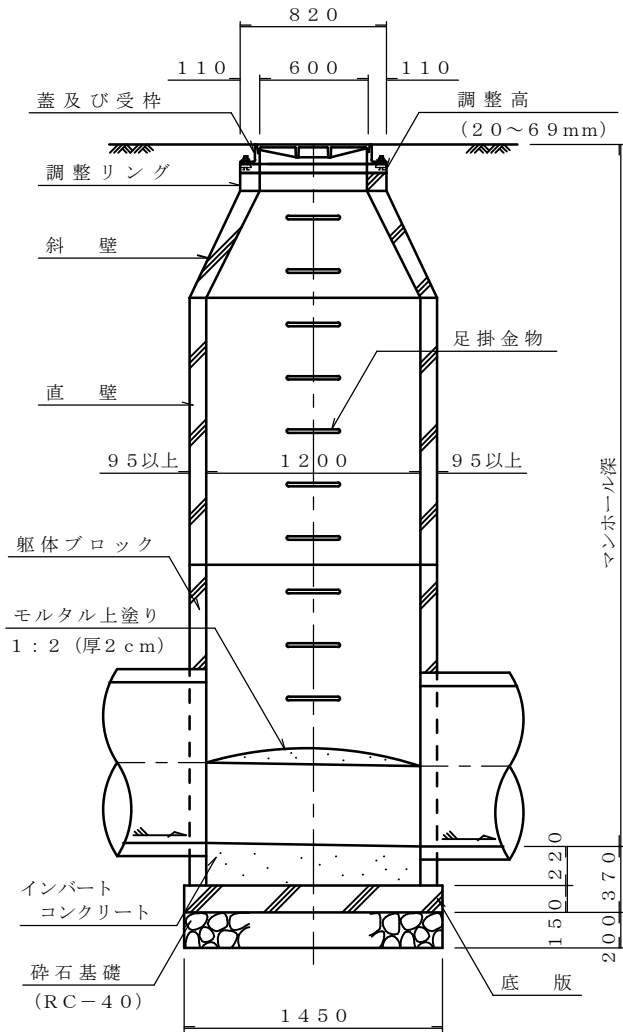
種別	ひび割れ荷重	破壊荷重
I種	6.9	10.4
II種	13.7	20.6



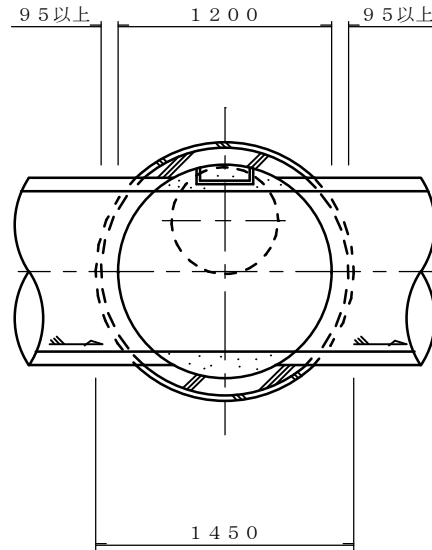
組立2号マンホール標準構造図(1)

(標準タイプ) (J S W A S A-11-2005)

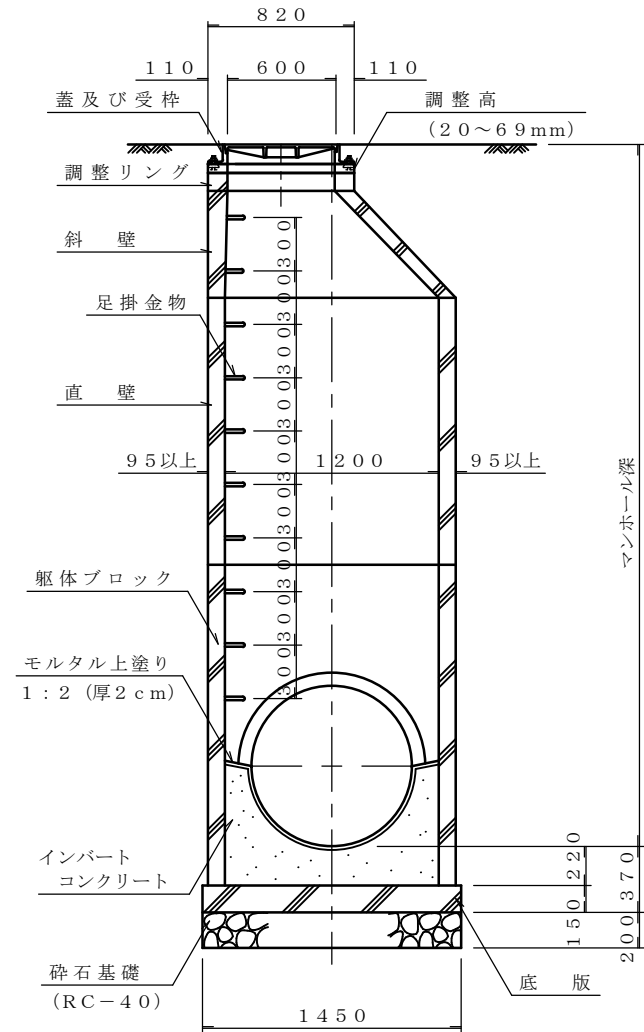
縦断面図



平断面図



横断面図



接合部の水密性能(単位:MPa)

種別	水圧
I種	0.05
II種	0.10

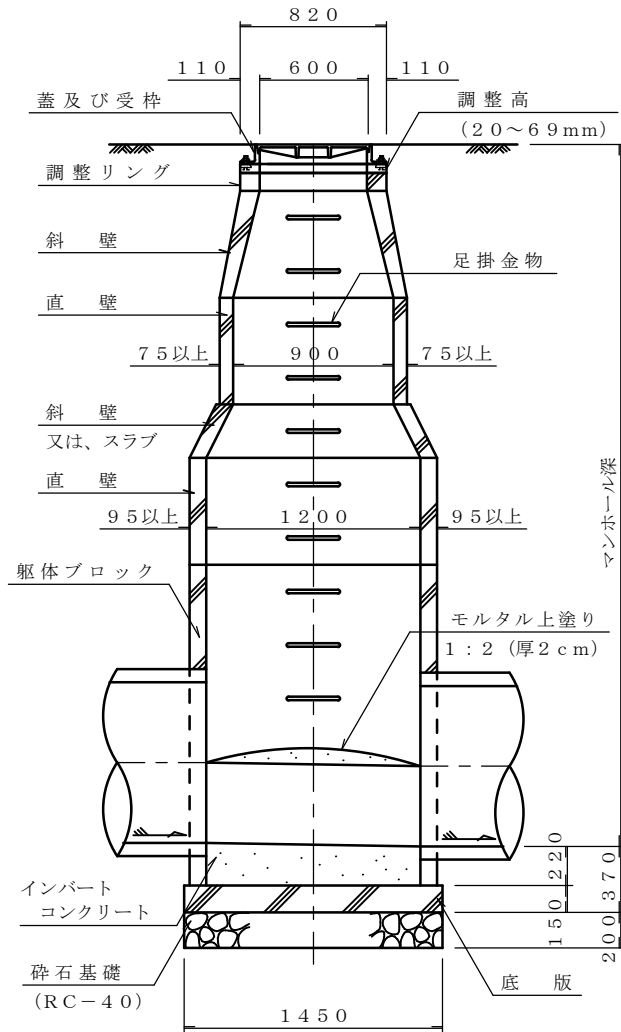
側方曲げ強さ(単位:kN/m)

種別	ひび割れ荷重	破壊荷重
I種	9.2	13.8
II種	18.3	27.5

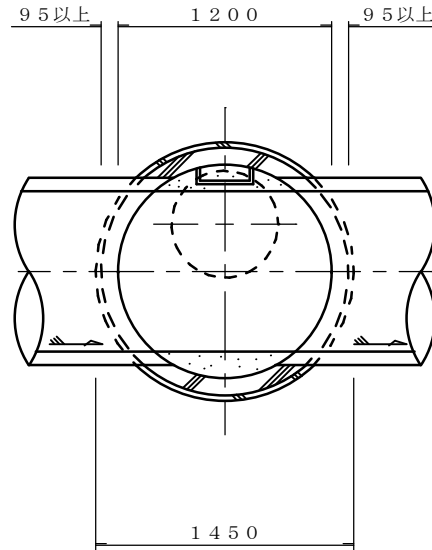
組立 2 号マンホール標準構造図 (2)

(1号組合わせタイプ) (J S W A S A-11-2005)

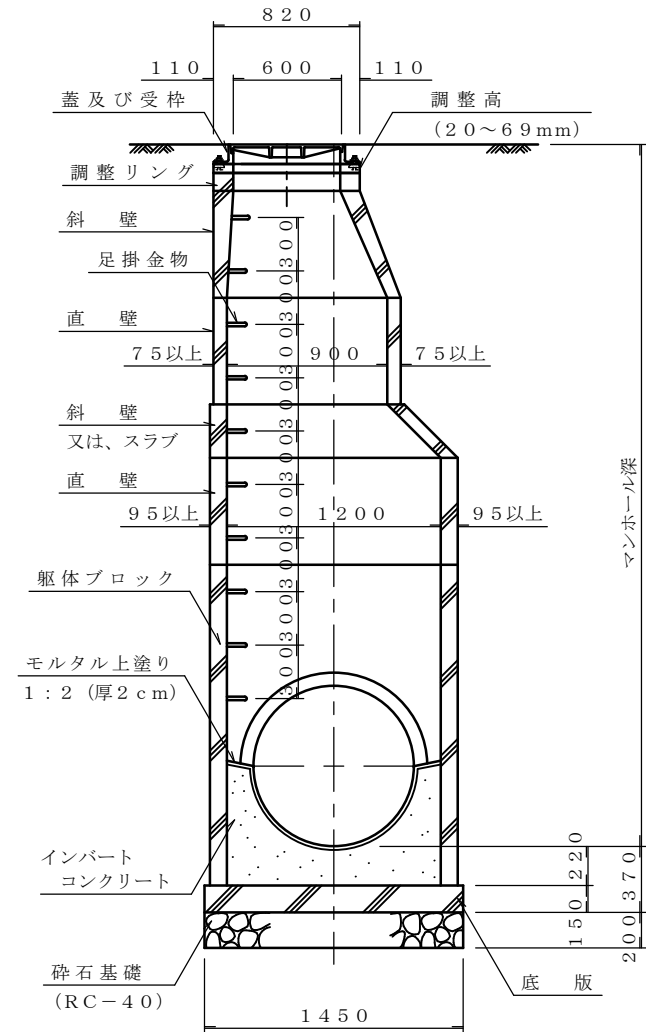
縦断面図



平断面図



横断面図



接合部の水密性能(単位: MPa)

種別	水圧
I種	0.05
II種	0.10

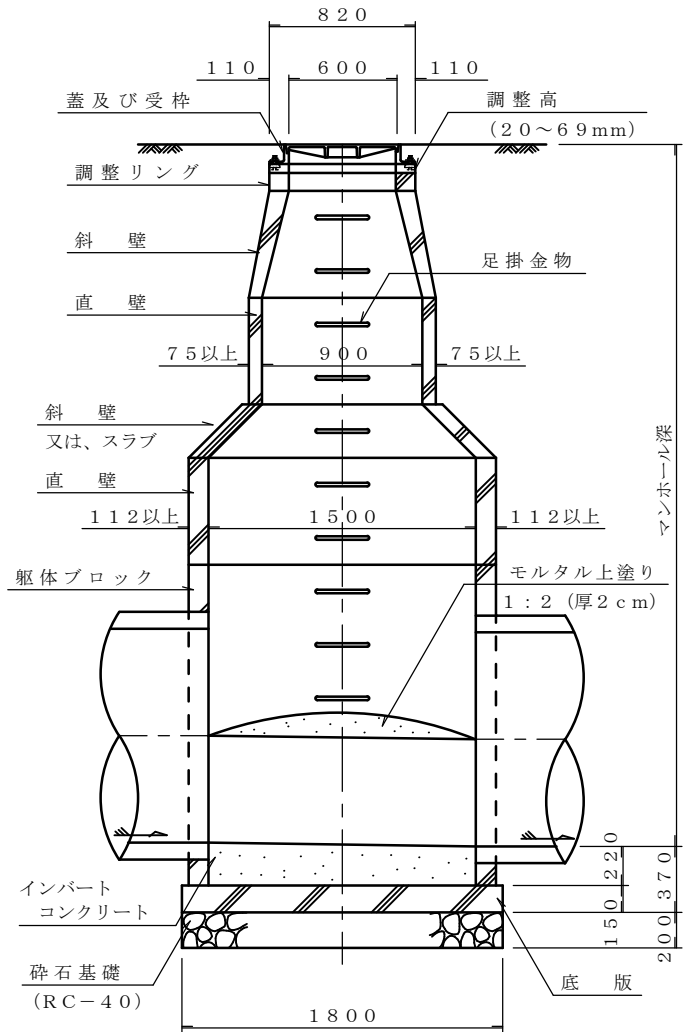
側方曲げ強さ (単位: kN/m)

種別	ひび割れ荷重	破壊荷重
I種	9.2	13.8
II種	18.3	27.5

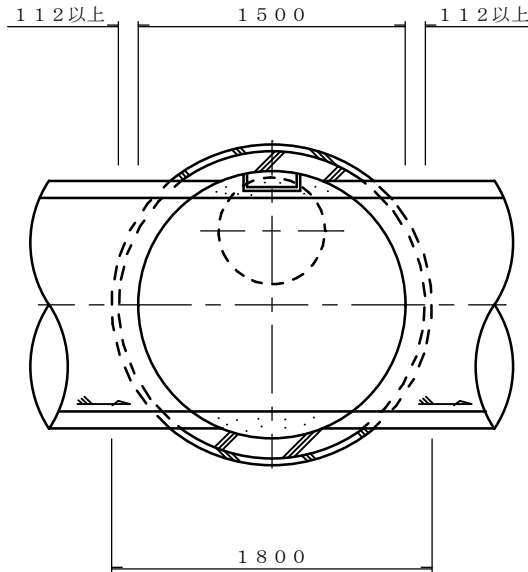
組立 3 号マンホール標準構造図

(J S W A S A - 11 - 2005)

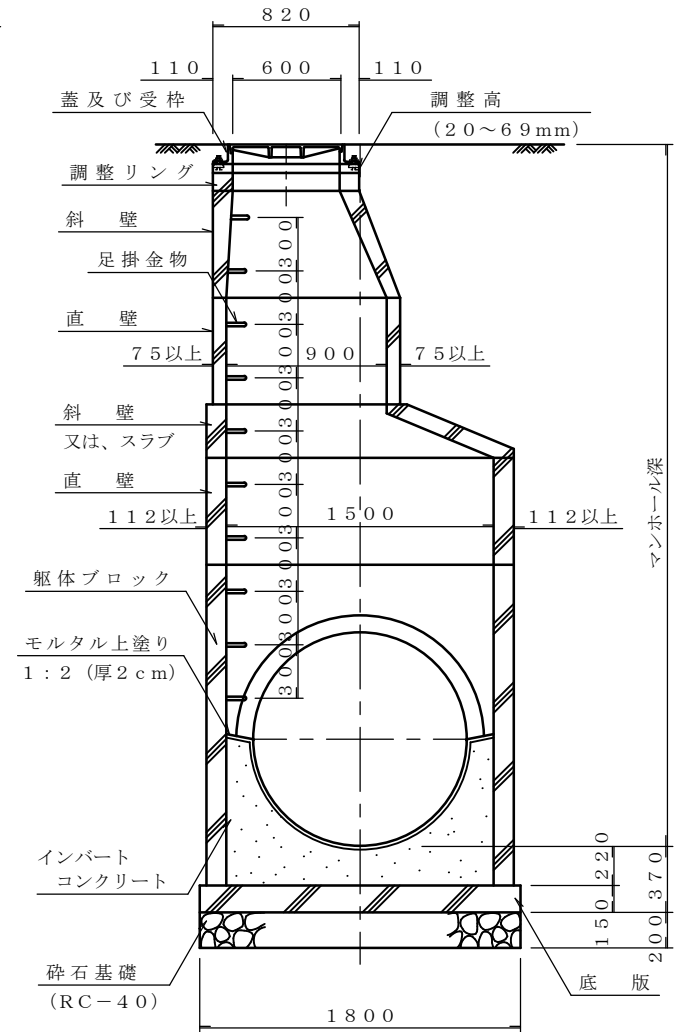
縦断面図



平断面図



横断面図



接合部の水密性能(単位:MPa)

種別	水圧
I種	0.05
II種	0.10

側方曲げ強さ (単位:kN/m)

種別	ひび割れ荷重	破壊荷重
I種	11.3	17.0
II種	22.6	33.9

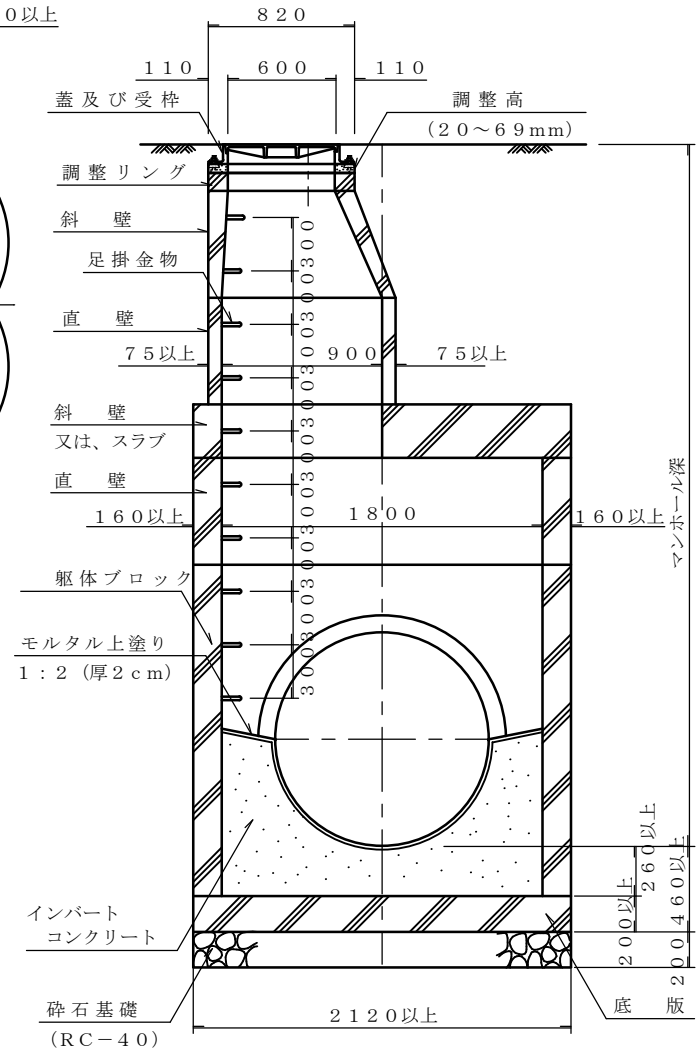
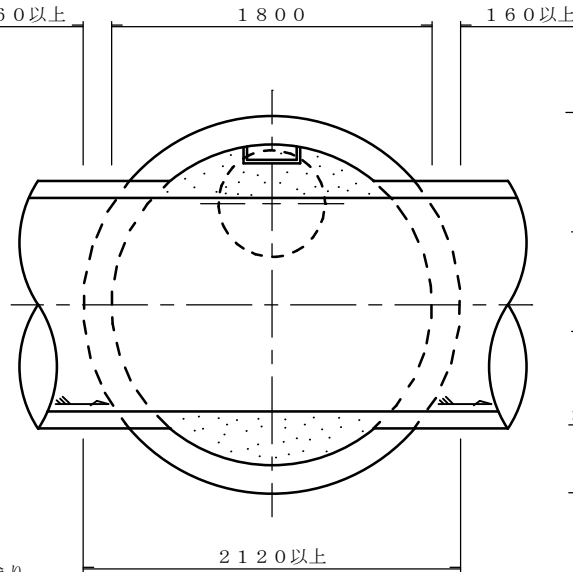
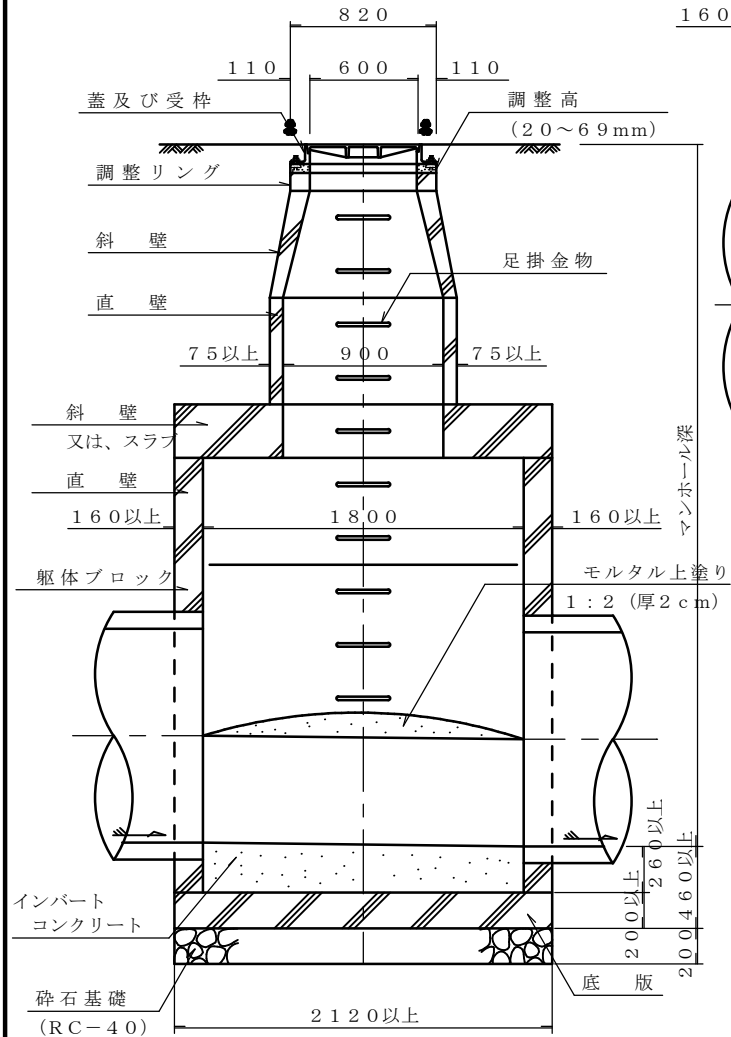
組立4号マンホール標準構造図

(J S W A S A - 11 - 2005)

縦断面図

平断面図

横断面図



接合部の水密性能(単位:MPa)

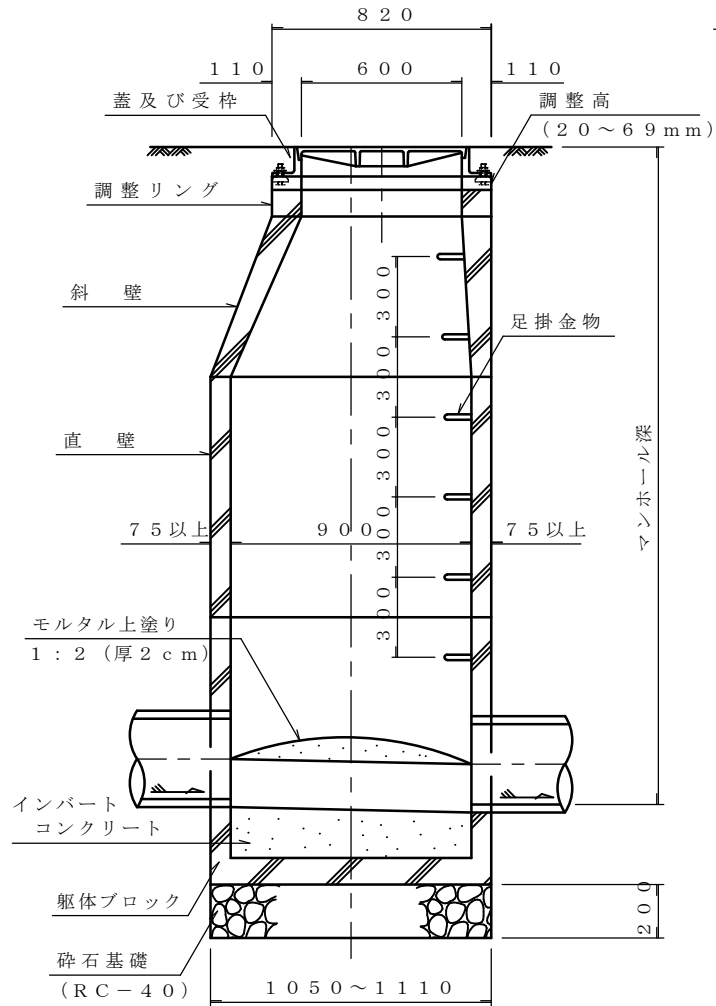
種別	水圧
I種	0.05
II種	0.10

側方曲げ強さ (単位:kN/m)

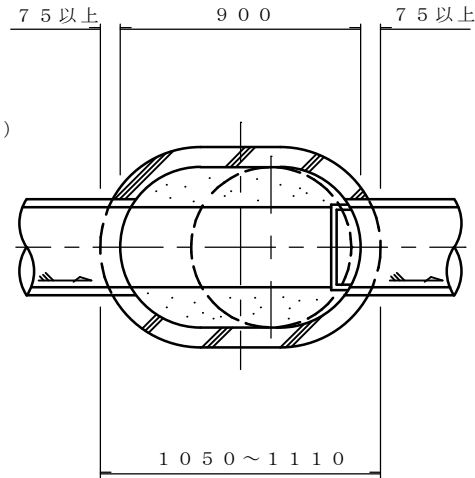
種別	ひび割れ荷重	破壊荷重
I種	13.5	20.3
II種	27.1	40.7

組立特1号マンホール標準構造図

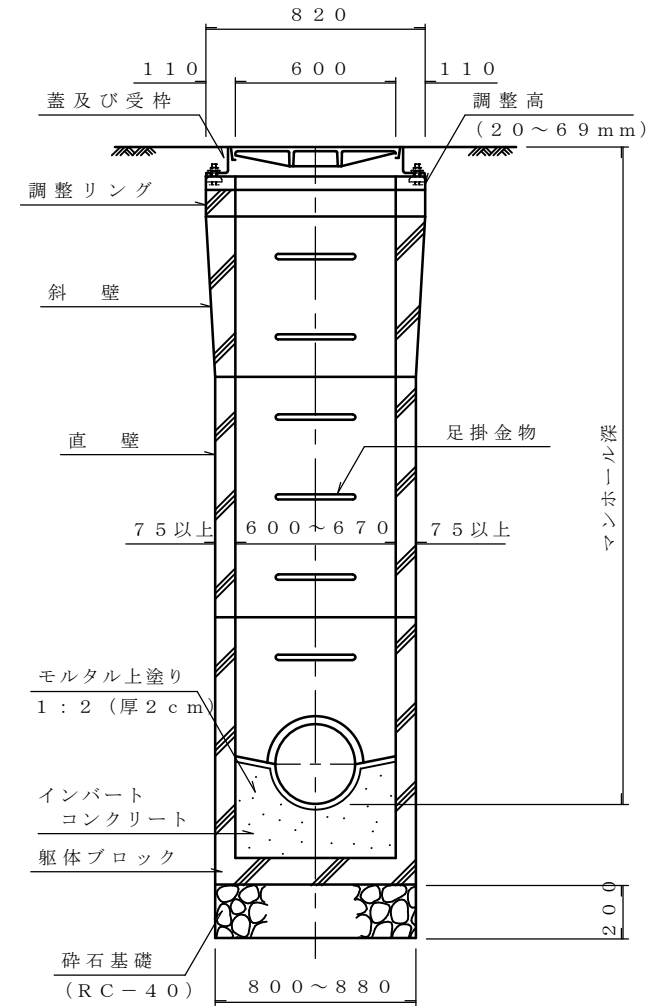
縦断面図



平断面図



横断面図



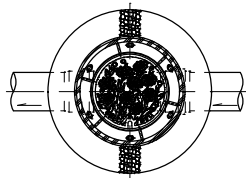
注. 日本下水道協会Ⅱ類認定品とし、水密性能及び強度等については各製品の仕様による。

塩ビ製小型マンホール標準構造図(1)

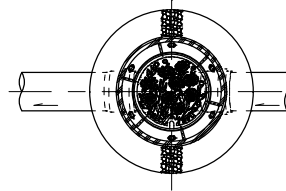
(J S W A S K - 9 - 2008)

標準設置図

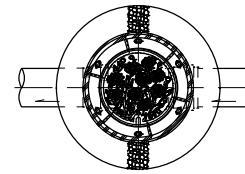
ストレート (15~90° 曲り)



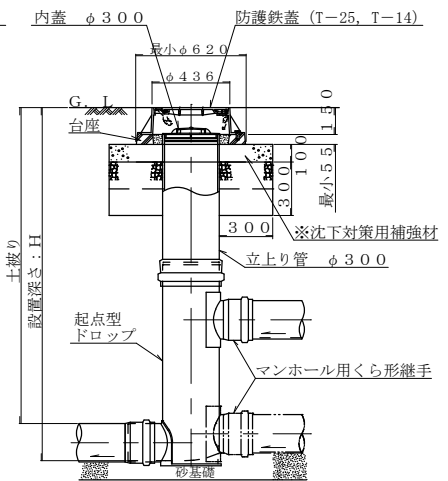
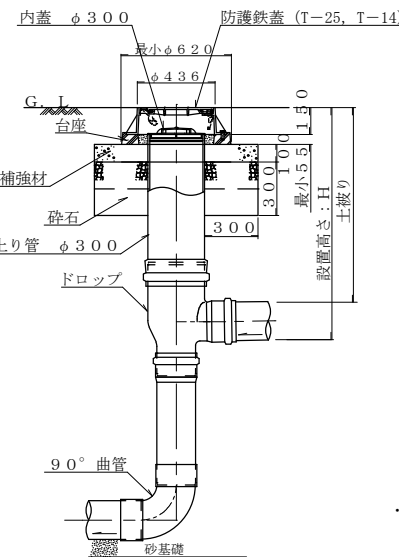
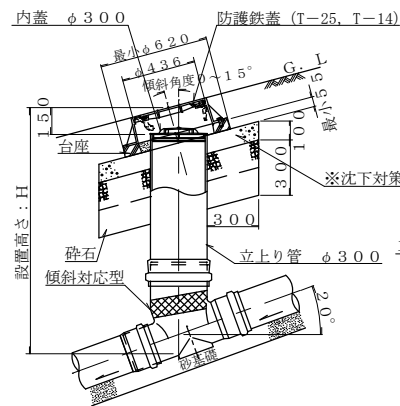
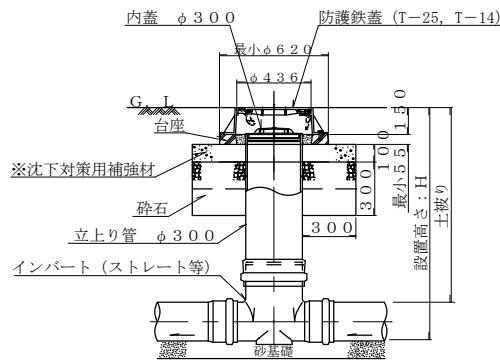
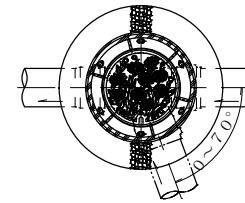
傾斜対応型 (参考)



ドロップ



起点型ドロップ



※車道等で沈下が予想される場合、補強対策を行うこと。
材料：アスファルト、無収縮モルタル、コンクリート

- 注1. 上記を標準とするが、交通量により構造を考慮すること。
- 2. 砂基礎の厚み等は、塩ビ本管と同等以上の寸法とする。

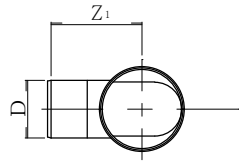
・落差50から295の間は、70°以内に支管取付可。

塩ビ製小型マンホール標準構造図(2)

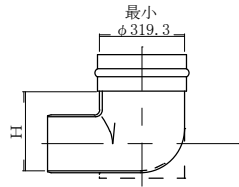
(J S W A S K - 9 - 2008)

部材詳細図

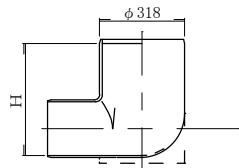
起点(略号KT)



(ゴム輪受口形)



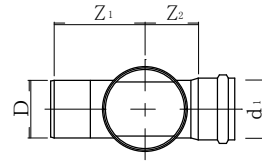
(差し口形)



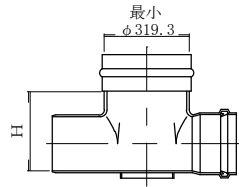
(単位: mm)

管径	D	d ₁ (最小)
150	165	165.7
200	216	216.9
250	267	268.1

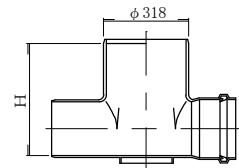
ストレート(略号ST)



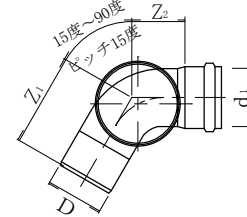
(ゴム輪受口形)



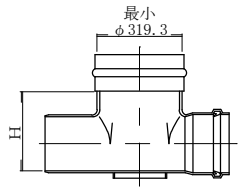
(差し口形)



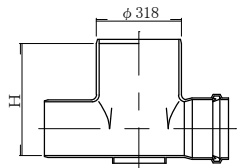
15~90度曲がり
(略号15~90L右、15~90L左)



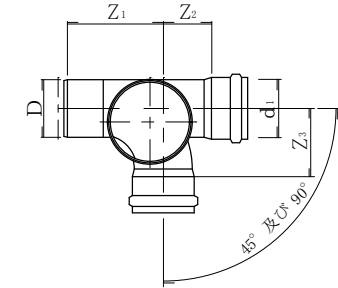
(ゴム輪受口形)



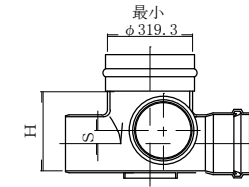
(差し口形)



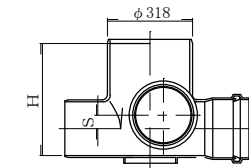
90度合流、45度合流
(略号90,45Y右、90,45Y左)



(ゴム輪受口形)



(差し口形)



(単位: mm)

呼び径 管径 - マンホール径	種別			起点					ストレート				曲がり			合流 (上段: 90° 下段: 45°)				
	Z (最小)	H(最小) 受口形 差し口形		Z ₁ (最小)	Z ₂ (最小)	H(最小) 受口形 差し口形		Z ₁ (最小)	Z ₂ (最小)	H(最小) 受口形 差し口形		Z ₁ (最小)	Z ₂ (最小)	Z ₃ (最小)	S (最小) (最大)		H(最小) 受口形 差し口形			
150 - 300	280	230	360	290	190	230	360	290	190	230	360	320 200	140 270	210 270	15	55	230	360		
200 - 300	290	255	410		200	255	410		200	255	410	320 200	140 290	220 290			255	410		
250 - 300	350	310	460		360	210	310		460	360	210	310	460							

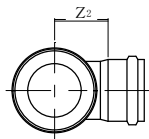
塩ビ製小型マンホール標準構造図(3)

(J S W A S K - 9 - 2008)

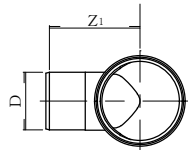
部材詳細図

インバート

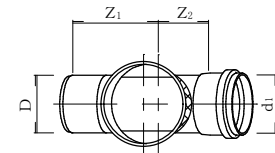
(ドロップ 略号DR)



(起点型ドロップ 略号KDR)



(傾斜地用ストレート)
参考



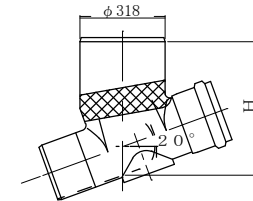
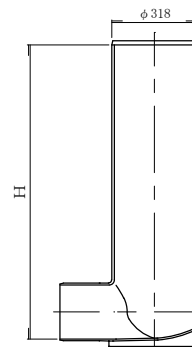
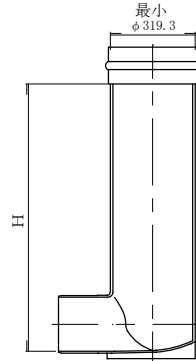
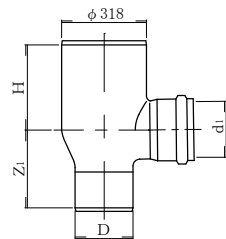
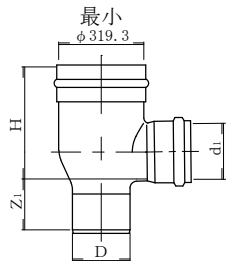
(ゴム輪受口形)

(差し口形)

(ゴム輪受口形)

(差し口形)

(差し口形)



※平面図の寸法は管φ200の中心線上の寸法とする

(単位: mm)

管径	D	d ₁ (最小)
150	165	165.7
200	216	216.9
250	267	268.1

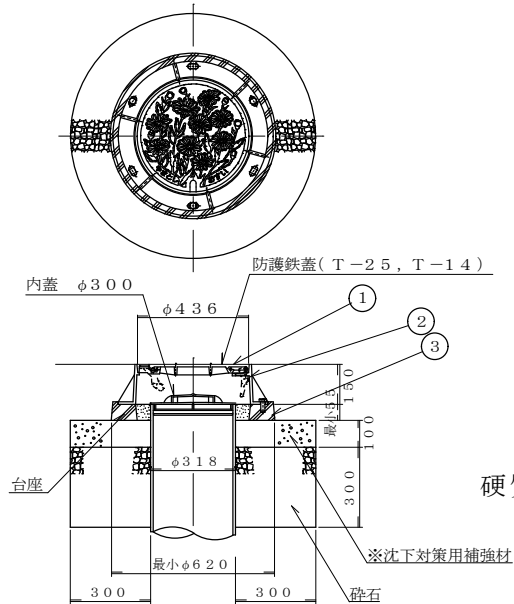
(単位: mm)

呼び径	種別	ドロップ				起点型ドロップ			傾斜地用ストレート		
		Z ₁ (最小)	Z ₂ (最小)	H(最小)		Z ₁ (最小)	H(最小)		Z ₁	Z ₂	H(最小)
管径 - マンホール径				受口形	差し口形	(最小)	受口形	差し口形	(参考)	(参考)	差し口形
150 - 300		150	180	230	360	280	1000	1100	310	200	450
200 - 300		170	180	255	410	290	1000	1100	340	200	500
250 - 300		220	180	310	460	350	1200	1300			

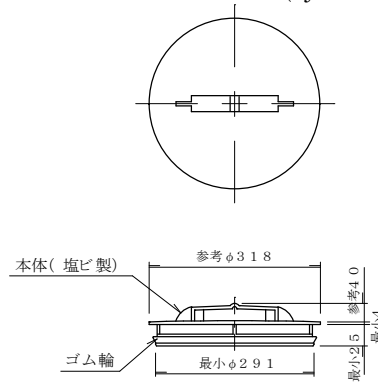
塩ビ製小型マンホール標準構造図(4)

部材詳細図

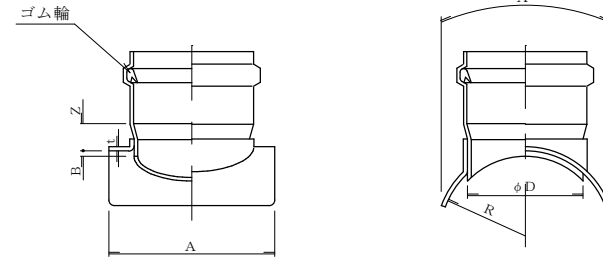
保護鉄蓋(T-25, T-14)
(J S W A S G-4)



内蓋 φ300
(J S W A S K-7)

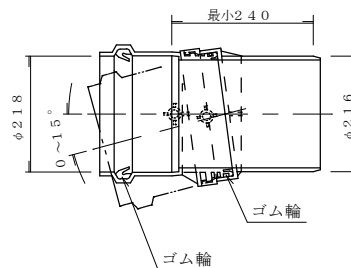


硬質塩化ビニル管小型マンホール用くら型マンホール継手
(J S W A S K-1)

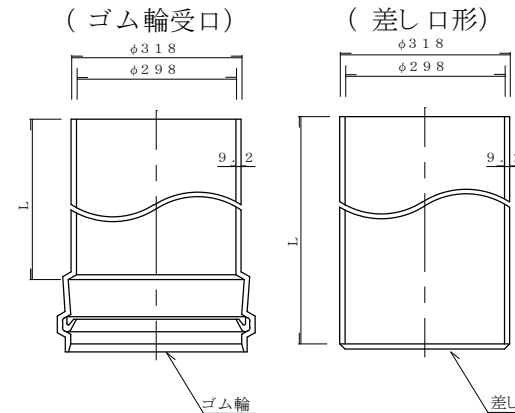


呼び径	D	R	Z(最小)	t(最小)	B(最大)	A(最小)
300×150	165	159	35	4	9.2	300
300×200	216	159	35	4	9.2	300

硬質塩化ビニル製小型マンホール用本管自在継手
(J S W A S K-1)



立上り管φ300
(J S W A S K-9)



呼び径	L
300×0.6	600
300×0.9	900
300×1.2	1200
300×1.5	1500
300×2.0	2000
300×2.5	2500
300×3.0	3000

※車道等で沈下が予想される場合、補強対策を行うこと。
材料：アスファルト、無収縮モルタル、コンクリート
注：上記を標準とするが、交通量により構造を考慮すること。

番号	部品名称	材質	数量	備考
1	蓋	F C D 700	1	
2	受 枠	F C D 600	1	
3	台 座	再生プラスチック レジソコシクリート	1	T-25、T-14用

下水道用鋳鉄製防護ふた構造図

(T-25, T-14 φ300mm用)

絵柄の凸高さは、T-25 = 6mm、T-14 = 4mmとする。

雨水



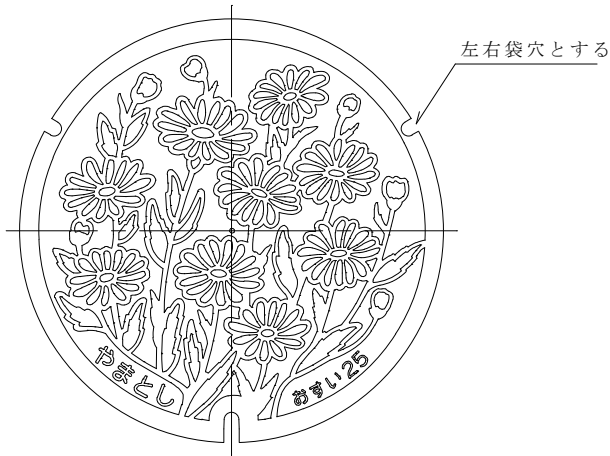
汚水



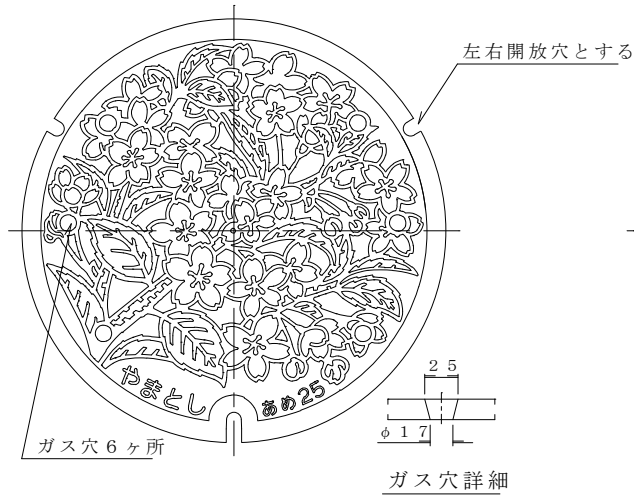
下水道铸铁製マンホール蓋構造図

(カバー (蓋) 詳細図) 絵柄の凸高さは、T-25=6mm、T-14=4mmとする。

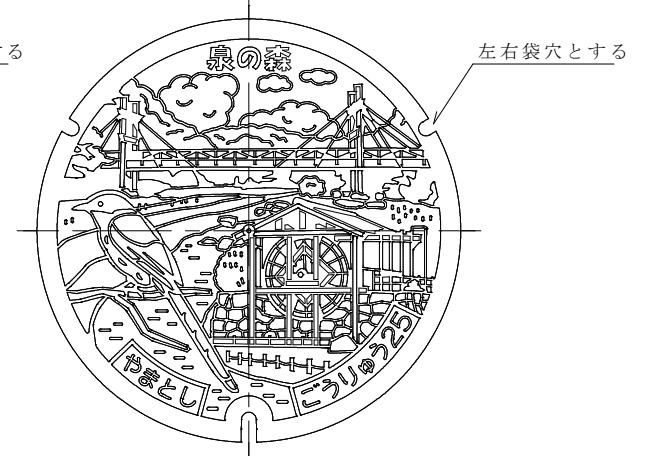
T-25 汚水



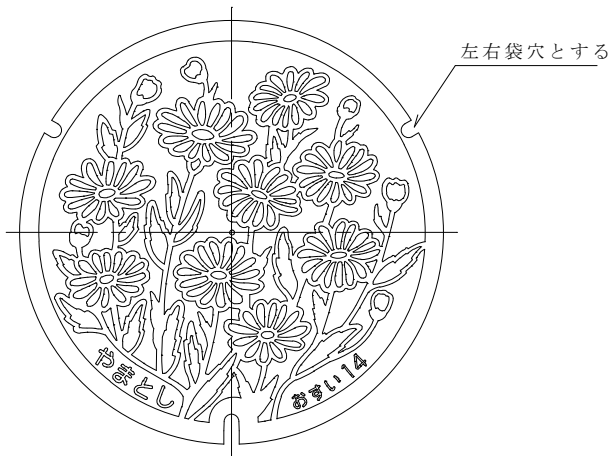
T-25 雨水



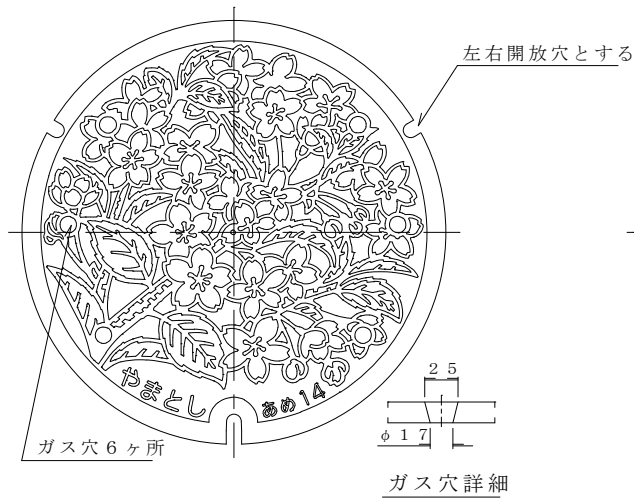
T-25 合流



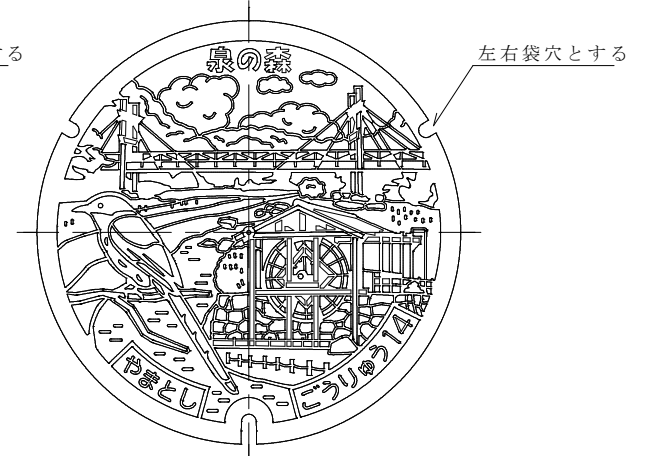
T-14 汚水



T-14 雨水



T-14 合流



下水道用鋳鉄製マンホール鉄ふた・防護ふた構造図

(ふたの標示材色)

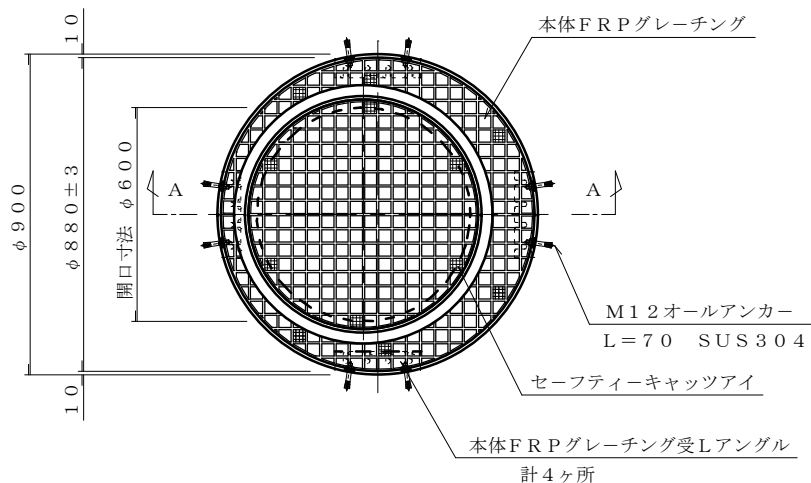
区 分	図 柄	色	マンセル番号
汚水用 (野菊)	花びら	薄紫	7. 5 R P 6 / 6
	花びら中央	イエロー	7. 5 Y R 7 / 1 4
	葉	グリーン	2. 5 G 3 / 6
	バック	ホワイト	2. 5 Y 9 / 2
雨水用 (山桜)	山桜	桃色	5. 5 R 7 / 7
	葉	グリーン	2. 5 G 3 / 6
	枝	ライトブラウン	5 Y R 4 / 6
	バック	ホワイト	2. 5 Y 9 / 2
合流用 (泉の森)	川	ブルー	2. 5 P B 3 / 1 0
	地面・岩・水車・枝	ベージュ	2. 5 Y 7 / 4
	地面中央部・橋・小屋	ブラウン	2. 5 Y R 3 / 6
	雲・小屋内側・鳥胴体・文字座	ホワイト	1 0 Y 9 / 1
	石垣・鳥羽 (上部)	グレー	N 4. 5
	空・鳥羽	ライトブルー	0. 3 P B 6 / 1 0
	森・草	ライトグリーン	3. 5 G Y 5 / 8

ふたの標示材色は、J I S Z 8 7 2 1 (色の表示法—三属性による標示) に準拠するものとし、下表に示すマンセル番号の近似色とする。

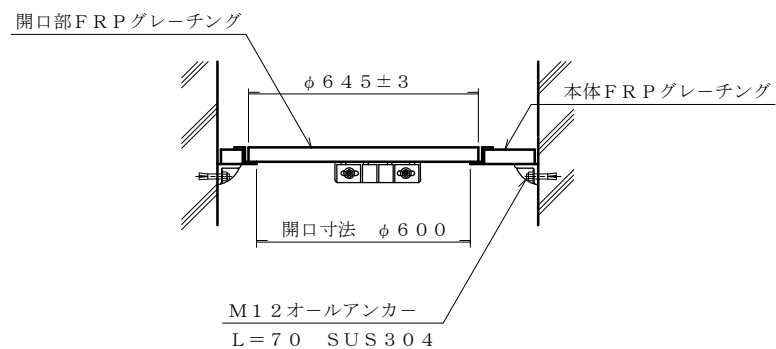
ただし、道路管理者の指示や「公共施設デザインの庁内調整に関する要綱」により色の指定がされた場合は変更できるものとする。

後付用中間スラブ構造図 (1)

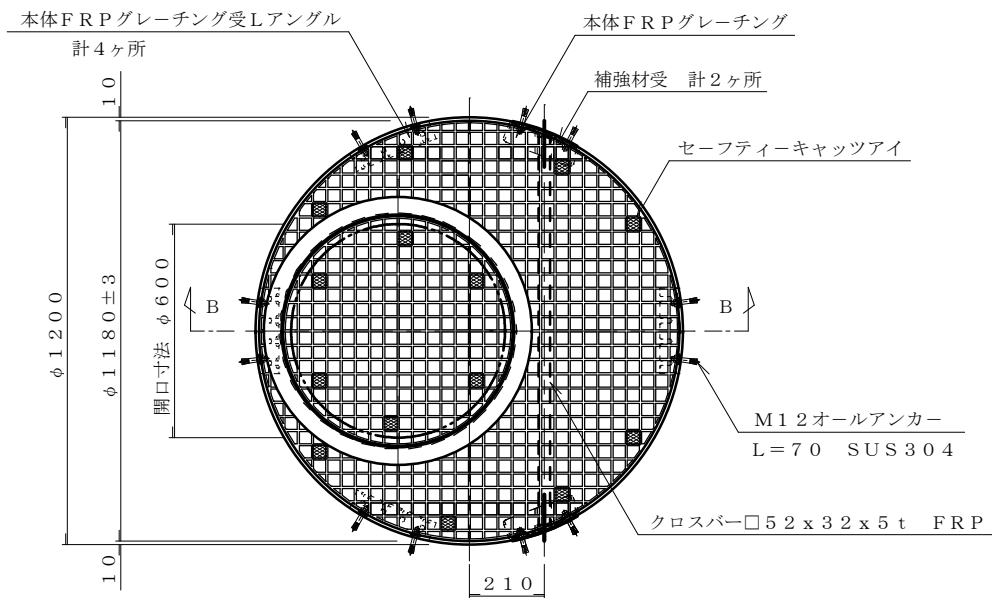
φ 900 mm



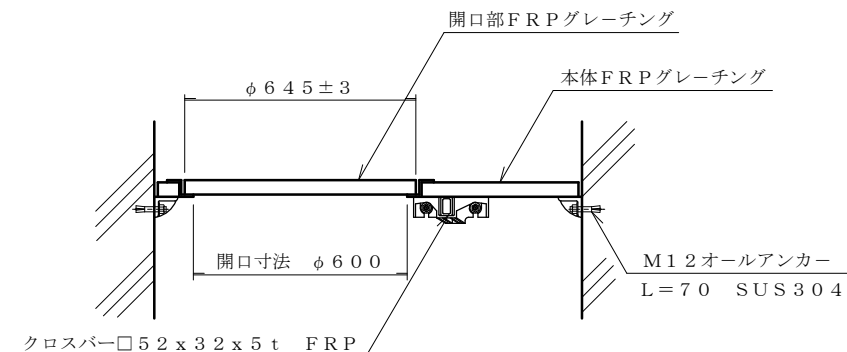
A ~ A 断面図



φ 1200 mm

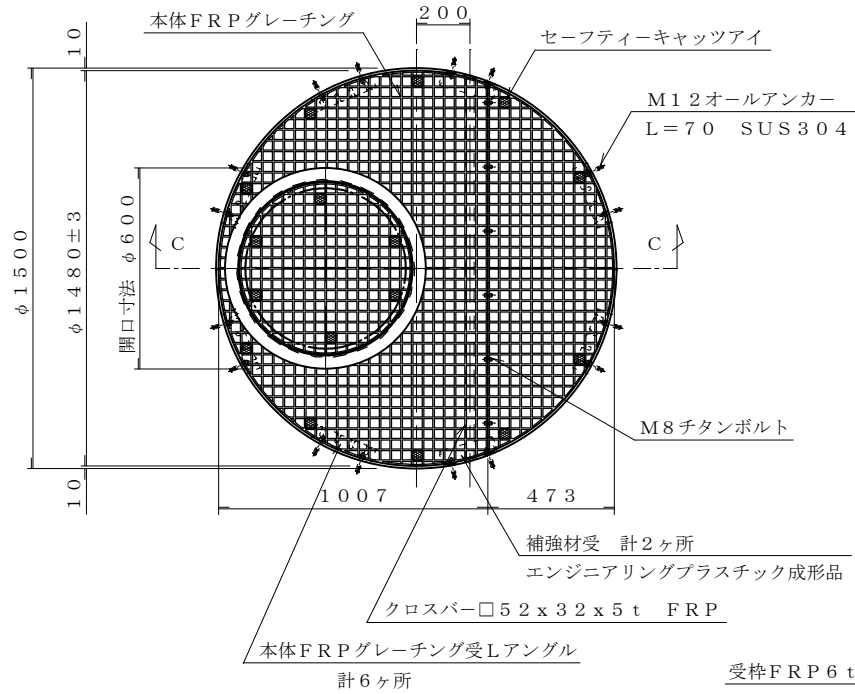


B ~ B 断面図

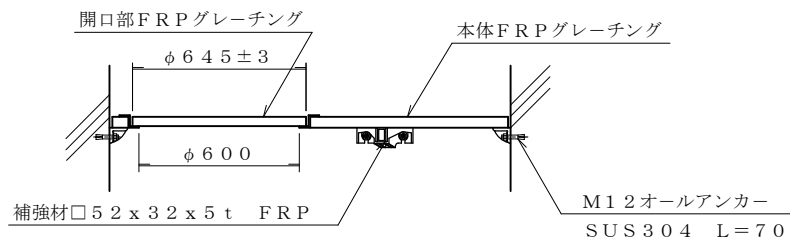


後付用中間スラブ構造図 (2)

φ 1 5 0 0 m m

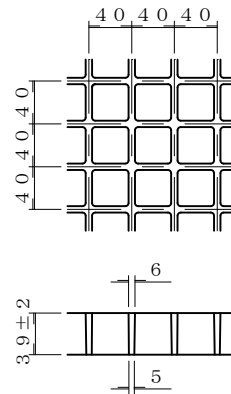


C ~ C 断面図

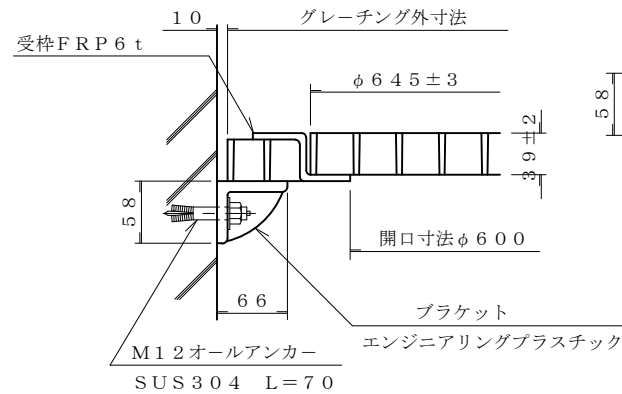


部材詳細図

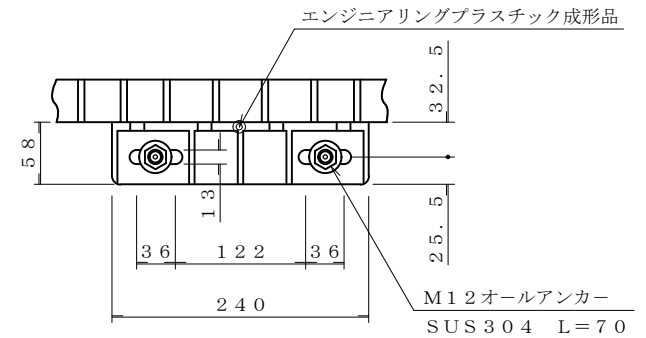
FRP グレーチング



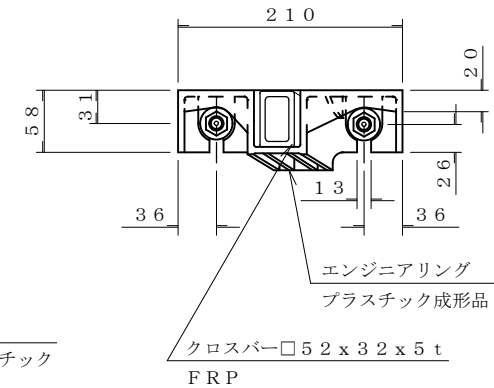
端部断面



エンジニアリングプラスチック成形品

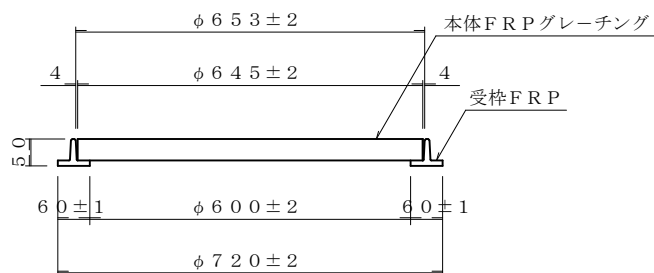
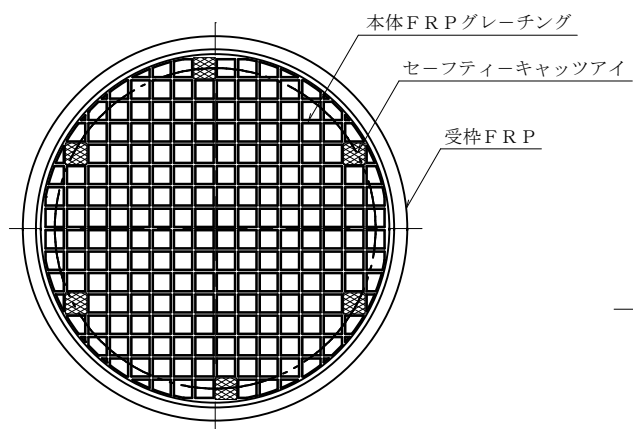


補強材受

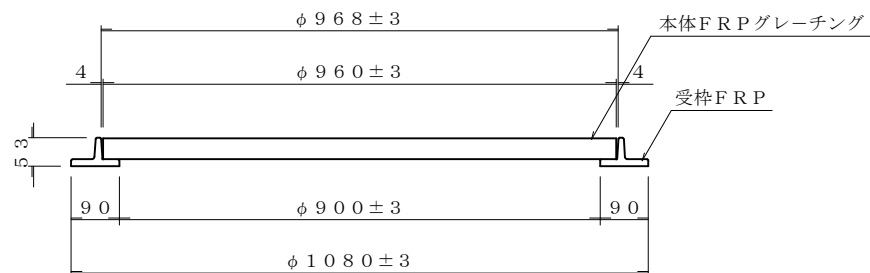
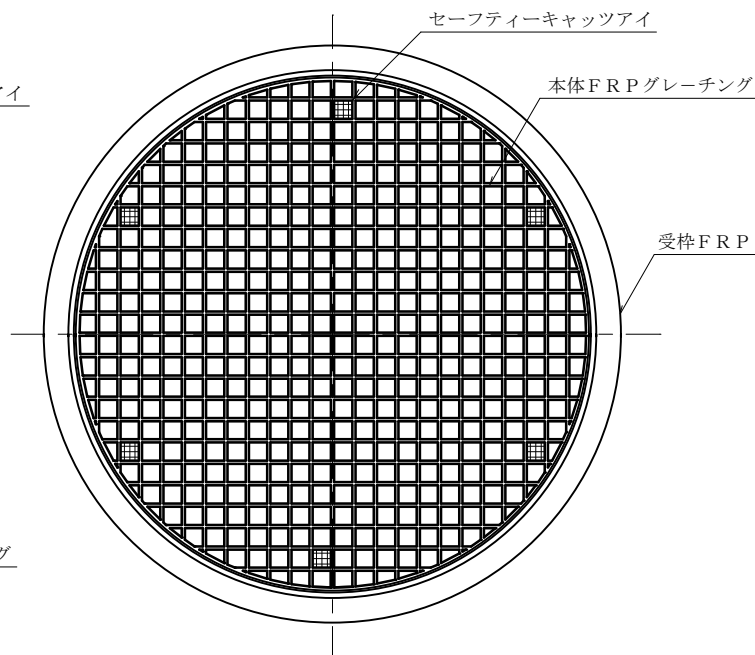


現場打中間スラブ用保安蓋構造図

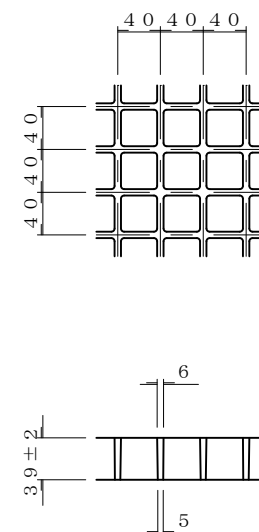
φ 6 0 0 mm



φ 9 0 0 mm



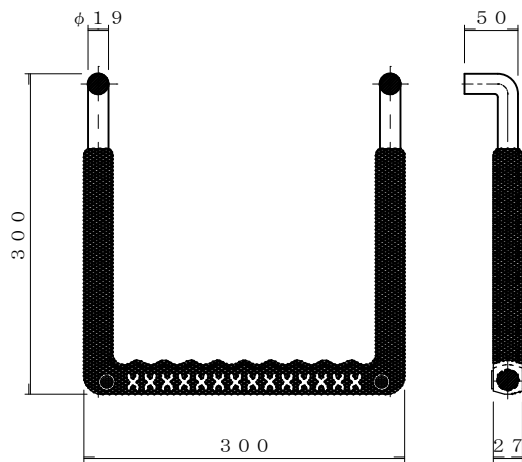
FRP グレーチング詳細図



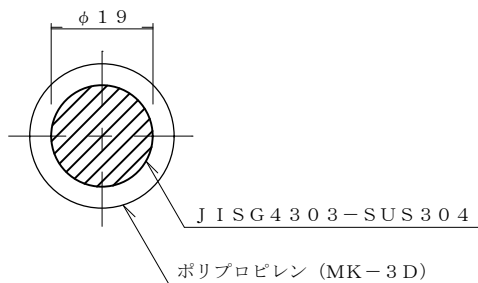
現場打マンホール用足掛金物詳細図

(ポリプロピレン防錆被覆)

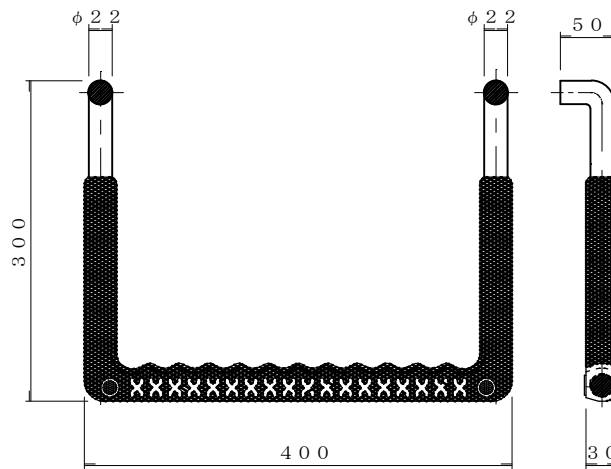
W=300mm



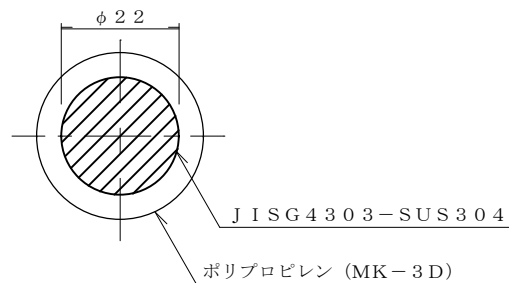
詳細断面図



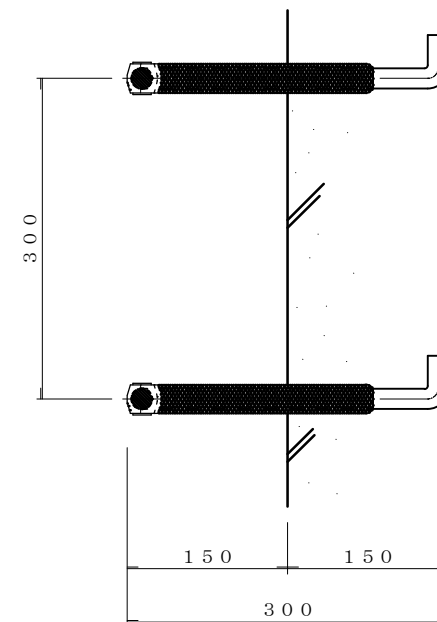
W=400mm



詳細断面図



取付図



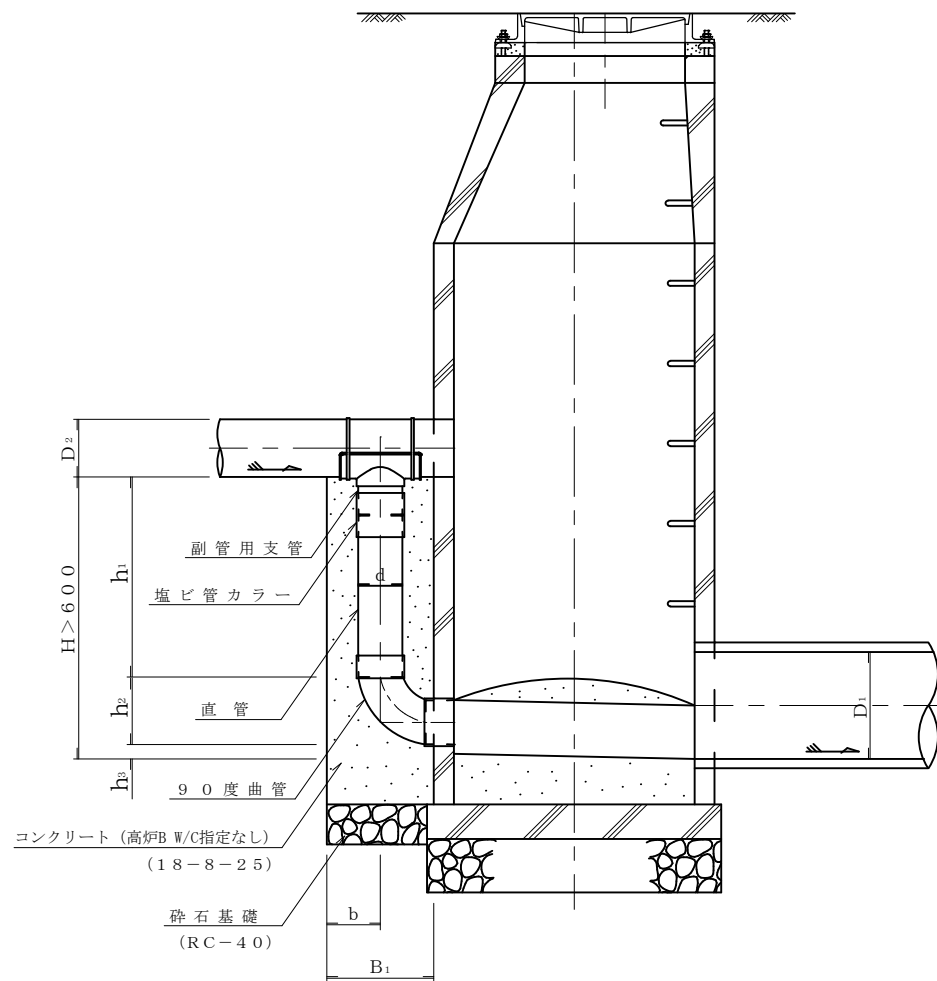
注) 現場打マンホールの上部に既製品が載る場合、下部の足掛金物との間隔が狭くならないように注意する。

副管構造図(1) (参考図)

(外副管)

タイプ 1

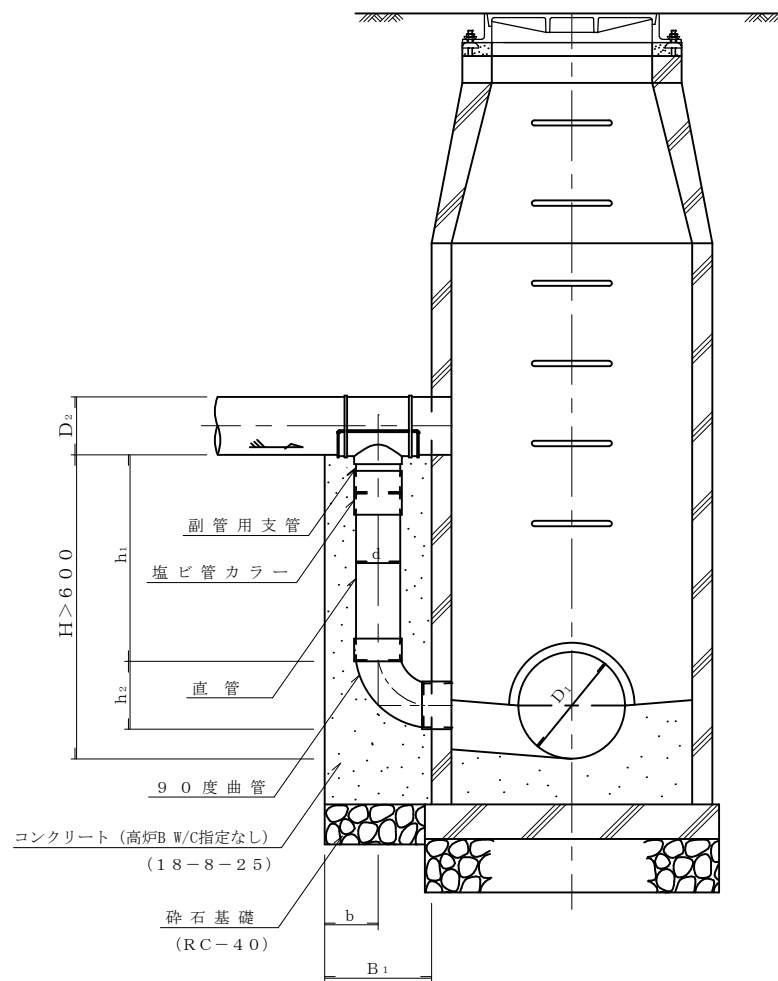
(流出管に対して副管が 120° 以上の場合)



注1. h_3 は5cmの段差を確保する。ただし、段差が5cm以上確保できる場合は、副管管頂とインバート天端を一致させる。

タイプ 2

(流出管に対して副管が 120° 未満及び枝管の場合)



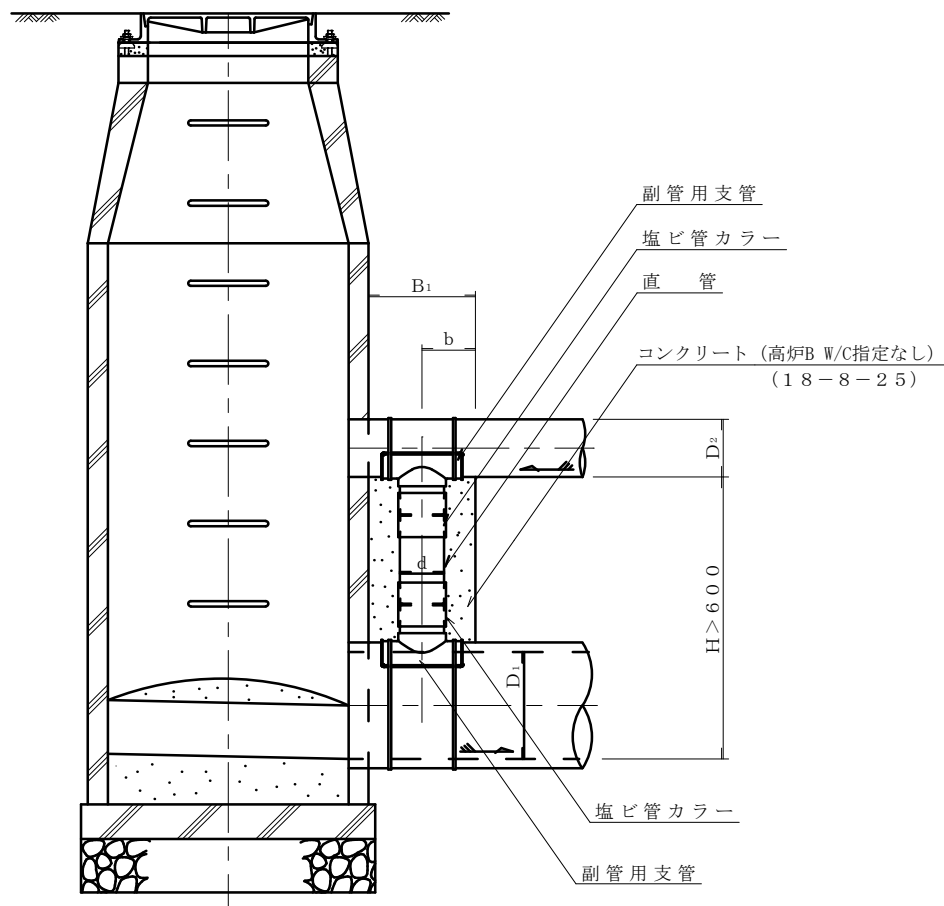
注2. 流入管インバートについては、本管径 (D_2) で副管中心と同心円を描くよう施工する事。

副管構造図(2) (参考図)

(外副管)

タイプ 3

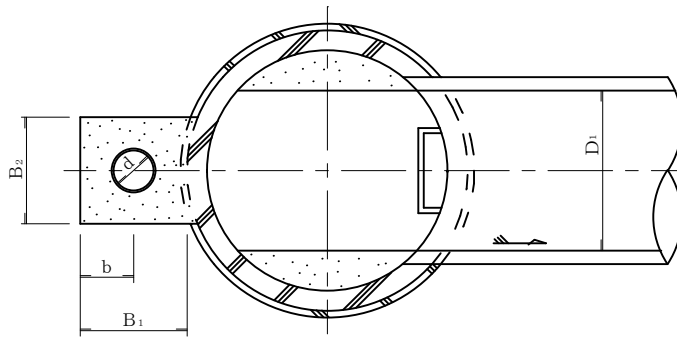
(流出管上に副管を設置する場合)



副管構造図(3) (参考図)

(外副管)

平面図



副管断面選定基準

(単位: mm)

本管の内径 D1	副管径 d
200以下	150
250~400	200
450~500	250
600以上	300

現場打マンホール

(単位: mm)

副管径 d	B ₁	B ₂	b	h ₂
150	400	400	200	245
200	450	450	250	296
250	500	500	275	350
300	550	550	300	400

組立マンホール

(単位: mm)

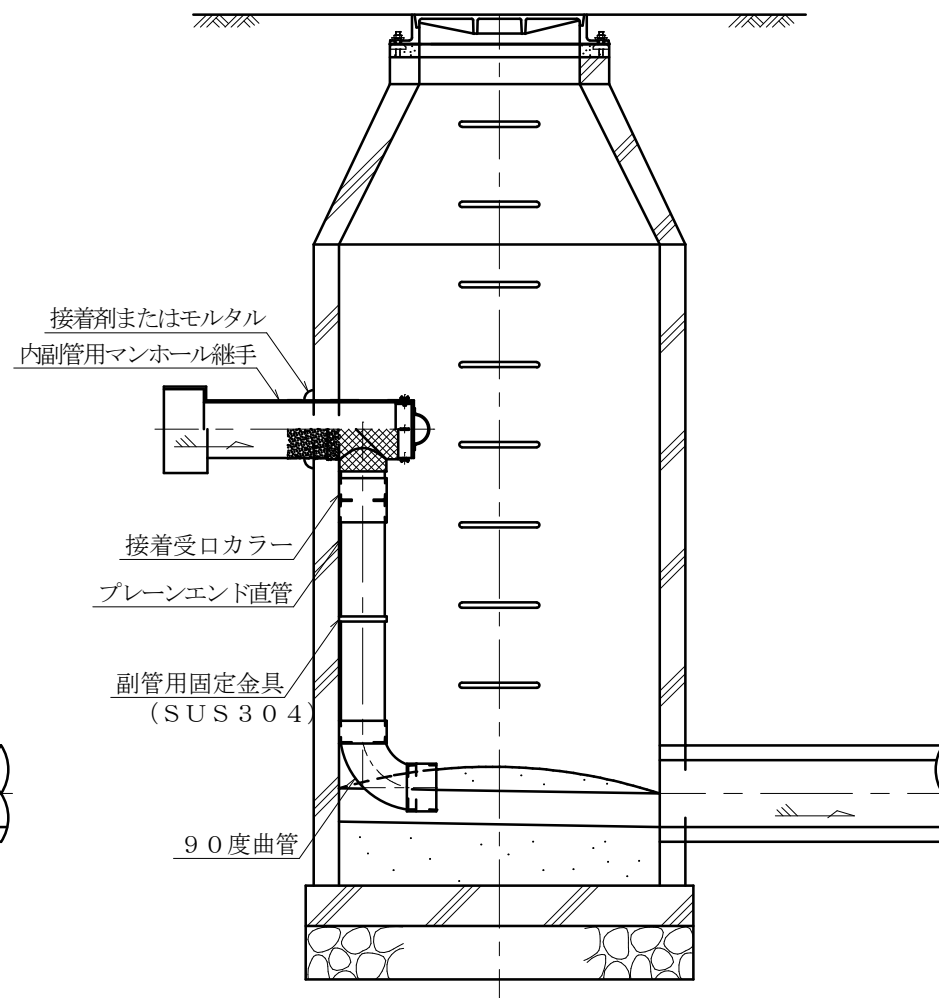
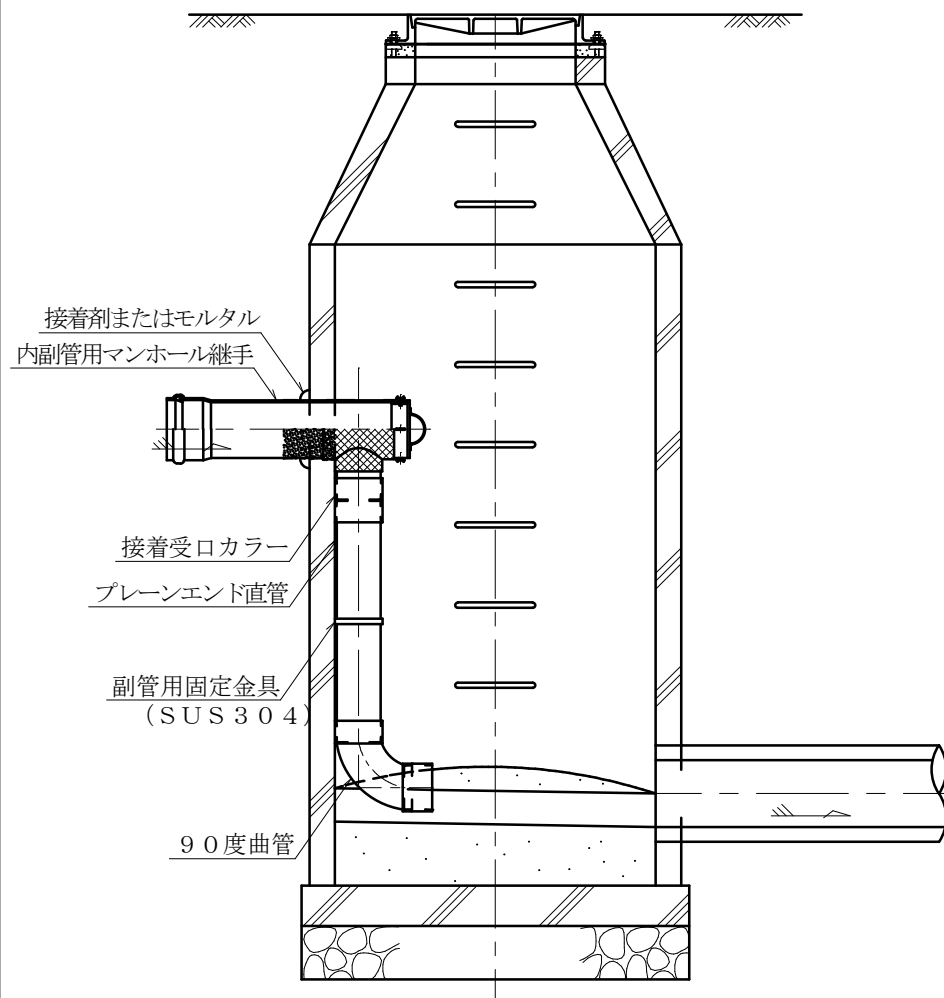
副管径 d	B ₁	B ₂	b	h ₂
150	400	400	200	245
200	500	450	250	296
250	600	500	275	350
300	650	550	300	400

副管構造図(4)

(内副管)

本管：塩ビ管

本管：ヒューム管



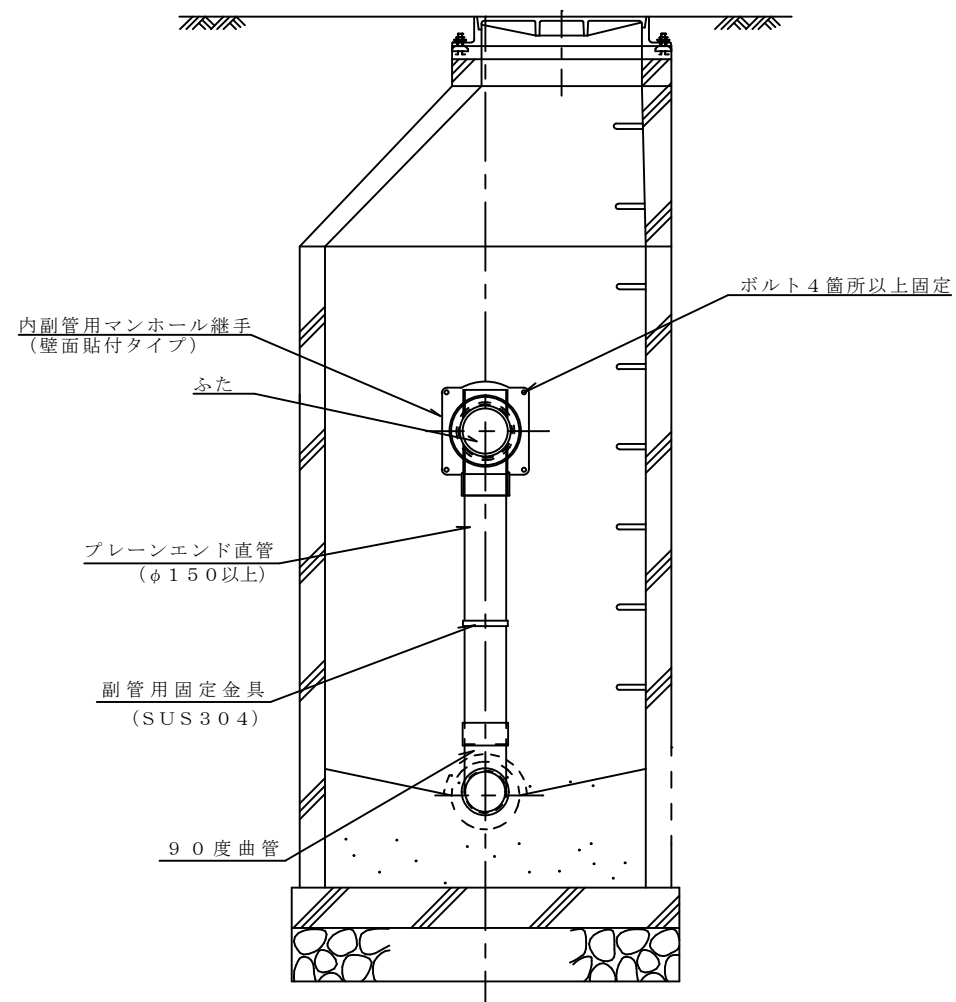
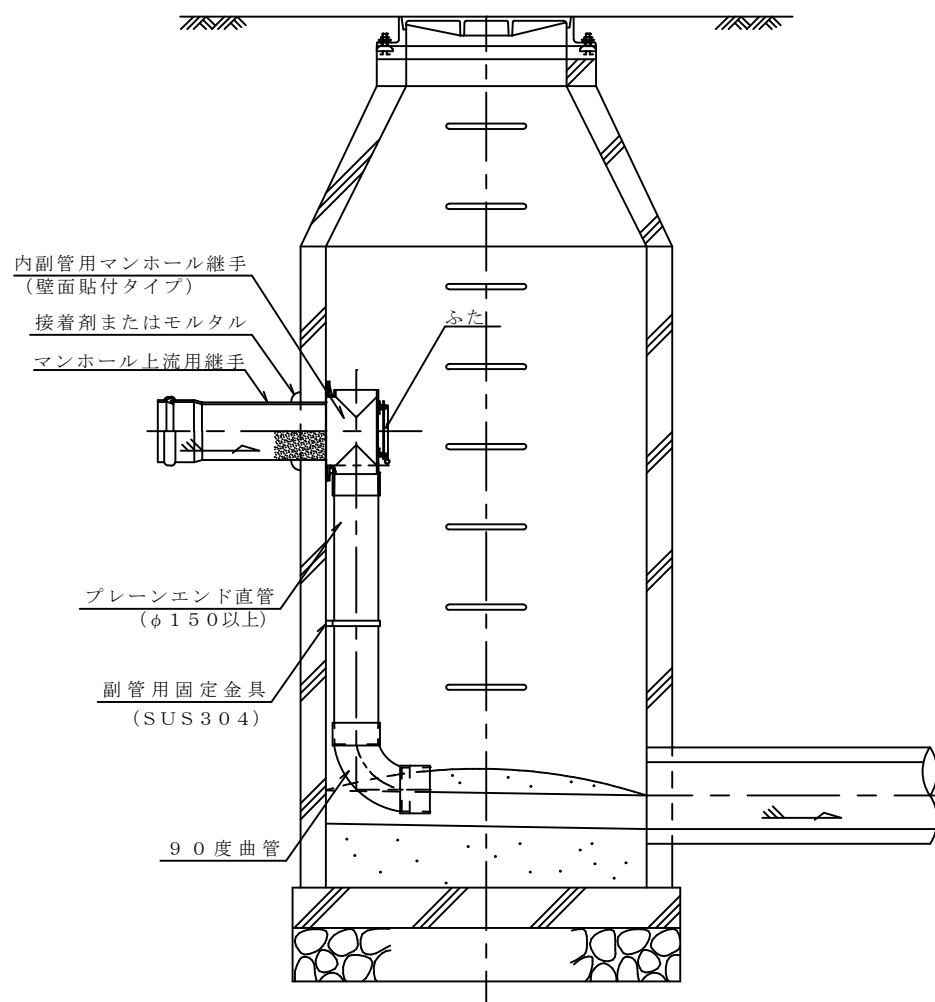
注1. 副管用固定金具は、1mに1箇所程度設置する。

副管構造図(5)

(内副管：壁面貼付タイプ)

本管：塩ビ管
断面図

本管：塩ビ管
正面図

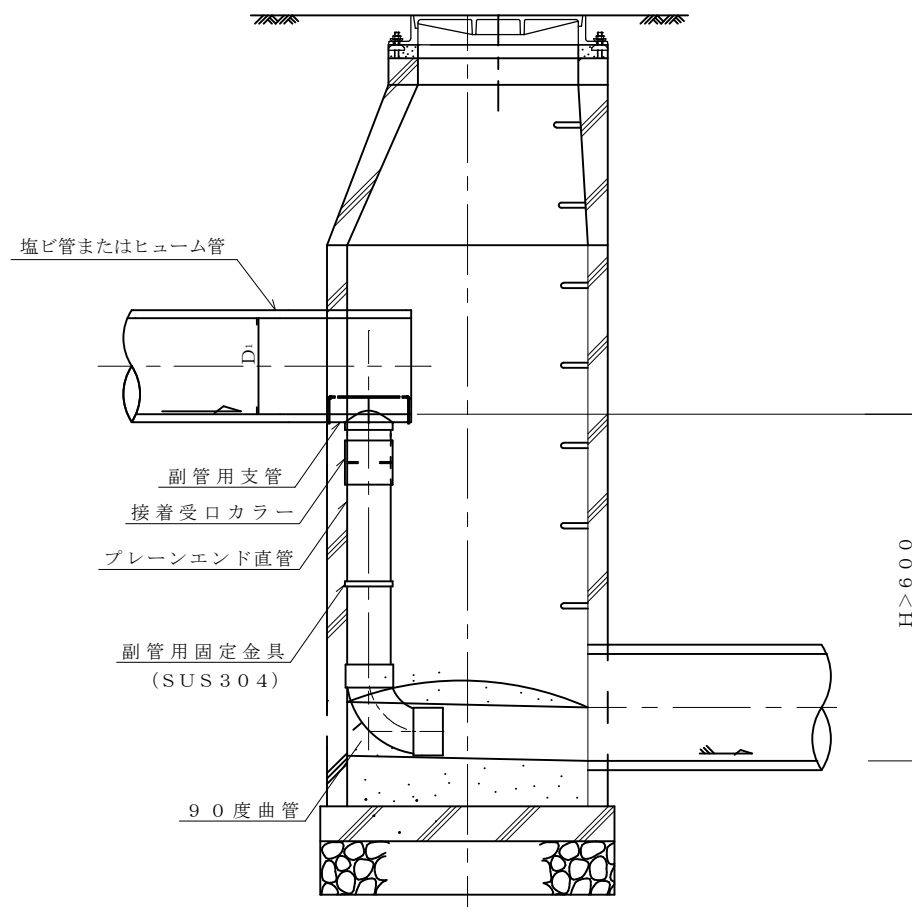


- 注1. 副管用固定金具は、1mに1箇所程度設置する。
 注2. マンホール継手の金属部は、耐腐食性を有すること。

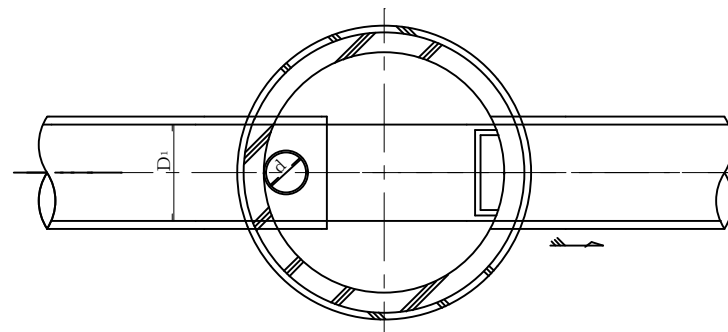
副管構造図(6)

(内副管)

断面図



平面図



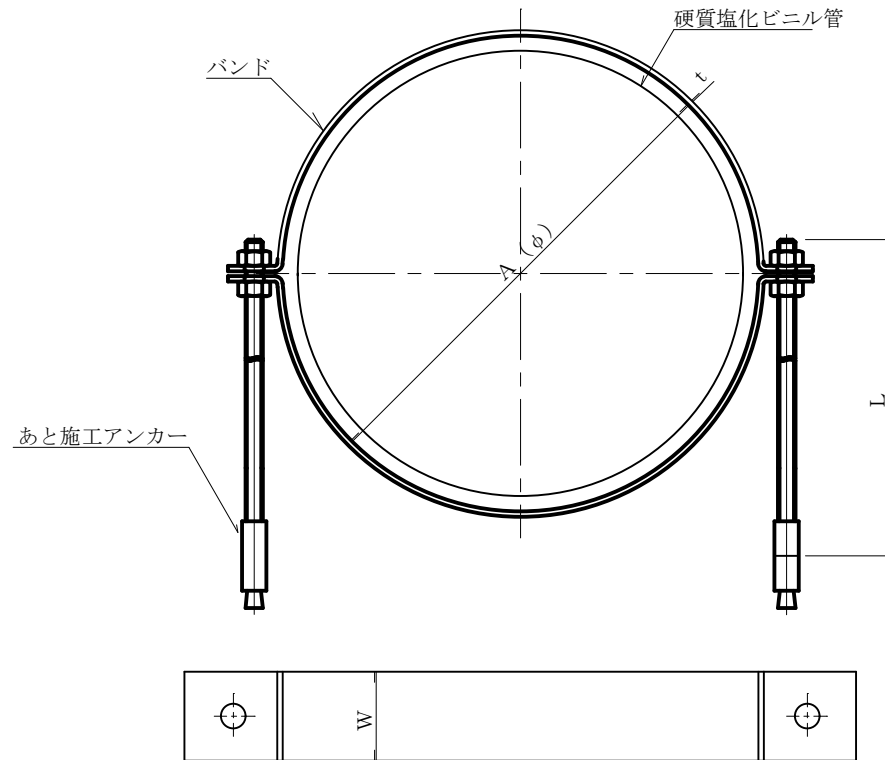
副管断面選定基準

(単位: mm)

本管の内径 D ₁	副管径 d
300~400	200
450~500	250
600以上	300

副管構造図(7)

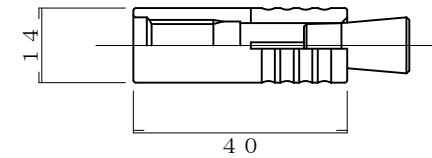
副管用固定用具 (SUS304)



(単位: mm)

呼び径	A (φ)	t 最小	W 最小	L 参考	ボルト径 参考	あと施工アンカー 参考
150	165	2	25	280	W3/8	3/8×40L
200	216	2	25	280	W3/8	3/8×40L
250	267	2	25	280	W3/8	3/8×40L
300	318	2	25	280	W3/8	3/8×40L

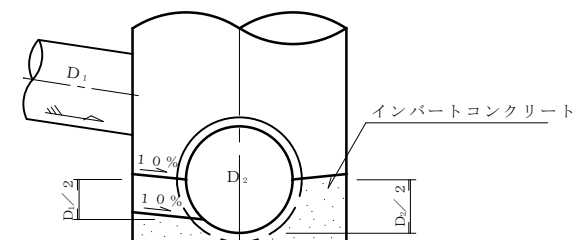
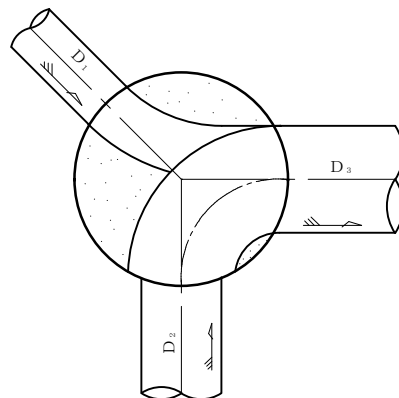
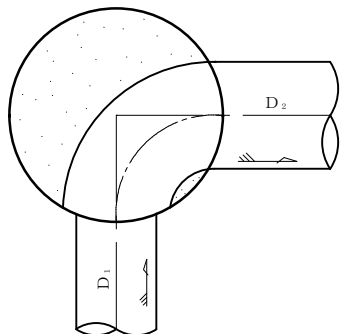
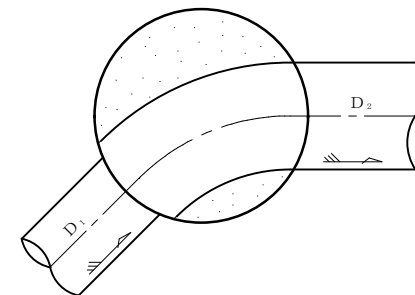
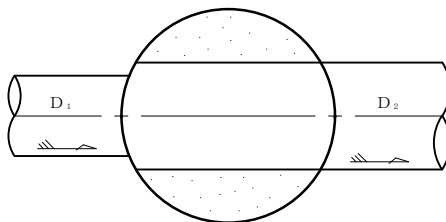
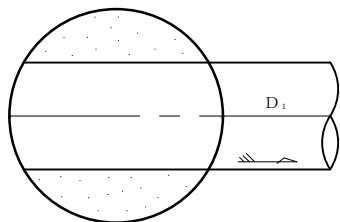
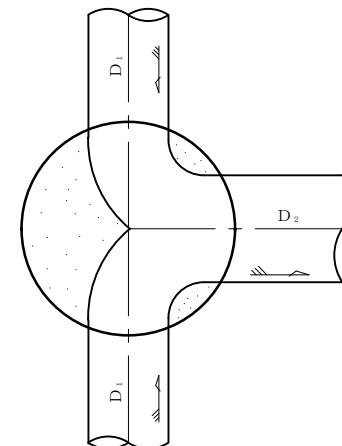
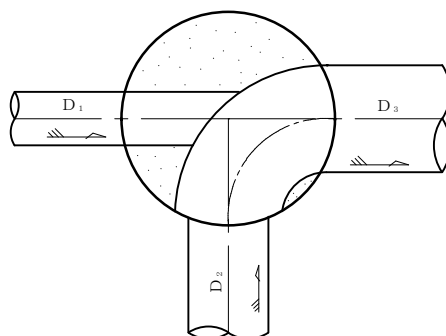
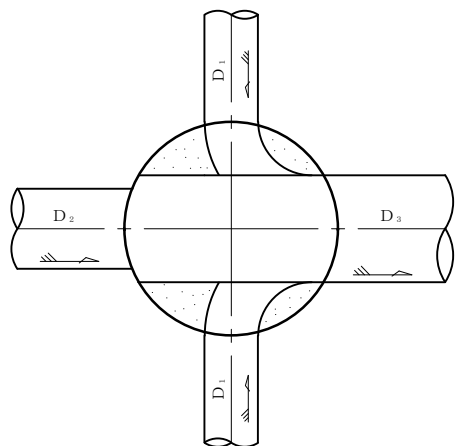
あと施工アンカー (ねじの呼び W3/8)



注1. バンドの材質は、耐腐食性でSUS製品と同等の強度であれば使用することができる。

マンホールインバート図

($D_1 < D_2 < D_3$)



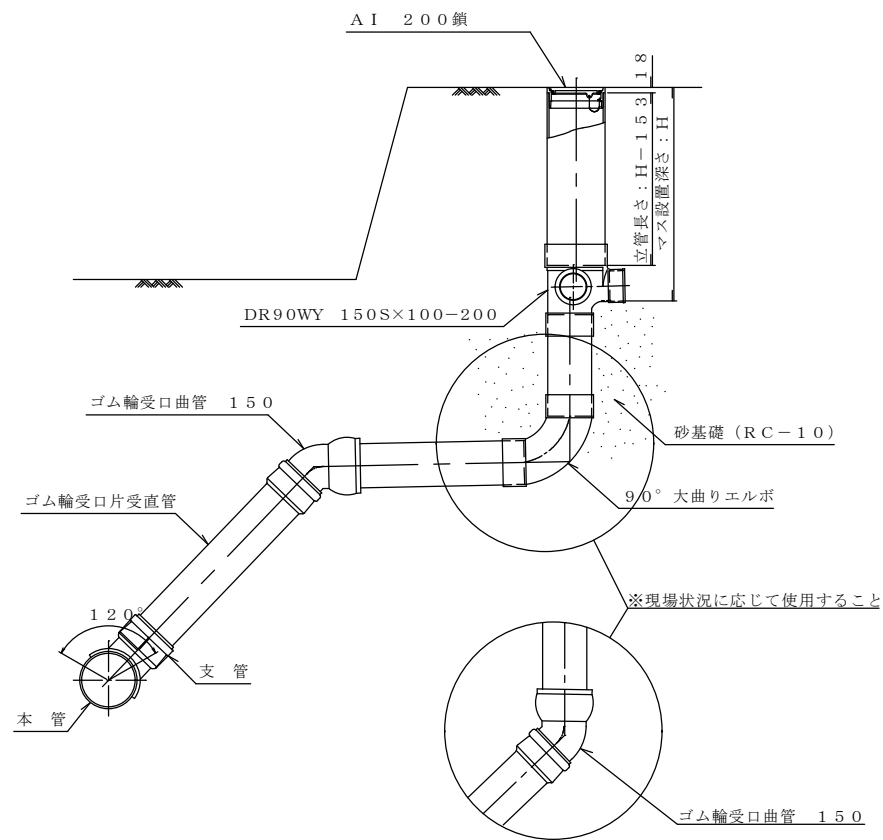
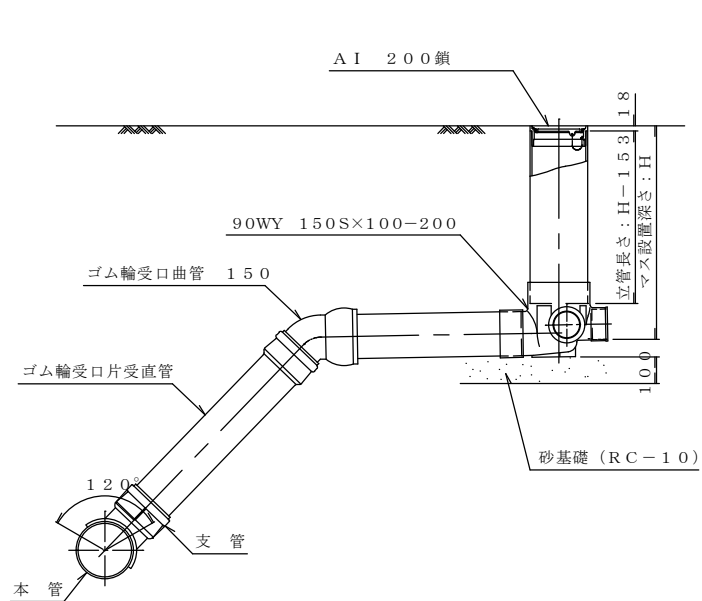
汚水枡標準構造図 (1)

下水道用硬質塩化ビニル製枡 (JSWAS K-7) (φ200)

断面図

標準型

ドロップ型



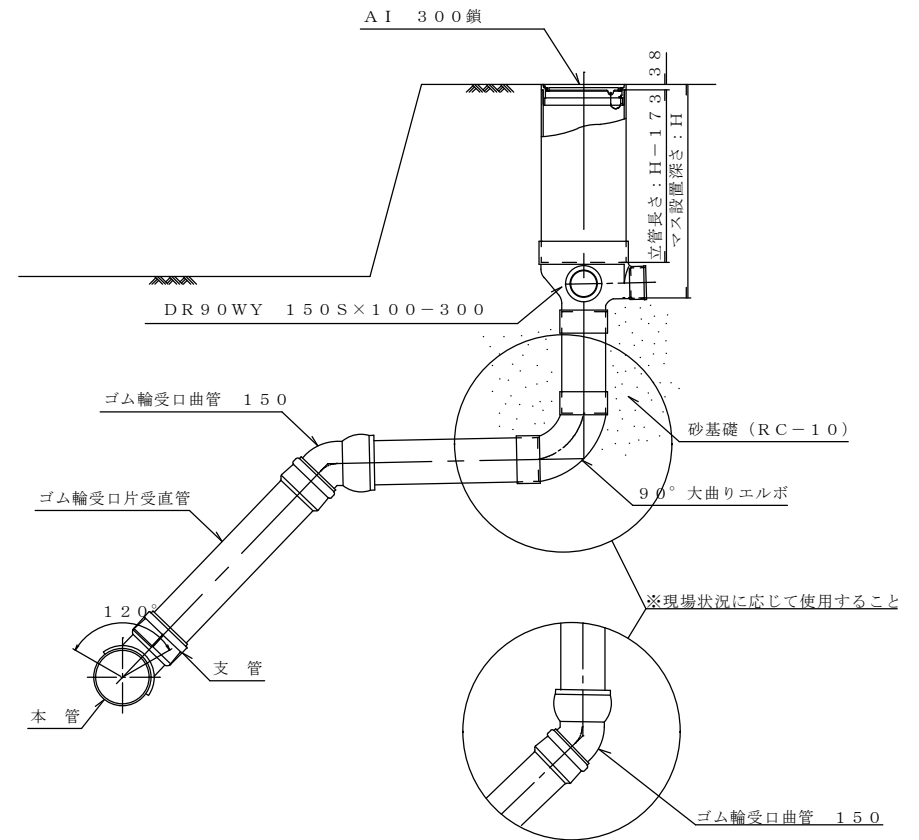
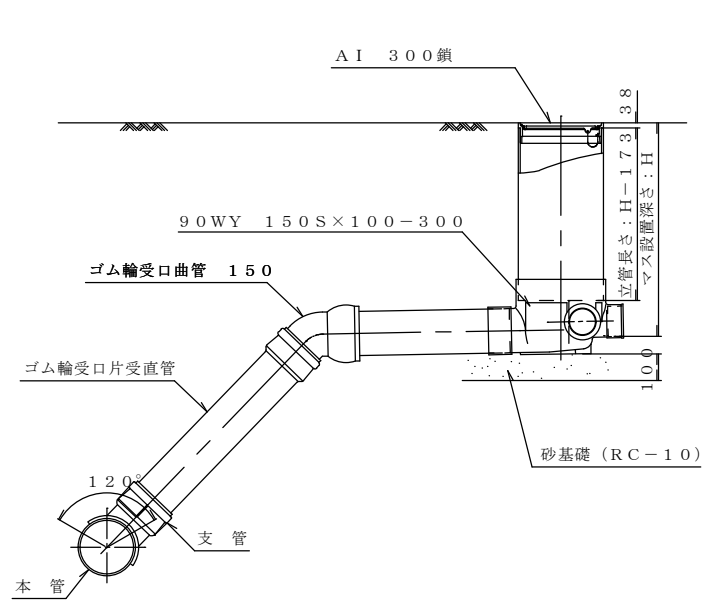
汚水枡標準構造図 (2)

下水道用硬質塩化ビニル製枡 (JSWAS K-7) (φ300)

断面図

標準型

ドロップ型



汚水枳標準構造図 (3)

下水道用硬質塩化ビニル製枳 (JSWAS K-7) (φ200)

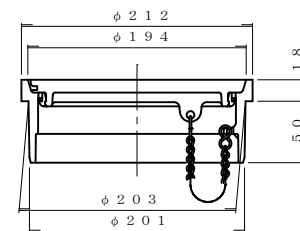
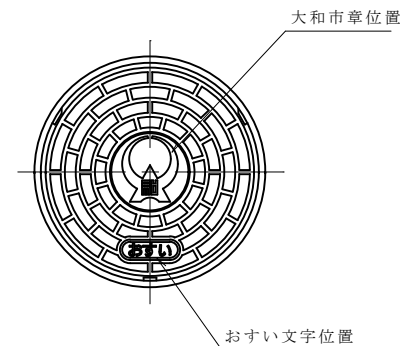
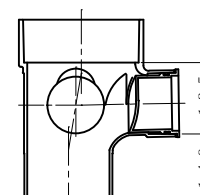
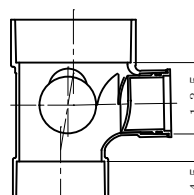
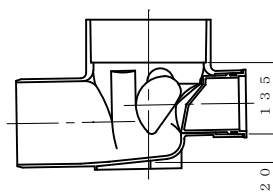
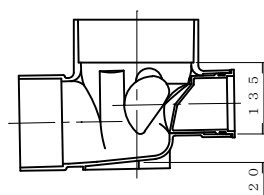
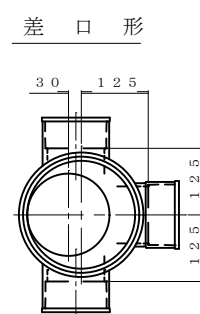
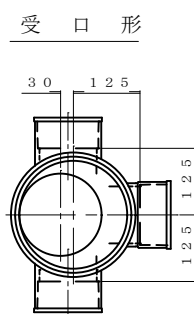
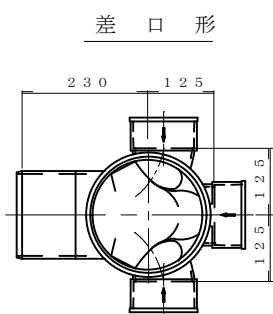
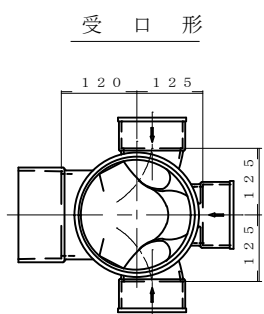
部材詳細図

インバート

樹脂蓋

(標準)

(ドロップ)



汚水枡標準構造図 (4)

下水道用硬質塩化ビニル製枡 (JSWAS K-7) ($\phi 300$)

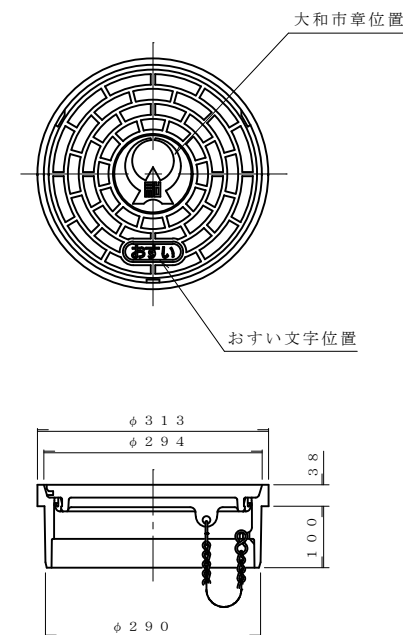
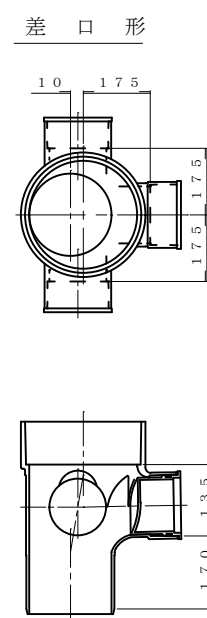
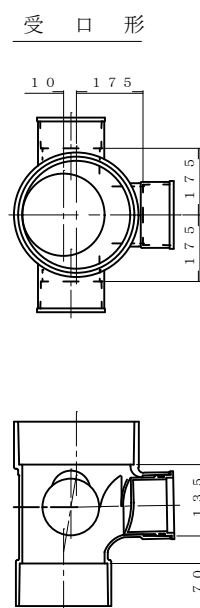
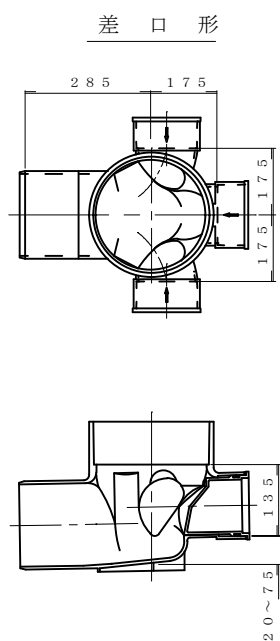
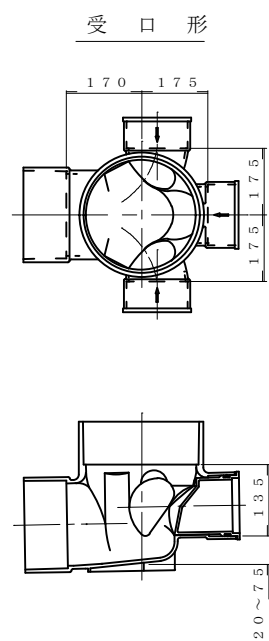
部材詳細図

インバート

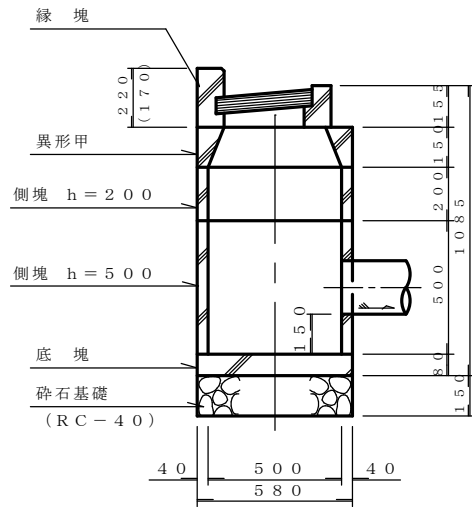
樹脂蓋

(標準)

(ドロップ)

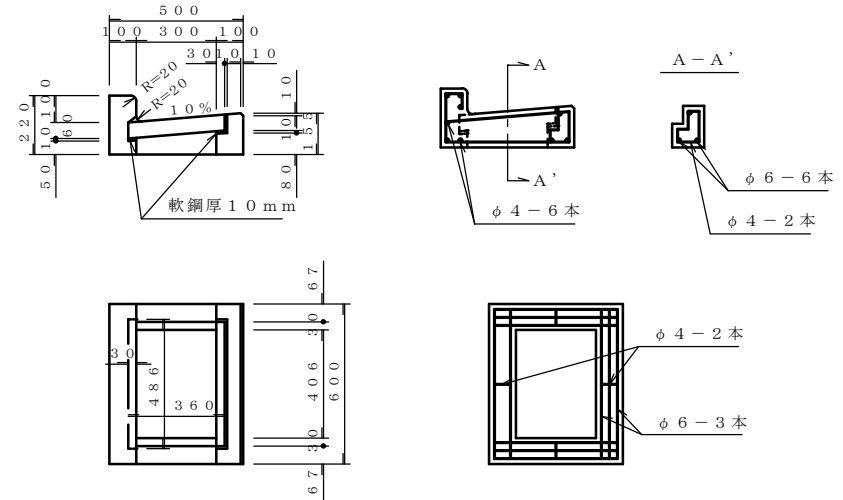


雨水枡標準構造図



※ () 内数値は切下げ用を示す。

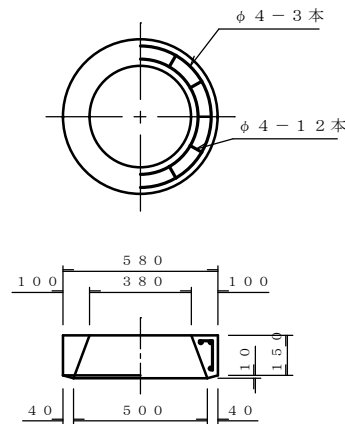
縁塊



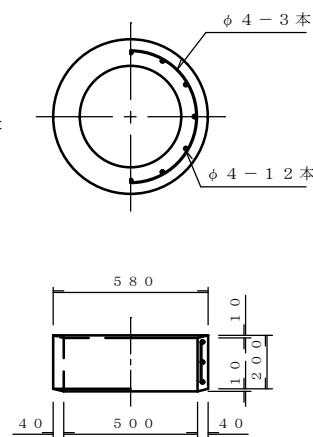
1箇所当り

名称	規格	単位	数量
縁塊	都建築局型集水枡用 300	個	1.0
グレーチング	T-20クサリ付 460×350×5.9	組	1.0
側内径500×150塊	都下水道局型 異形甲	個	1.0
側内径500×200塊	都下水道局型 側塊	個	1.0
側内径500×500塊	都下水道局型 側塊	個	1.0
底塊	都下水道局型 500×900	個	1.0
碎石基礎	RC-40	m ³	0.03
モルタル工		個	0.007

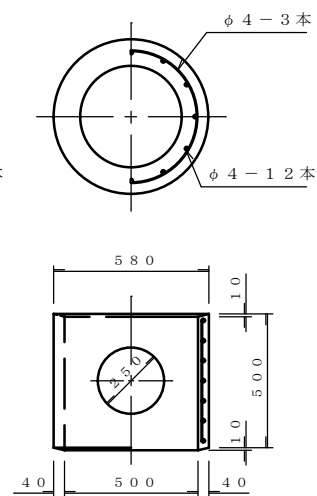
異形甲



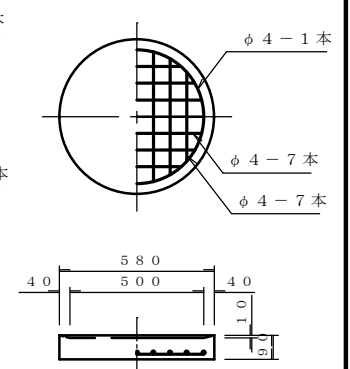
側塊 h = 200



側塊 h = 490



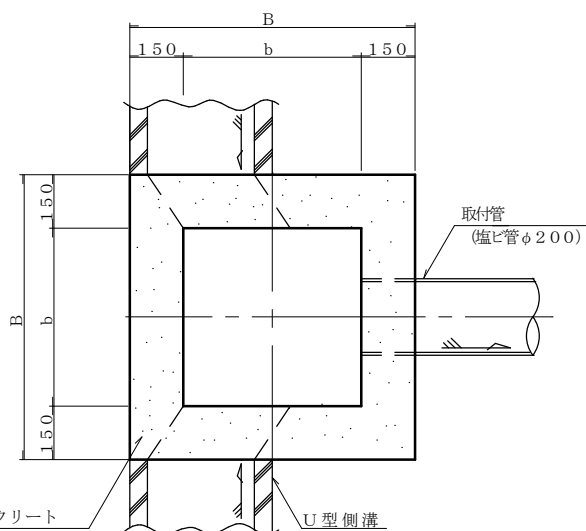
底塊



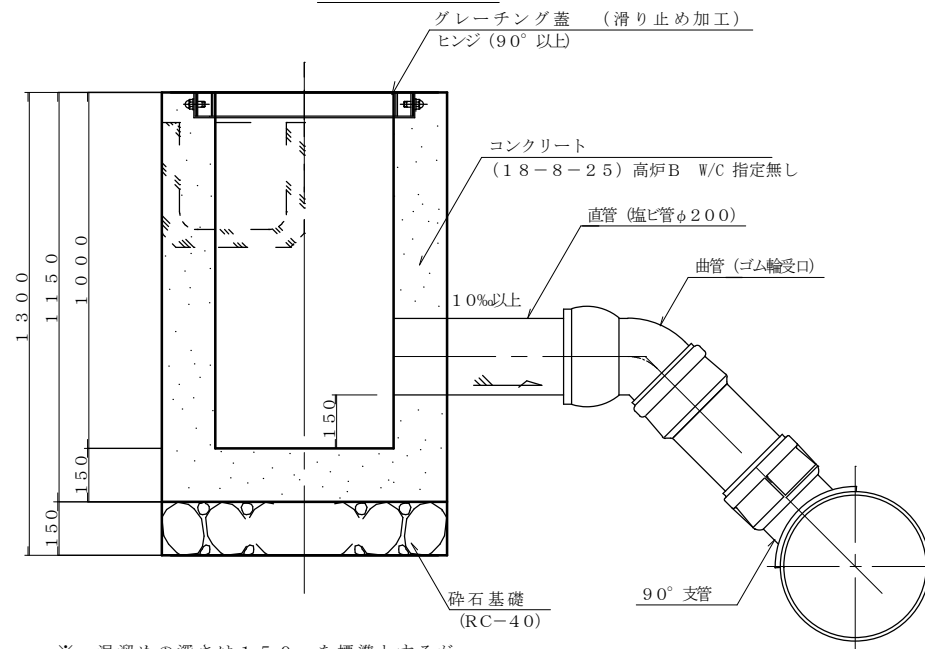
集水桝標準構造図(1)

(現場打)

平断面図



断面図



※ 泥溜めの深さは150mmを標準とするが、環境に配慮して省略することができる。

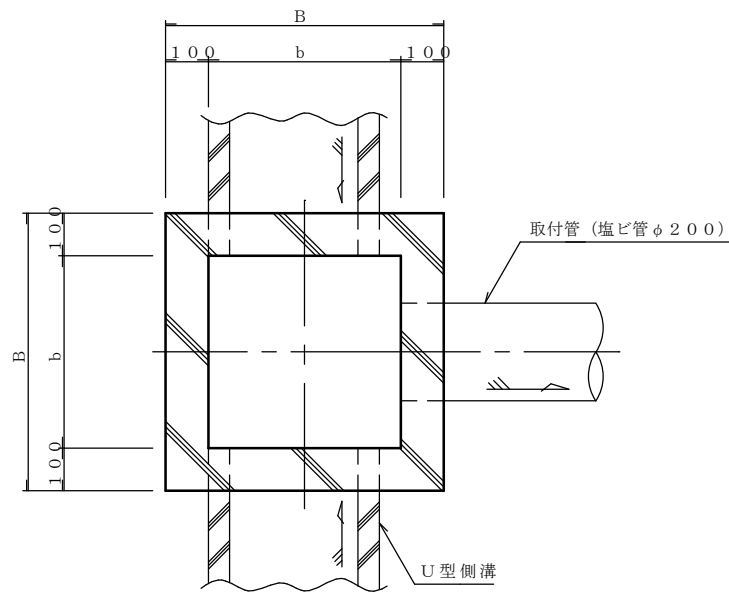
(単位: mm, kg)

種別	b	B	グレーチング蓋寸法及び重量(参考値)				摘要	
			普通目(主部材ピッチ30mm)		細目(主部材ピッチ15mm)			
			T-14	T-25	T-14	T-25		
1種	500	800	本体	600×600×50	600×600×65	600×600×38	600×600×50	U-300以下に使用。
			(受枠)	(620×620×56)	(620×620×71)	(620×620×44)	(620×620×56)	
			総重量	38	46	41	62	
2種	600	900	本体	700×700×55	700×700×75	700×700×44	700×700×55	U-450以下に使用。
			(受枠)	(720×720×61)	(720×720×81)	(720×720×50)	(720×720×56)	
			総重量	53	67	60	84	

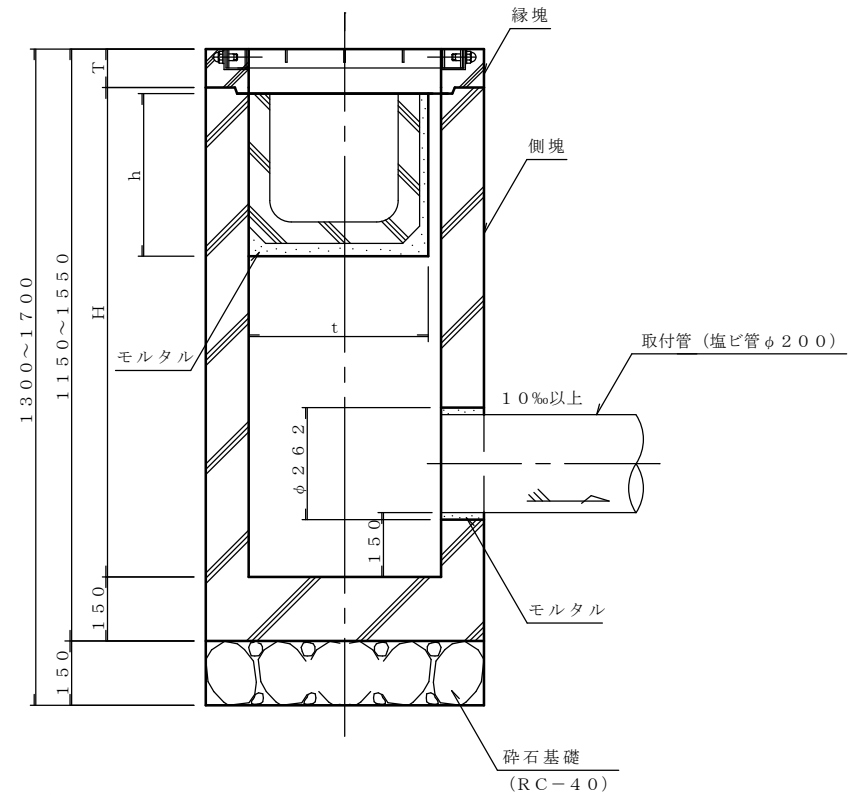
集水桝標準構造図(2)

(参考図)

平断面図



断面図



(単位: mm)

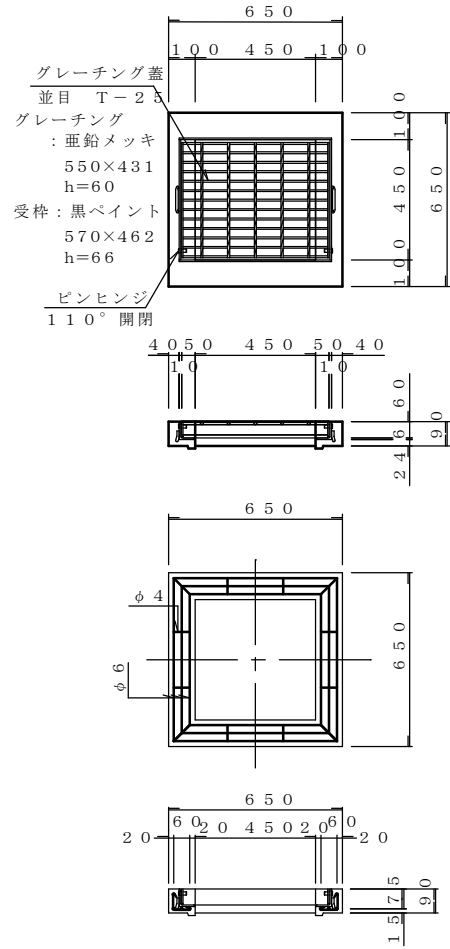
種別	b	B	T	H	t	h	摘要
1種	450	650	90	910~1310	420	380	U-300以下に使用。
2種	600	800	110	890~1290	580	540	U-450以下に使用。

注) 側塊は、工場にて流入・流出の削孔済。

集水桝標準構造図(3)

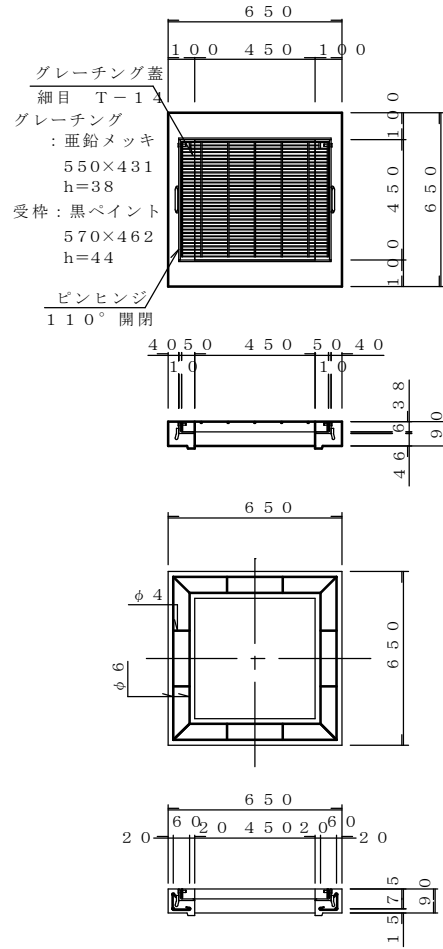
縁 塊 (参考図)

1種 (T-25)



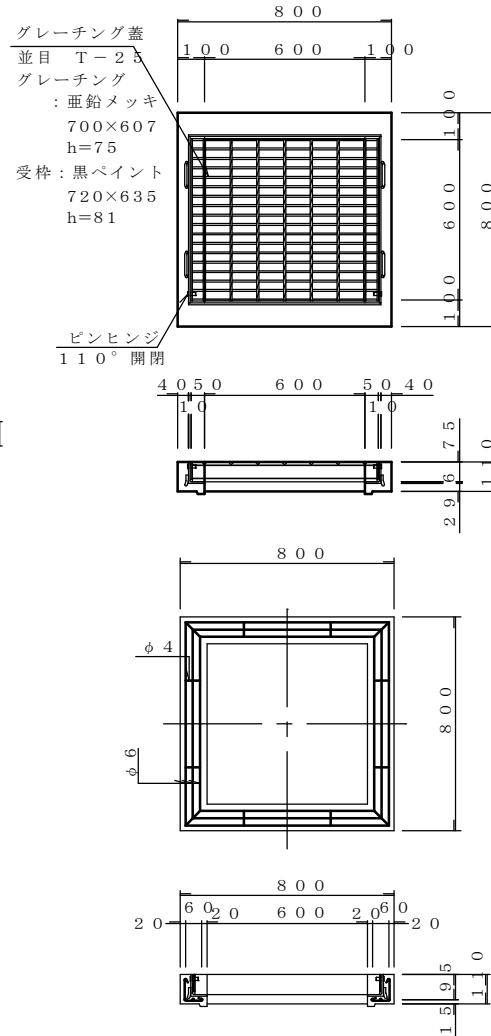
製品重量 40kg (68kg)
() はグレーチング含む重量

1種 (T-14)



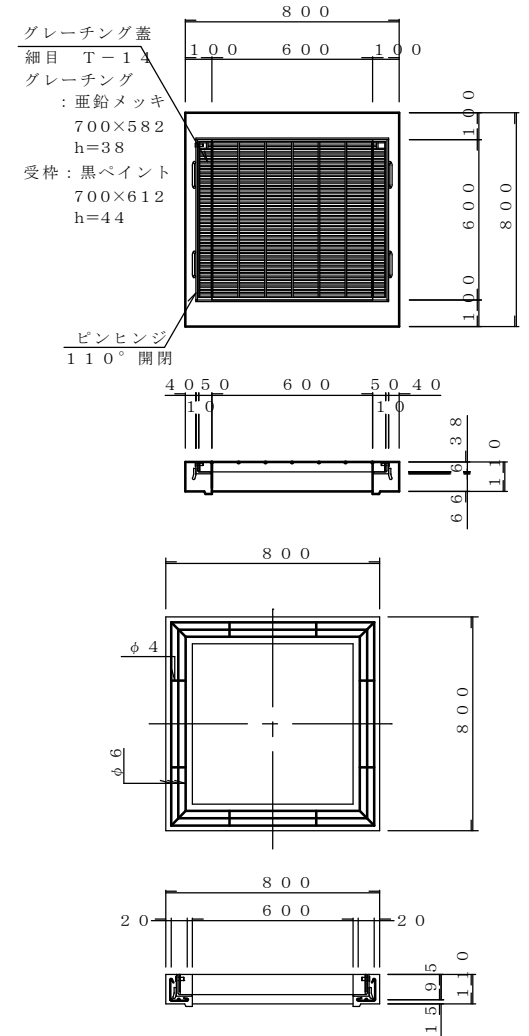
製品重量 43kg (68kg)
() はグレーチング含む重量

2種 (T-25)



製品重量 57kg (111kg)
() はグレーチング含む重量

2種 (T-14)



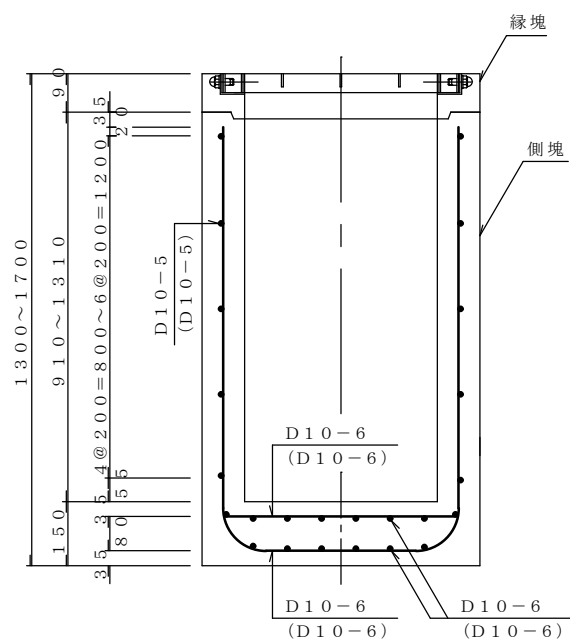
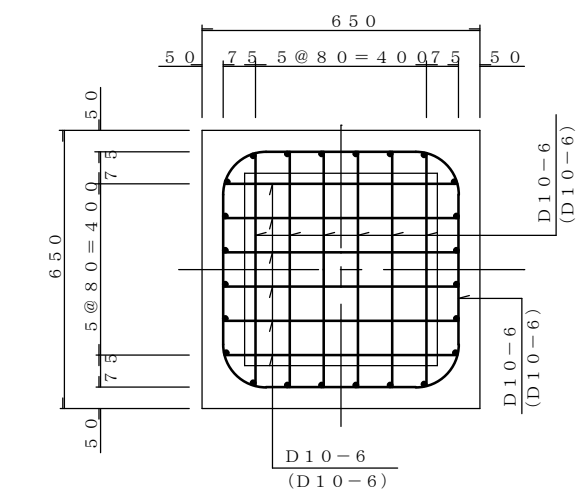
製品重量 68kg (123kg)
() はグレーチング含む重量

集水桝標準構造図(4)

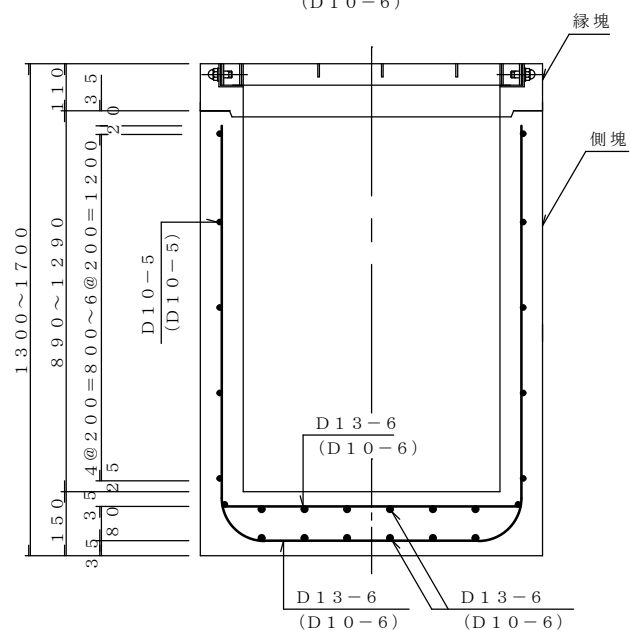
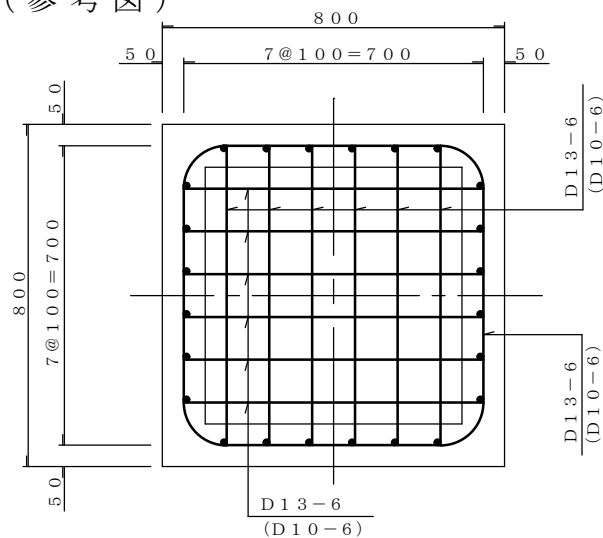
1 種

2 種

側塊 (参考図)



側塊製品重量: 879kg



側塊製品重量: 1143kg

注) 1種、2種とも () 内数値は、T 14 仕様
上段数値は、T-25 仕様

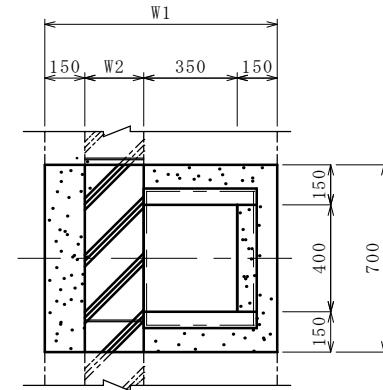
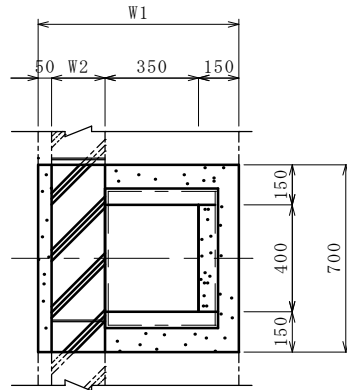
集水桝標準構造図(5)

マウンドアップ型

セミフラット型

(現場打ちL型側溝部)

注()内の寸法は勾配2%に適用する。

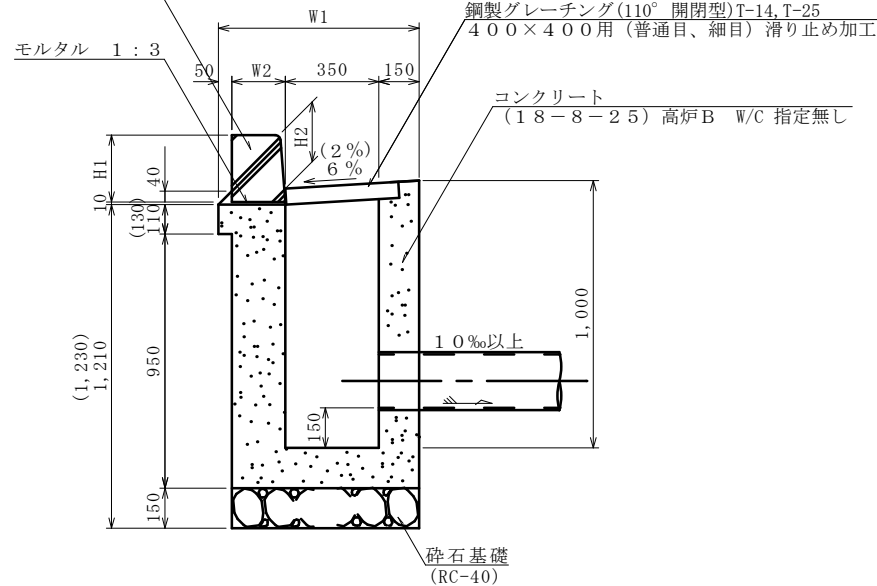


寸法表 (単位: mm)

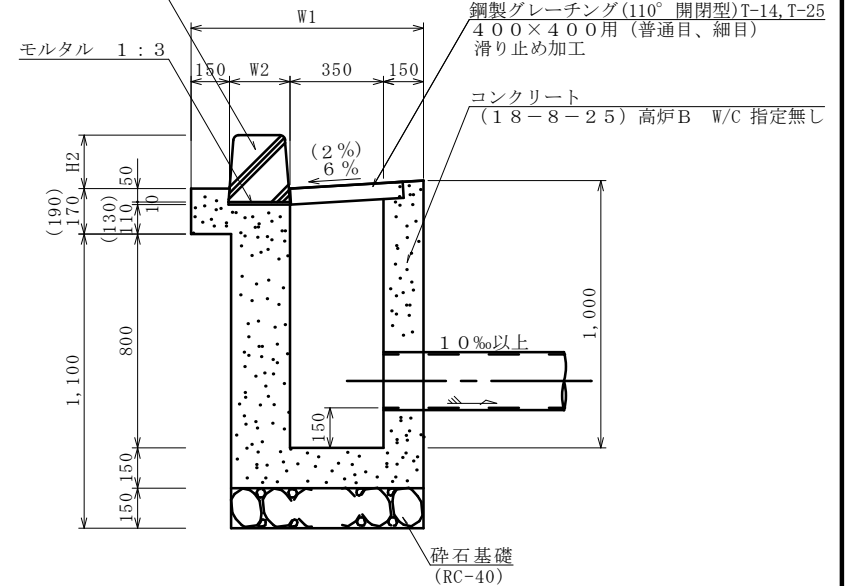
歩道タイプ	A種ブロック				B種ブロック			
	W1	W2	H1	H2	W1	W2	H1	H2
マウンドアップ	715	165	70~200	20~150	750	200	70~250	20~200
セミフラット	830	180	20~150	20~150	870	220	20~200	20~200

※グレーチング受枠の参考寸法 (L520×W430×H60: 普通目T-25)

歩車道境界ブロックAorB種



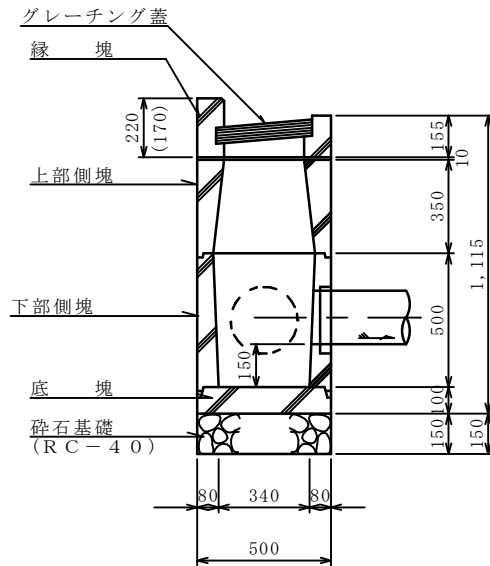
両面歩車道境界ブロックAorB種



※泥溜めの深さは150mmを標準とするが、環境に配慮して省略することができる。

集水桝標準構造図(6)

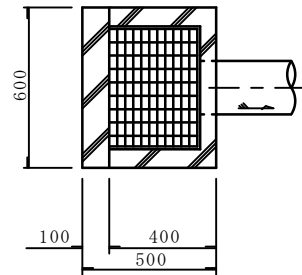
(鉄筋コンクリートLU型側溝部)



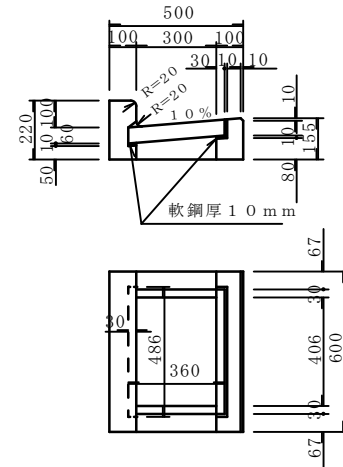
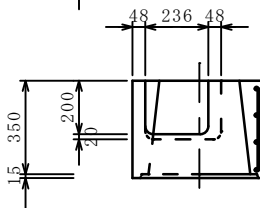
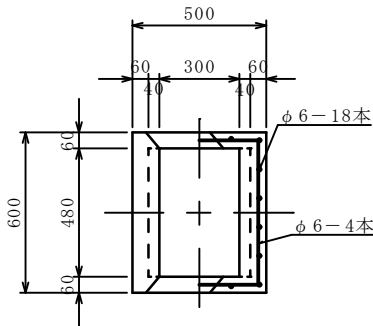
※ () 内数値は切下げ用を示す。

1箇所当り

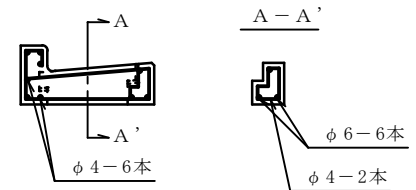
名称	規格	単位	数量
縁塊	都建築局型集水桝用300	個	1.0
グレーチング	T-20鎖付け460×350×59	組	1.0
上部側塊	500×600×350	個	1.0
下部側塊	500×600×500	個	1.0
底塊	500×600×100	個	1.0
砕石基礎	RC-40	m ³	0.05



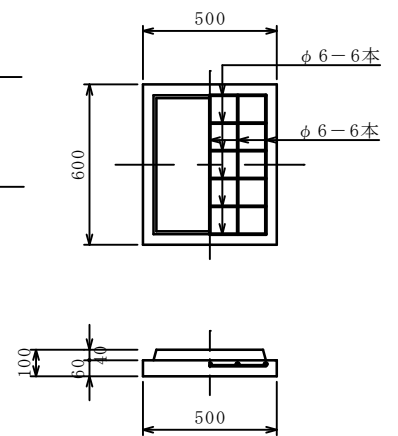
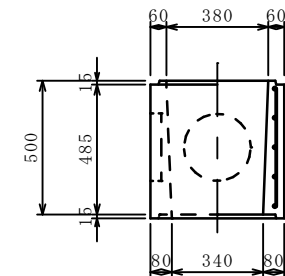
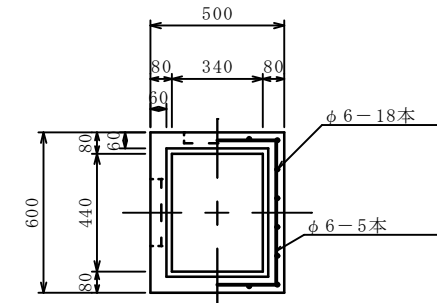
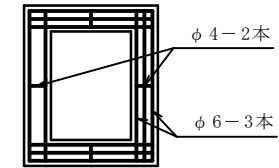
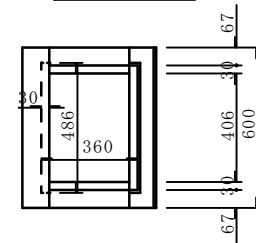
上部側塊



縁塊

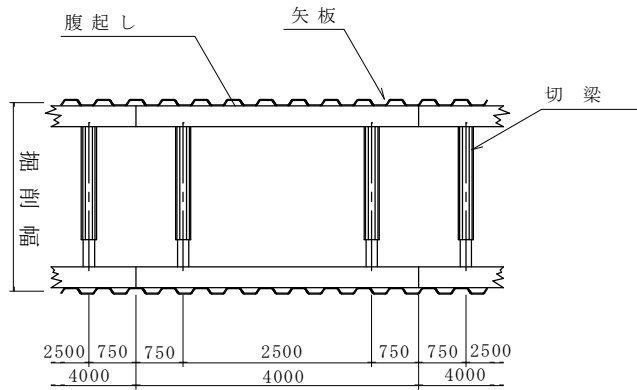


底塊

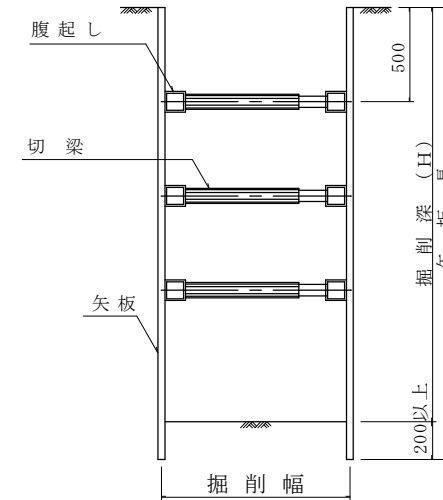


山留工標準仮設図（参考図）

平 面 図



断 面 図



適 用 基 準

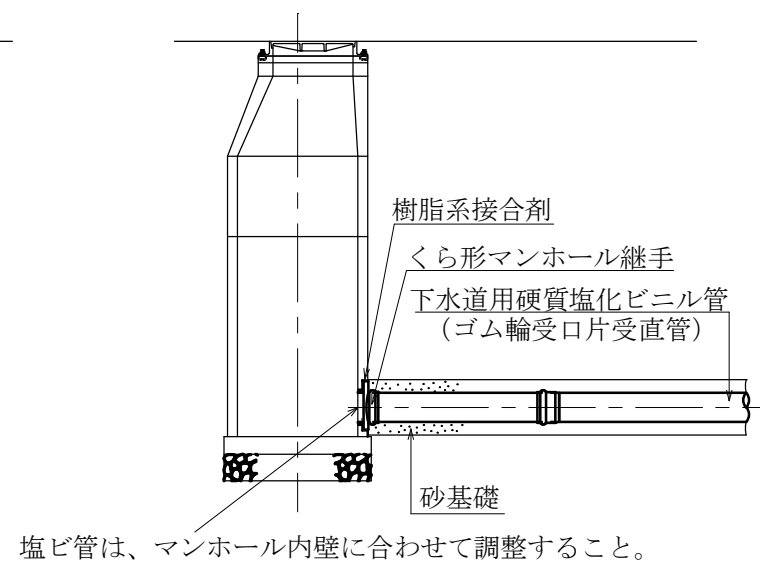
掘削深 H (m)	矢板長 L (m)	支 保 工		
		段数	腹 起 し	切 梁
$1.50 \leq H \leq 1.80$	2.0	1	$110 \times 130 \times J$ ($Z = 120 \text{ cm}^3$)	許容軸力 = 7.5kN
$1.80 < H \leq 2.00$	2.5	1	〃	〃
$2.00 < H \leq 2.30$	2.5	2	〃	〃
$2.30 < H \leq 2.80$	3.0	2	〃	〃
$2.80 < H \leq 3.30$	3.5	2	〃	〃
$3.30 < H \leq 3.50$	4.0	2	〃	〃
$3.50 < H \leq 3.80$	4.0	3	〃	〃

硬質塩化ビニル管（開削工法）マンホール部の接合詳細図

断面図

上下流マンホール継手を使用した場合の配管図

くら形マンホール継手を使用した場合の配管図
上下流共通



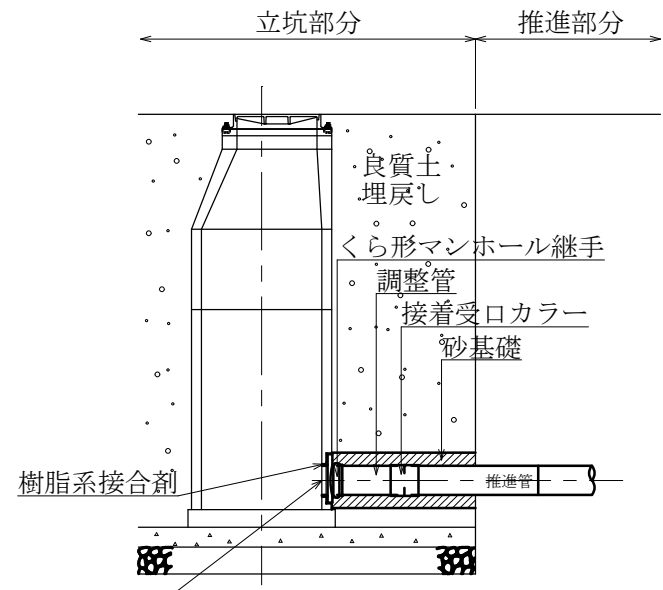
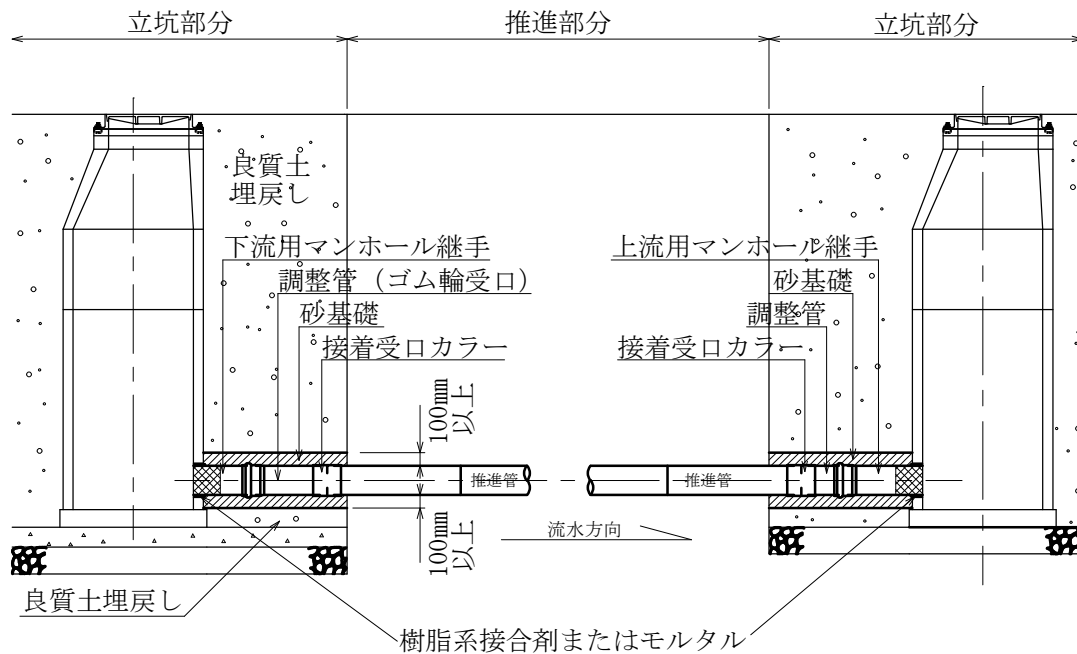
- 注1. 取付管は、管接続部から0.9m以上、取付管と取付管の中心で管軸方向で0.9m以上確保すること。
2. 本管はゴム輪受口を標準とするが、耐震構造計算により安全性が確認できれば、接着受口を使用することができる。

低耐荷力推進工法（塩ビ推進）マンホール部の接合及び埋戻し

断面図

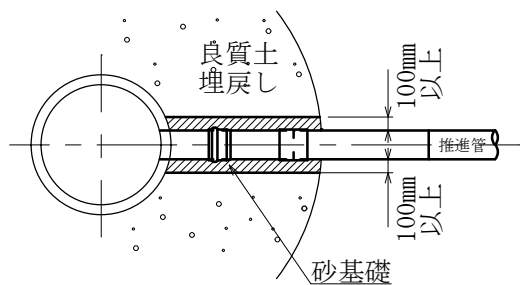
上下流マンホール継手を使用した場合の配管図

くら形マンホール継手を使用した場合の配管図
上下流共通



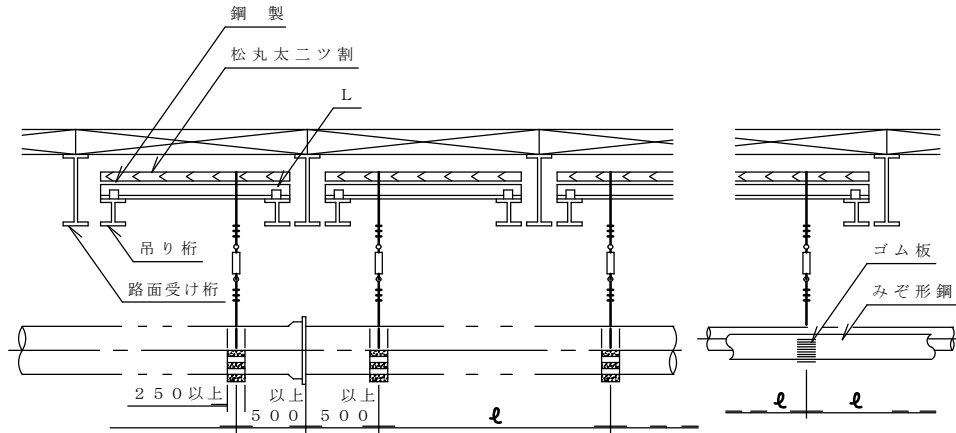
塩ビ管は、マンホール内壁に合わせて長さを調整すること。

平面図



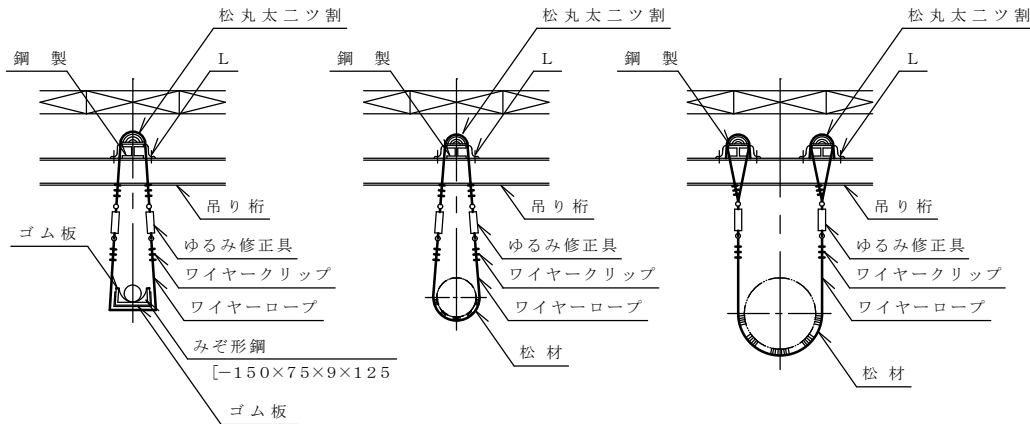
- 注1. マンホール継手（下流用及び上流用）及び調整管は同管種用を使用する。
- 注2. 取付管は、1 m以下の管は管中央に、2 m管は推進管の接続部から取付管の心で0.5m以上離すこと。

ガ ス 管 吊 防 護 図 (参 考 図)



側面図〔TM管〕

口径80mm以下



口径80mm以下

口径100～300mm

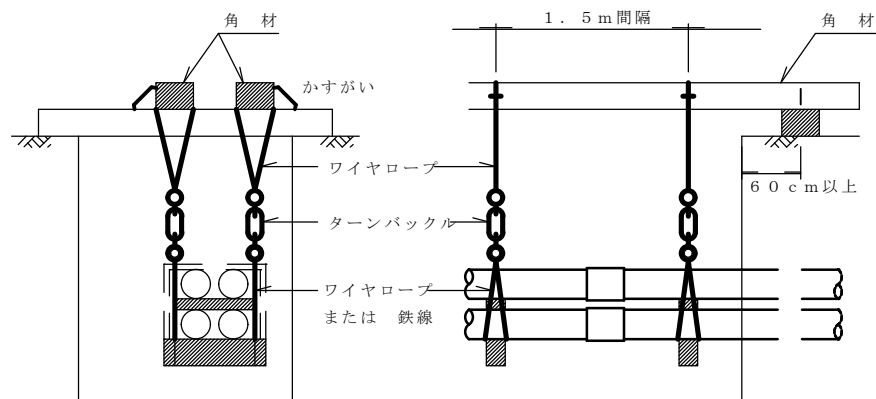
口径400mm以上

口径 (mm)	管種	管重量 (kg/m)	吊り間隔 l (m)	ワイヤーロープ JISG-3525 6×24A種 (mm)以上	ゆるみ修正具 (ターン バックル) (mm)以上	ワイヤー クリップ JISB-2809 (mm)以上	備 考
50以下	鋼管	5.31	3.0以内	φ8	9×150	FR MR 8	受はり鋼 材使用
80	鋼管	8.79	3.0 "	φ8	9×150	FR MR 8	
100	TM管	24.00	2.5 "	φ8	9×150	FR MR 8	
	鋼管	12.20	3.0 "	φ8	9×150	FR MR 8	
150	TM管	35.80	2.5 "	φ8	9×150	FR MR 8	
	鋼管	19.80	3.0 "	φ8	9×150	FR MR 8	
200	TM管	51.60	2.5 "	φ8	9×150	FR MR 8	
	鋼管	30.10	3.0 "	φ8	9×150	FR MR 8	
300	TM管	79.70	2.5 "	φ8	9×150	FR MR 8	
	鋼管	53.00	3.0 "	φ8	9×150	FR MR 8	
400	鋼管	77.60	3.0 "	φ8	12×200	FR MR 8	
500	鋼管	107.00	3.0 "	φ8	16×250	FR MR 8	
600	鋼管	141.00	3.0 "	φ10	16×250	FR MR 10	
750	鋼管	220.00	3.0 "	φ12.5	22×325	FR MR 12	

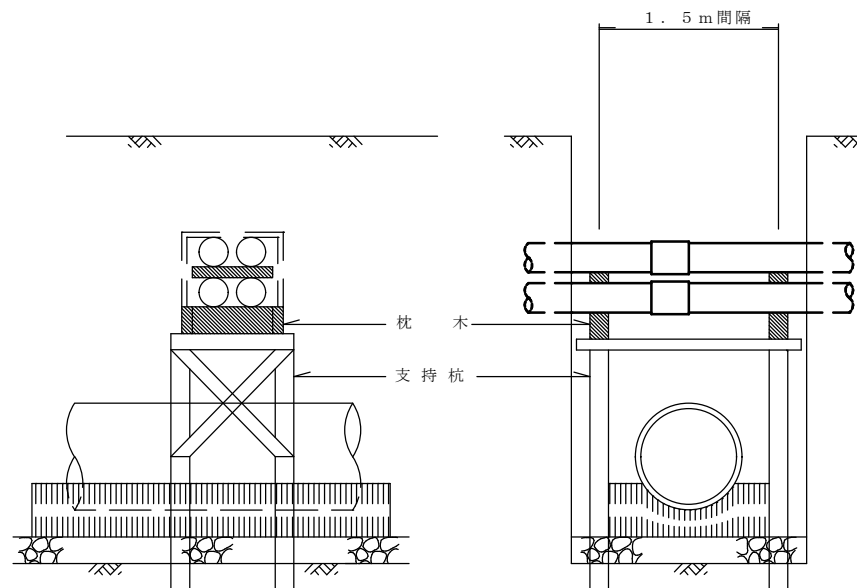
- [注] 1. 鋼管の吊り防護の場合は、管と当木の間にゴム板 (t = 6 mm) を巻付ける。
2. ゆるみ修正具 (ターンバックル) の破断荷重は、本標準法に示す破断荷重以上とする。
3. 本図の吊り間隔、使用材料は荷重条件を50φ、80φはガス管重量および受けはり重量 (みぞ形鋼) を考慮しているが、100φ以上はガス管重量のみであるため、その他の荷重が加わる場合は別途設計する。
4. 使用する鋼材はJISG-3101「一般構造用圧延鋼材」、JISB-1180「六角ボルト」、JISB-1181「六角ナット」とする。
5. ボルトの径はM22以上とし、堅固に締結する。

電話ケーブル吊防護図（参考図）

吊り防護の設置例



受け防護の設置例

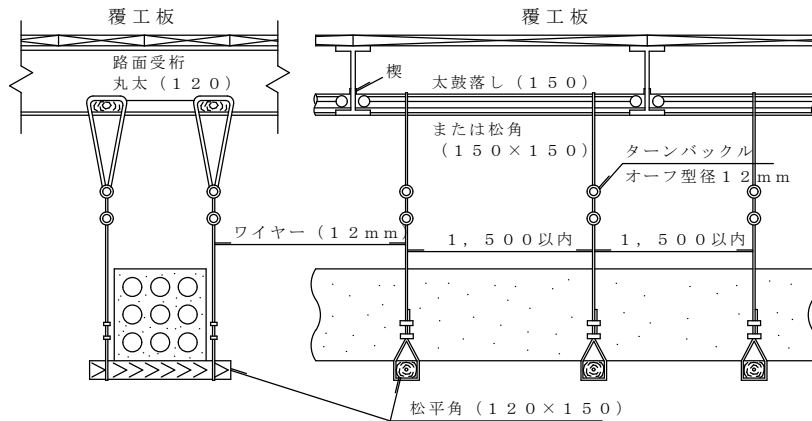


〔注〕掘削幅（けたの支間長）が狭く摸欄柵の場合および振動等が少ない場合例設ある。

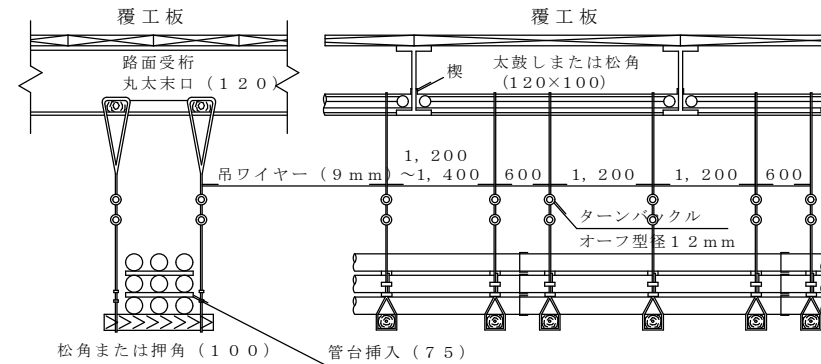
電力ケーブル吊防護図 (参考図)

※ 振動が少ない場合の管路吊防護の例

全胴締管路－ヒューム管 9 条の場合

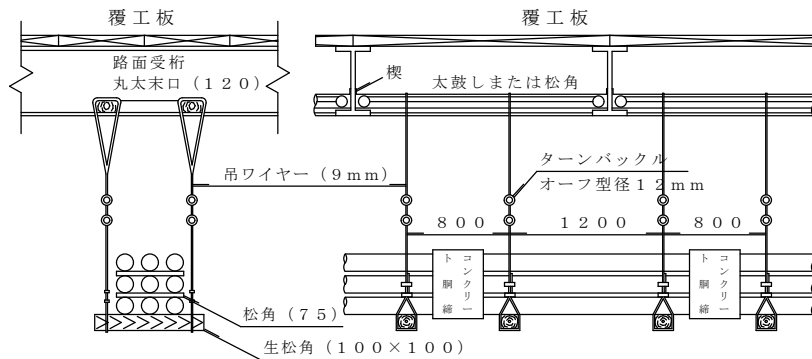


铸铁管路 9 条の場合



注) 管の継手 (鉛コーキング) は入念に点検し、ゆるんでいる場合は純し鉄線で管を連結して締めること。

部分胴締管路－ヒューム管 9 条の場合



水道管吊防護図 (参考図)

※ 鑄鉄管 (ソケット継手を除く) の例

縦断箇所

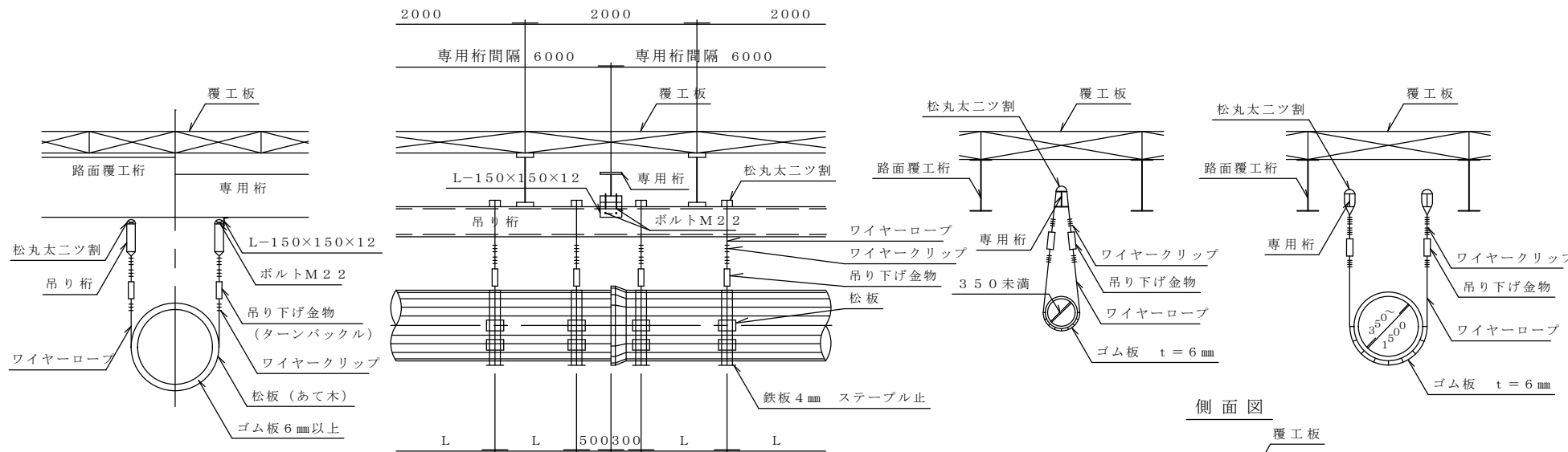
横断箇所

断面図

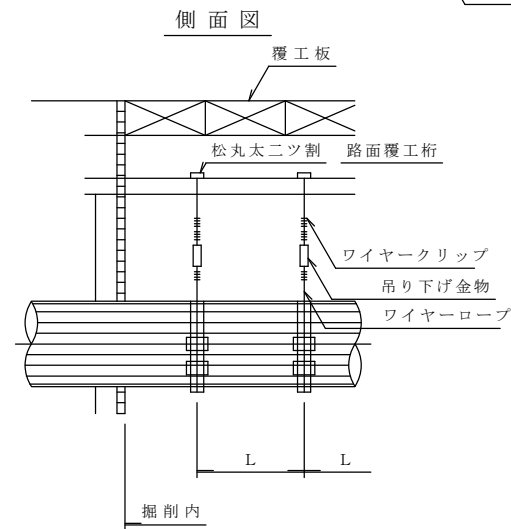
側面図

内径 350 未満

内径 350 以上



呼び径 D (mm)	吊り間隔 L (mm)	ワイヤークリップ (mm) 以上	吊り下げ金物 (ターンバックル) (mm) 以上	ワイヤークリップ		松板	吊り桁 (溝形鋼)			
				記号	数量					
75	2000	8	9	FR-8	4コ	100×50×30	200×80×7.5×11			
350				MR-8	4コ	150×100×30				
400			12	FR-14	4コ			200×100×36		
600						MR-14			4コ	
700	1000	14	19	FR-18	5コ	φ700-φ1200: 300×90×12×6				
1000							25		MR-18	5コ
1100										
1500										



注 吊り間隔及び吊り材は縦断箇所の場合に準ずる。

下水道設計標準図

改訂経過

1. 平成 2 年 4 月 第 版発行
2. 平成 1 2 年 1 0 月 全面改定

発行 大和市 環境施設農政部 下水道・河川施設課